

21

161

司法省藏版

英國刑事訴訟手續

第壹卷

明治十六年二月印行

No 11168

司法省藏版

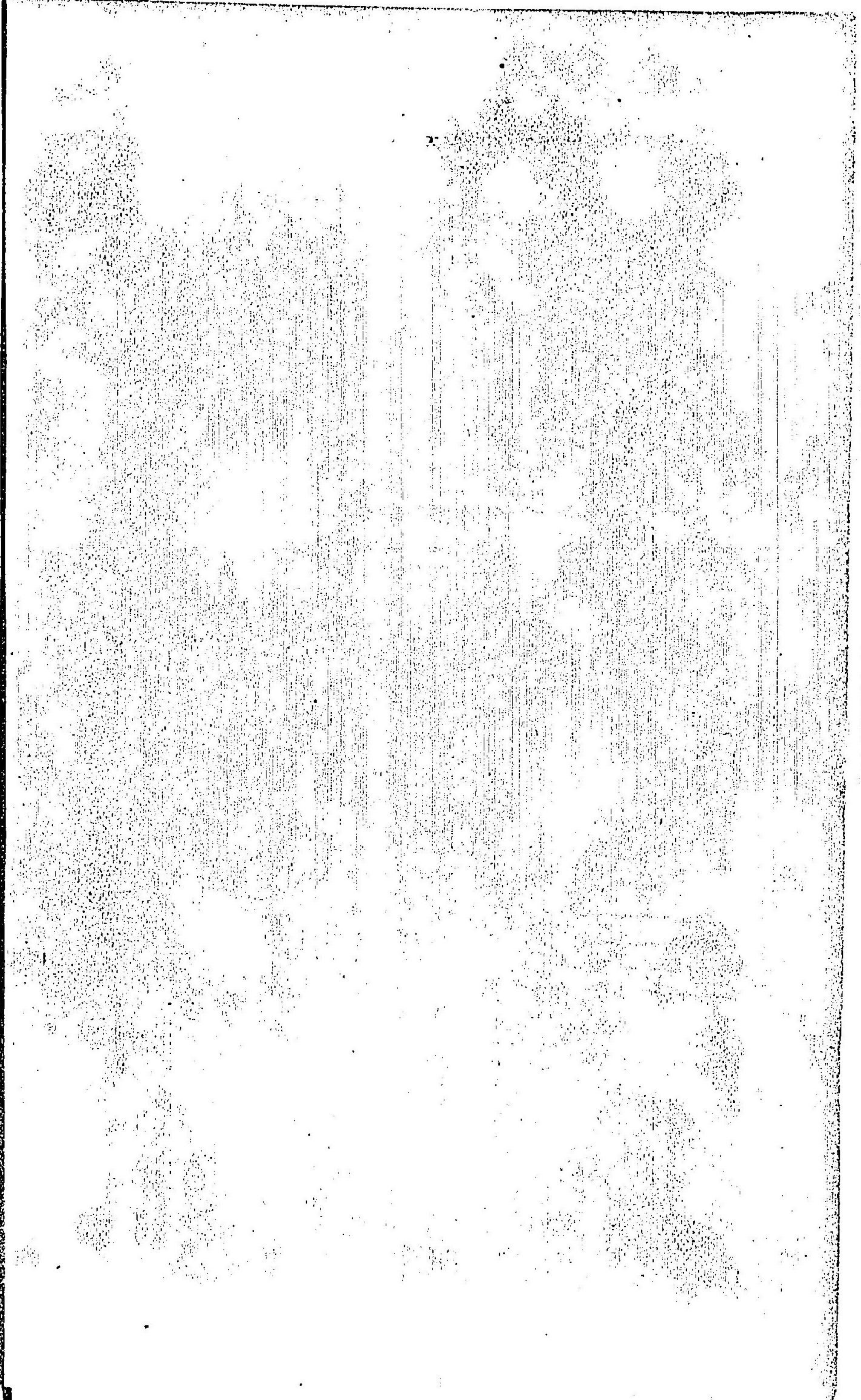
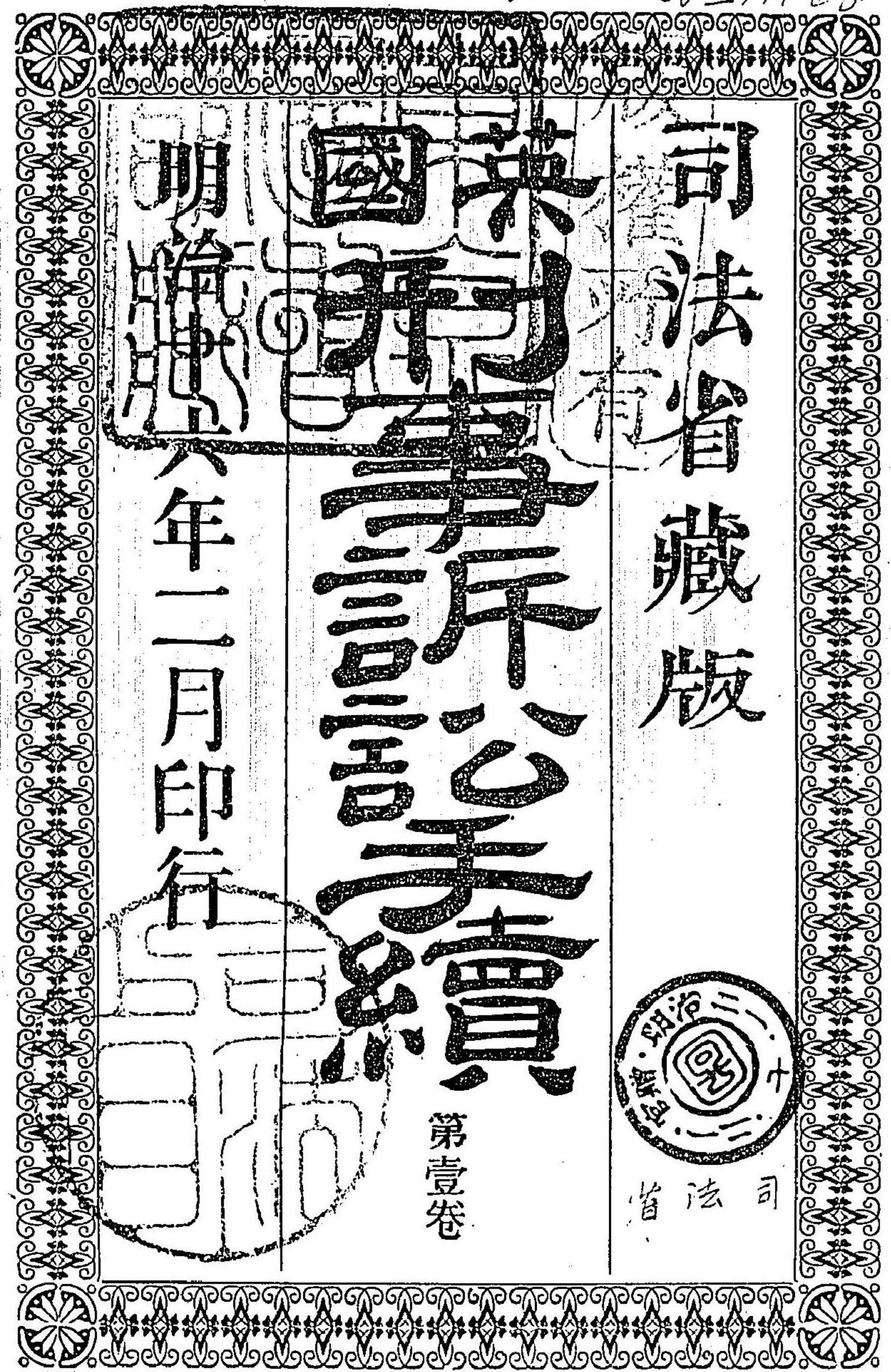
英國法律公報

第壹卷

明倫堂
六年二月印行



司法省



英國刑事訴訟手續第一卷目次

第一編 辨論手續及證據總論

第一部 辨論及手續總論

第一章 告訴

第一節 告訴狀ノ解釋及告訴ノ場合

第二節 被告人

第三節 告訴狀ノ書式

第四節 一通ノ告訴狀ニ二人又ハ以上ノ被告人

ノ聯合

第五節 一通ノ告訴狀ニ告示ヲ各別ニスル數罪

ノ聯合

第六節 告訴狀呈出ノ期限

一

一

一

一

八

六二

二〇〇

二〇五

二一九

二

第七節 告訴狀ノ發見

二二三

第八節 告訴ニ於ル令狀

二三四

第九節 告訴ニ於ル保釋

二五七

第十節 告訴廢滅ノ場合

二八〇

第十一節 告訴訊問ノ時日及場所

二八五

第十二節 ノルレ、プロセーシハイ(原告人又ハ檢事長訴訟ヲハ止ムル手續)

三二八

ヲムル手續

三二八

第二章 告發

三三六

第一節 職權ノ告發

三三六

第二節 マストル、チフ、シヲオンオフィス(檢事)ノ告發

三四二

發

三四二

第三章 コロナル(變死人アアル官場所)ノ審問

三六一

第四章 答辨(被告)答辨(被告)對スル原告人(答辨)ニ等

三八六

第一節 答辨ノ順序及時

三八六

第二節 管轄ニ對スル答辨

三九〇

第三節 錯誤ニ對スル答辨

三九四

第四節 止訴答辨

四〇一

第五節 特別ナル拒否答辨

四一二

第一項 最前ノ放免

四一八

第二項 最前ノ決罪

四三一

第三項 最前ノ處刑

四四〇

第四項 赦免

四四一

第六節 無罪答辨

四四三

三

第五章 訊問裁判新訊問誤審狀等

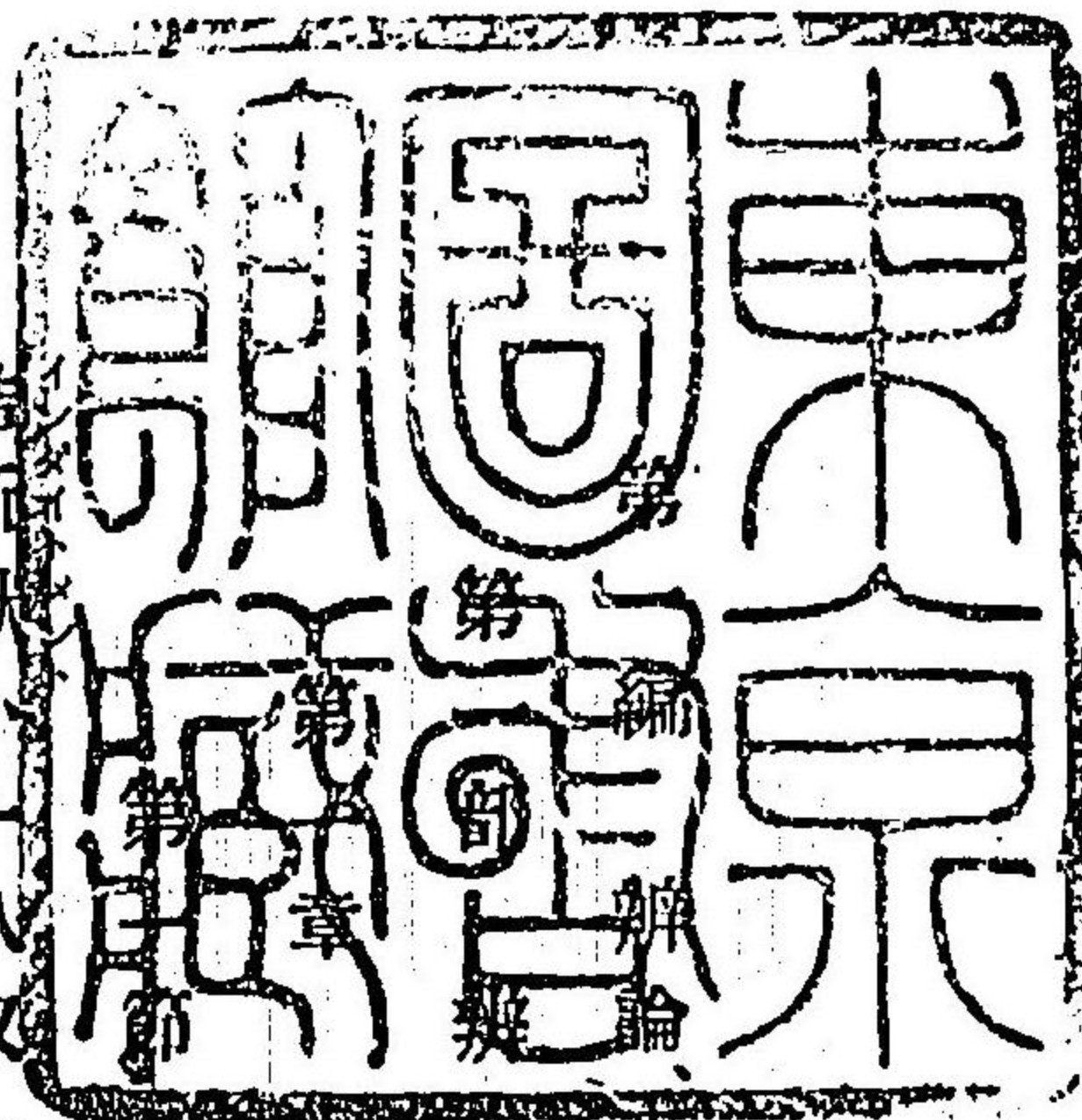
英國刑事訴訟手續第一卷

英國

アルチボールド

編纂

出 浦 力 雄 直 譯



第 三 編 論 手 續 及 證 據 總 論
第 二 章 辯 論 及 手 續 總 論
第 一 章 告 訴

告訴狀ノ解釋及告訴ノ場合

告訴狀ハ一人又ハ數人ノ罪ヲ告ル訴狀ニシテ大陪審官ニ呈シ而テ大

陪審官ヨリ宣誓ノ上出スモノナリ

告訴ヲ爲ス場合ハ總テ反逆及重罪反逆及重罪ノ懈怠(反逆、重罪ノ犯ラアル
ヲ輕視シ又ハ怠リテ官)及總テ習慣法ニ於ル公ノ性質ノ輕罪ニアリ故
ニ其場合ハ密私ノ損害ナルノミナラス社會ノ道德上ノ義務ヲ殘害ス

二
ル義務ノ違背即チ自ラ衣食ヲ辨シ身體ヲ保護スルヲ得サル幼者(兒童
傭業人又ハ雇人ニテモ)ニ充分ナル食物又ハ他ノ需用品ヲ義務或ハ契
約ニ依テ供給セサル可ラサルヲ供給セスシテ爲ニ幼者ノ健康ヲ害ス
ル如キ義務ノ懈怠及人ノ生命ヲ危クスル故意ノ懈怠ノ所業及如何ナ
ル職工ヲ傭役スヘキ乎ヲ傭主ニ指示センカ爲ノ目的ヲ以テ妄ニ會合
スル事及假令ヘ性質ニ於テハ無罪ナル所業ヨリ起レリト雖モ若シ妨
害カ或ハ其所業ノ成果ナレハ總テ公ノ性質ノ妨害ニアリ只眞ニ犯罪
ノ意ノミハ大逆^{グレートリオン}ノ場合ヲ除キ告訴ヲナスヘキモノニアラス大逆ノ場
合ニ於テハ第三世エドワード帝即位第二十五年ノ條例法第二章ニ依
テ意カ所業ト見做サレヘキナリ然レモ總テ罪ヲ犯サントスルノ意カ
或ル公然タル所業ニ依テ顯明トナリタル場合ニ於テハ其意ヲ懷ク者
ハ罪ヲ犯サントスル試計ノ爲ニ告訴セラル、トヲ得故ニ非禮ナル印

刷物ヲ販賣スルノ意ヲ以テ之ヲ得ルハ告訴スヘキ輕罪ナリ然レモ其
意ヲ以テ畜ニ之ヲ保存シ及貯藏スルハ告訴スヘキニアラス惡質ノ貨
幣ヲ行使スルノ意ヲ以テ畜ニ之ヲ所有スルモ亦告訴スヘキモノニア
ラス
若シ條例法ヲ以テ公害ノ事ヲ禁止シ又ハ公益道路ノ修繕等ノ如キノ
事ヲ命令セハ其法ノ禁止又ハ命令ニ背反スル所業又ハ怠慢ハ習慣法
ニ於ル輕罪^{ミステミール}ナルカ故ニ其條例法ニ別ニ處分方法ヲ掲ケサレハ告訴狀
ニ依リ罰スヘキモノナリ而テ若シ其條例法ニ告訴狀ヨリ異ナル處分
方法ヲ別ニ掲ケタレハ然ル時ハ若シ事件カ既ニ習慣法ニ於ル告訴ス
ヘキ犯罪ニシテ而テ其條例法ハ只異ナリタル告訴方、處刑方ヲ示サハ
恢復ノ方法ハ集合ナリ尤モ是ハ習慣法ニ於ケル告訴狀ニ依リ處分ス
ルトモ又ハ該條例法ニ指示シタル方法ニ依リ處分スルトモ告訴者ノ

三

四

撰定ニ任ス或ハ若シ一條例法カ最前法律ニ抵觸セサリシ所業ヲ罰金
ヲ以テ禁止シ而テ後日制定ノ一條例法若シハ該同一ノ一條例法カ後
ノ款條中ニ告訴狀ヨリ異ナル告訴ノ方法ヲ命令スル時ト雖モ告訴者
ハ之ニ關セス其撰定ヲ以テ習慣法ニ於ケル輕罪ニ對スルカ如ク禁止
ノ款條ニ據リ告訴狀ヲ以テ手續ヲ爲スコト得又ハ其一條例法ニ指示シ
タル方法ヲ以テ告訴スルコト得故ニ一條例法カ一款條中ニ一所業ヲ
公ノ妨害ナリト告示スル場合ニ於テハ假令ヘ其後條中ニ其所業ヲ罰
金ニ附屬セシメ又ハ之ヲ輕減スヘキモノトナスト雖モ告訴スヘキモ
ノナリ然リト雖モ若シ罰金ニ對スル告訴ノ方法カ該所業ヲ禁スルト
同一ノ款條中ニアラハ其方法ニ從ハサルヘカラス而テ他ノ方法ニ據
ルヲ得ス如何トナレハ或ル他ノ告訴方法ヲ掲クル明文アレハ自ラ告
訴狀ノ方法ヲ除却スル意ヲ含蓄スレハナリ若シ一條例法カ最前輕罪

五

タリシモノヲ重罪トナサハ其輕罪ハ汲盡サレ而テ告訴スルヲ得サル
ナリ或ハ若シ最前ノ一條例法ヲ以テ定メタル犯罪ヲ後日定メタル一
條例法中ニ再ヒ掲ケ而テ最前ト異ナル刑ヲ之ニ附シ告訴方法ヲ變シ
最前ハ上訴アラサルニ上訴ヲ許サハ告訴者ハ後日制定ノ一條例法ニ隨
ヒ告訴セサルヘカラス然レモ若シ習慣法輕罪ノ場合ニ於テ犯罪ノ種
類ヲ變セスシテ唯刑ノ新方及ヒ告訴ノ新方ノミカ指令サレタレハ其
新刑方又ハ新告訴方ハ集合ナリ而テ犯罪者ハ最前ノ如ク習慣法輕罪
ニ對シテ告訴セラル、コト得一條例法カ國帝ヲシテ顧問院カウンスルヲ以テ停
船規則ニ關スル或ル規則ヲ制定スルヲ得セシメシ場合ニ於テ此規則
ノ背犯ハ習慣法ニ於ル輕罪ニシテ而テ斯ノ如キ罪トシテ告訴サレヘ
キモノト認ラレタリキ又一會社カ河ノ沿岸ニ挽船路ヲ作ルノ特許ヲ
公ノ一條例法ニ依テ得タリシ場合ニ於テハ其會社ノ此一條例法ノ附與ス

六

ル權力ヲ執行スルヲ妨クルハ習慣法ニ於ル輕罪ニシテ固ヨリ告訴ス
ヘキモノト認メラレタリキ

告訴狀ノ據テ製セラレタル條例法ノ廢止ニ依テ假令ヘ是ハ告訴狀發
見ノ後(但答辨ノ爲サレタル前)ニアリト雖モ告訴ハ廢滅ニ屬シ而テ裁
判ハ言渡サレ能ハサルナリ然レモ告訴ハ一個人ニ對スル眞ニ私ノ損
害即チ人ノ修業人ヲ誘引シ去ル事、人ノ園内ニ入ル事、地ヲ掘ル事、地面
ニ假舎ヲ建ル事、人ヲ所有地ヨリ逐斥シ及之ニ立寄ラセサル事、人ノ平
穩ニ所有スル住居家屋ノ葺物(屋上)ヲ引離ス事、圍ヲ爲シテ人ヲ近寄セ
サル事等ニ對シテハアラサルヘシ此類ノ損害ハ幾分カ女帝ニ關係チ
有スルカ又ハ治安ノ妨害トナルヘキ情況アルニアラサル以上ハ唯訴
訟^{シエン}ヲ以テ其恢復ヲ得ルノミ故ニ告訴ハ假令ヘ公ノ條例法ニ規定アリ
ト雖モ眞ニ私タル權利ノ干犯ニ對シテハアラサルノミナラス眞ニ特

別ノ一個人ノ損害トナルヘキ私ノ條例法ノ禁止スル所業ニ對シテモ
亦一會社ノ内則又ハ慣例ノ背犯ニ對シテモ亦アラサルヘシ
左ニ掲^カクル犯罪ニ對シテハ現今ハ判事又ハアトル^長ト^{檢事}ト^長ト^{檢事}ト
ノ許可ナクシテ又ハ被告人カ既ニ收監サレ又ハ拘留サレ或ハ斯ノ如
キ犯罪ニ對スル告訴狀ニ答辨チナスヘキ義務ヲ承諾ニ依テ負ハセラ
レタルニアラサル以上ハ告訴狀ハ呈出サレ能ハサルナリ(ヴ^グ井^クト^{トリ}
ヤ女帝即位第二十二年及第二十二年ノ條例法第十七章第一條)

偽誓

偽誓ヲ爲サシメタル罪

陰謀

詐欺取財

七

賭房又ハ猥褻房ヲ設クル事

第二節 被告人

告訴ハ總テ實ニ罪ヲ犯ス人犯罪ヲ遂シメ又ハ之ヲ幫助スル人又ハ犯罪者ナルヲ承知シナカラ之ヲ藏匿スル人ニ對シテアルモノナリ如何トナレハ以上ノ人ハ法律上各罪アル者ニシテ其罪ヲ犯シタル分ニ應シテ刑罰ヲ受クヘキ責アル者ナレハナリ然レモ罪ヲ犯スノ能力ハ理會ノ所業及ヒ意志ノ使用ヲ豫察ス而テ此故ニ何人ト雖モ明白ニ法律ニ依テ定メラレ而シテ宥免サル、ニアラサル以上ハ法律ノ背犯ニ附屬スル過代ヲ免レ能ハサルカ故ニ法律ハ如何ノ人及ヒ如何ノ行爲ハ刑法ノ一般ノ刑罰ノ嚴酷ヲ其天然ノ又ハ伴リタル又ハ偶然ノ或ハ服從ノ理由ニ依テノ無能力又ハ缺乏ノ爲ニ特免サレ又ハ宥免サル、乎ヲ解釋シタリ會社ノ如キ聚合體モ亦其會社ノ名ヲ以テ其義務ノ背犯

即チ修繕ヲ加フルハ會社ノ義務タル道路橋梁ニ之ヲ加ヘサルコトノ如キ義務ノ懈怠若クハ鐵道會社ニ於テ其國會ノ條例法ニ依テ特許サレサル方法ヲ以テ道路ヲ障礙スルコトノ如キ不應爲ノ所業ニ對シテ告訴セラル、コトヲ得又會社ハ其社名ヲ以テ告訴セラレ而テ其命令ニ依テ犯サレタル攻撃又ハ發行サレタル讒謗ニ對シ罰金ヲ課セラル、コトヲ得ルカ如シ

今ヨリ進ンテ各犯罪者ノ責及ヒ刑罰ヲ免ル、數種ノ理由ヲ左ニ論セ
ントス

第一等正犯（プリシパルス、イン、セ、フォルスト、デグリー）——第一等正犯ノ一般ノ釋義ハ事實ノ行爲者即チ實ノ犯行者タル人はナリ然レモ其人ハ犯罪カ遂ラレタル時實ニ其現場ニ在ラサル可ラサルコトハ緊要ニアラサルナリ如何トナレハ若シ人カ他人ヲ毒害センカ爲ニ故ラニ毒ヲ備ヘ而シテ他人カ之ヲ吞ミテ殺害サレタ

レハ其人ハ假令ヘ之カ吞マレタル時現ニ其場ニ在ラスト雖モ第一等
 正犯タレハナリ故ニ自己ノ手ヲ以テ所業カ爲シ遂ケラレサル可ラサ
 ルヲモ亦緊要ニアラサルナリ如何トナレハ若シ罪カ無罪者ノ手ヲ經
 テ犯サレタレハ使役者ハ假令ヘ所業カ爲サレタル時其場所ニ在ラス
 ト雖モ第一等正犯トシテ責ニ任ス可キモノタレハナリ故ニ若シ善惡
 ナ辨ヘサル年齢ノ兒童若シクハ何レノ他ノ愚蒙無識其他ノ源因ニヨ
 リテ其所業ノ責任ヲ恕セラレタル者ヲ教唆シテ謀殺其他ノ罪ヲ犯サ
 シメハ教唆者ハ假令ヘ犯罪ノ場所ニ在ラサリシト雖モ其代人ノ所業
 上必ス其責ニ任スヘキ者ニシテ第一等正犯ナリ然レモ若シ代人カ豫
 メ其所業ノ結果ヲ知了セハ其代人ハ第一等正犯ニシテ使役者ハ若シ
 其犯罪ノ場所ニ在ラサレハ事實前ノ從犯ナリ或ハ若シ使役者カ其犯
 罪ノ場所ニ在ラハ第二等正犯ナリ但代人カ使役者ヲ看出シ而シテ之

ヲ罰スルノ目的ヲ以テノミ所業ニ同意セハ此限ニアラス此場合ニ於
 テハ其代人ハ無罪者トシテ思量セラレ、ナリ
 第二等正犯ナリンシハルズ、インヤ、セコンド、デククリハ現ニ事實ノ犯行ノ場所ニ在リテ加功シ及
 勸勵シタル者ナリ

犯罪ノ場所ニ現在ハ此意義ニ於テハ實際又ハ解釋ノ二種ナリ犯者カ
 實ニ現場ニ在リテ犯罪ノ聞證人又ハ見證人タラサル可ラサルヲハ緊
 要ニアラサルナリ犯者ハ若シ加功スルノ意ヲ以テ何時ニテモ加功シ
 得ヘキ程犯場ニ接近ノ所ニ在ラハ其犯者ハ法律ノ解釋上犯罪ノ場所
 ニ在リテ加功シ及勸勵セシ者ナリ故ニ若シ犯者カ其共犯者カ人家ニ
 入り重罪ヲ犯ス間不意ノ攻撃等ヲ豫防スル爲メ家ノ外ニ看守ヲナサ
 ハ斯ノ如キ解釋上ノ現在ハ其犯者ヲシテ第二等正犯トナスニ足レル
 ナリ然レモ其犯者ハ加功シ得ヘキ程充分接近ノ所ニ在ラサル可ラス

而テ只財物運搬ノ助力ヲ爲サンカ爲ニ重罪犯アルヘキ場所ヘ行キ之
 ヲ運搬スル助力ヲナス者ノ情况ノミハ之ヲ第二等正犯トナサ、ルヘ
 シ尤モ財物奪取ノ際加功シ得ヘキ程ノ距離内ニ在リシ時ハ此限ニア
 ラス故ニ二人ニテ倉庫ヲ破開シ幾量ノ牛酪ヲ竊取シ街道ヲ沿フテ三
 十ヤルド(我ニヤルド)之ヲ運搬シ其時他ノ人ヲ迎ヘ來リテ贓物ナルヲ
 告ケ之ヲ運搬スル助力ヲナサシメタル場合ニ於テ第三ノ人ハ正犯ニ
 アラスシテ從犯トナサレタリ且假令ヘ數人豫テ同意一致セシ計較ヲ
 實施シテ事ヲ爲スト雖モ其犯罪ノ際現ニ在ラサル者又ハ加功幫助ヲ
 ナシ得ヘキ程接近ノ地ニアラサル者ハ正犯ニアラスシテ事實前ノ從
 犯ナリ故ニ若シ其數人中ノ一人カ他ノ者ノ罪ヲ犯ス前ニ逮捕サレタ
 ル時ハ其者ハ只事實前ノ從犯トシテ思量セラレ得ルノミ然レモ犯罪
 ノ間始ヨリ終マテ現在スルヲハ緊要ニアラサルナリ例ヘハ若シ數人

結合シテ一證書ヲ偽造セントシ各自ヲ受持ノ分ヲ擔當舉行シ而テ其
 證書ヲ竣功セシ時數人悉皆其場ニアラスト雖モ總テ正犯トシテ罪ア
 ル者ナリ若シ甲カ乙ニ紙ヲ製スヘク丙ニ版木ヲ彫刻スヘク丁ニ偽造
 證書ノ姓名ヲ記入スヘキヲ教諭シ而テ乙丙丁相互ニ偽造ノ目的ニ於
 テ他ニ使役セラル、者アルヲ知ラスシテ各其分業ヲ爲シタル時ハ乙
 丙丁ハ偽造罪ノ爲ニ告訴セラル、ヲ得而テ甲ハ其從犯トシテ告訴
 セラル、ヲ得如何トナレハ若シ數人偽造器械ノ各部ヲ製サハ假令
 何人カ他ノ部ヲ製スル乎各知ラスト雖モ且假令ヘ其器械ハ他ノ
 數人ノ不在中只一人ニテ之ヲ竣功スルト雖モ各皆正犯ナリ
 爰ニ又犯罪ノ所業ニ於ル分擔ナカルヘカラス如何トナレハ假令ヘ重
 罪ヲ犯ス間一人カ其場ニ在リト雖モ若シ分擔スルヲナク共犯者ト共
 ニ事ヲナサ、レハ只重罪ヲ妨止シ又ハ重罪犯者ヲ捕ヘント爲サ、リ

シノミナルカ故ニ第二等正犯ニアラサルヘケレハナリ然レモ其人カ
 實ニ犯罪ニ加功セシテ證スルハ緊要コアラズ若シ其人カ不意ノ攻撃
 ナ豫防センカ爲メ黨與ノ爲ニ看守ヲナシ或ハ止ムヲ得サレハ黨與ノ
 逃走ヲ便コセンカ爲ニ程宜キ距離ニ在留シ又ハ黨與カ知ルルハ大ニ
 カヲ添ユルニ足ルト思量サレタル黨與ノ幫助ノ爲ニ容易ヨ來リ得ヘ
 キ地位ニ在リセハ其人ハ法律ノ視ル處ニテハ犯所ニ現在シテ加功勸
 勵スル者ナリ故ニ一種ノ罪ヲ犯サンカ爲ニ同意一致シタル始計ノ結
 果ナル分擔ハ第二等正犯ヲ爲スコ足レルナリ是故ニ若シ數人カ一人
 ノ財物ヲ同意一致シテ竊取セントシ而テ其一人ヲシテ其數人ノ目前
 ニ於テ欺テ其財物ヲ數人中ノ一人ニ委託セシメ然ル后數人中ノ他ノ
 一人カ現ニ財物ヲ預リタル人ノ之ヲ持去リ得ンカ爲メ其所有主ヲ誘
 惑シ去ラハ總テ皆正犯トシテ罪アルモノナリ故ニリングドロッピング

（一種ノ騙術ニシテ例ヘハ高價ノ指環ヲ人ニ保管セシメ其抵當トシテ
 金員又ハ時計等ヲ出サシメ而テ保管者ノ隙ヲ窺ヒ指環ヲ取變ヘ而
 テ抵當物ヲ）ニ依テ金員ヲ得ンカ爲ニ陪審官ニ知ラレサル人ヲ幫助ス
 取去ルノ類）

ルハ若シ陪審官カ被告人ハ該騙術ニ依テ金員ヲ得ンカ爲ニ知ラレサ
 ル人ト同謀者ダリシヲ見出ス時ハ重罪ト認ラレタリキ又若シ馬車ヲ
 馭スル二人カ相互ニ競フテ之ヲ濫リニ驅逐シ而テ其内ノ一人カ人ヲ
 觸倒シ之ヲ殺サハ是ハ二人共故殺ノ罪アルモノナリ又人カ他人ヲ自
 殺ヲ爲スヘク慫慂シ而テ其自殺ヲナス間其場ニ在リテ之ヲ勸勵セハ
 斯ノ如キ人ハ正犯トシテ謀殺ノ罪アルモノナリ若シ二人カ相互ニ自
 殺ヲ慫慂シ而テ一人ハ自殺セシニ一人ハ過テ之ヲナサ、レハ其者ハ
 他人謀殺罪ノ正犯ナリ又若シ數人カ不正ノ目的又ハ不正ノ方畧ニ依
 テ功ヲ奏スヘキ目的ノ爲ニ結合セハ特ニ若シ其目的ハ受ケ得ヘキ抗
 拒ヲ受クルコトナクシテ達セラレヘクシテ而テ其際數人中ノ一人カ人

ヲ殺サハ果シテ其死ハ結合隊ノ共謀ノ目的ヲ達セントスル際數人中ノ一二人ノ所爲ニ原因シタリセハ現ニ其場ニ在リシ者ハ總テ皆實ニ加功又ハ勸勵スルトセサルトコ拘ハラス謀殺罪アル者ナリ然レモ所業ハ徒黨ノ結果ナラサル可ラス如何トナレハ若シ數人カ重罪ヲ犯スノ目的ヲ以テ赴キ而テ警報及追從ニヨリ各道ヲ異ニシテ走り而テ其内ノ一人カ追捕ヲ免レンカ爲ニ追從者ヲ殺サハ他ノ者ハ其罪ノ正犯トシテ思量セラレヘキニアラサレハナリ故ニ數人ノ被告者及ウヰリヤムスナル者ヨリ成立ツ禽獸偷盜隊カ禽獸看守人ヲ襲ヒ之ヲ毆打シテ地上ニ絶氣頓倒セシメテ逃走セリ然ルニウヰリヤムスハ現場ニ立戻リ看守人ノ絶氣中ニ其銃器懷中物及金員ヲ奪取セシ場合ニ於テ判事パルクハ之ヲ只ウヰリヤムス一人ニ係ル強盜罪ト認タリキ又目的ハ不正ナラサル可ラス如何トナレハ若シ原來ノ目的カ正當ニシテ正

當ノ手術ニ依テ之ヲ達セントシ其際黨與中ノ一人カ人ヲ殺サハ假令之ヲ殺シタル者及ヒ實ニ此所業ヲ加功勸勵シタル者ハ總テ事情ニヨリ謀殺又ハ故殺ノ罪アル者タルヲ得ルト雖モ然レモ其場所ニ在リ而テ實ニ加功勸勵セサル者ハ第二等正犯トシテ罪アルモノニアラサレハナリ

謀計ニ於テ殘惡ナル分擔ナクシテ只所業ニ於テノミノ分擔ハ充分ナルモノニアラサルヘシ故ニ若シ雇主カ惡逆ナル故意ヲ以テ他人ヲ攻撃シ而テ雇人ハ雇主ノ惡謀ヲ知ラスシテ之ヲ分擔シ而テ其人ヲ殺サハ是ハ雇人ニ於テハ故殺雇主ニ於テハ謀殺ナリ故ニウヰリヤムストリア女帝即位第一年ノ條例法第五十八章第二條ニ依リ謀殺ヲ行フ意ヲ以テ生命ヲ危クスル身體上ノ害ヲ被ラヌルノ死罪ヲ以テ甲ナル者ヲ告訴シ而テ甲ヲ加功勸勵スルヲ以テ乙ナル者ヲ告訴スル告訴狀ニ付テ乙

ハ豫テ甲ノ謀殺ヲ行フ意ヲ知了シタルヘキコノ告訴ヲ乙ニ對シテ設
 クルハ緊要ト認ラレタリキ
 果合ニ依テ謀殺ヲナシタル場合ニ於テ精密ニ論スレハ輔佐者(果合)ハ
 雙方共ニ第二等正犯ナリ然ルニロルド、ヘールハ被殺者ノ輔佐者ニ關
 シテハ之ヲ第二等正犯トナスハ法律ノ規定ヲ甚ク擴張スルニ過
 キダリト思考ス而テ氏ハ該輔佐者ヲ第二等正犯ト思量セサル可ラサ
 ル乎否ノ疑ヲ懷クカ如シト雖モ近時ノ場合ニ於テ判事パテソンハ總
 テプライズフアイト(爭鬭ヲナシテ勝ヲ得タル)ノ場ニ在ル者ハ該爭鬭
 者ノ相互ニ毆打スルヲ見ンカ爲ノ目的ヲ以テ該場ニ臨ミタルカ故ニ
 皆治安ヲ紊ルノ正犯ト認タリキ而テ之ト同一ノ主義ニ依テ果合ノ輔
 佐者ハ不正ノ所業ノ分擔者ナルヲ以テ若シ死亡カ之ヨリ生シタリセ
 ハ雙方ノ輔佐者ハ何レモ謀殺ノ罪アルモノタルヘシ而テ法律ハヨング

(名人)ノ事件及ヒカッデー(名人)ノ事件ニ於テ右ノ如ク定メラレタリキ若
 シ正犯者カ罪ヲ犯ス際狂氣ナリセハ何人ト雖モ狂者ノ所業ノ加功者
 及勸勵者トシテ其有罪ヲ決定スルヲ得ス然レモ一狂人カ數人ヲ聚集
 シ其數人ハ正當ノ威權ニ抵抗スルノ共通ノ目的ヲ以テ兇器ヲ携帯シ
 而テ其數人ノ尸前ニ於テ該狂人カ令狀ヲ以テ其逮捕ノ爲メ來レル警
 察官吏ヲ射殺セシ場合ニ在テハ該數人ハ第一等正犯トシテ謀殺ノ罪
 アル者ト認ラレ且該狂人ヨリ受ル自己ノ身體上ノ危險ノ懼ハ該狂人
 ノ不正ノ所業ヲ幫助シタルノ辨解ヲ該數人ニ供セスト認ラレタリキ
 從前加功者及勸勵者ハ事實ニ於ル從犯トシテ解釋セラレ而テ正犯カ
 有罪ニ決セラレ又ハ法外刑ニ處セラレタル後ニアラサレハ訊問サレ
 能ハサリキ然レモ此道理ハ棄却サレ而テ現今ハ重罪ヲ犯ス時其場ニ
 在テ加功シ及勸勵シタル者ハ總テ皆第二等正犯ニシテ第一等正犯カ

罪アル者ト見出サレタル前ト雖モ召喚サレ而テ訊問セラル、トテ得且第一等正犯トシテ告訴セラレシ者カ放免セラル、ト雖モ有罪ト決定セラル、トテ得ルト規定サレタリ

反逆ニ於テ及重罪ヨリ以下ノ罪ニ於テ及第一等正犯ト第二等正犯トノ刑罰ノ等シキ總テノ重罪ニ於テハ告訴狀ハ犯罪ノ場所ニ現在シ及之ヲ勸勵セシ者ヲ若シ犯罪カ分擔特ニ加功者及勸勵者トシテ分擔ノ成ルヘキモノナレハ悉皆第一等正犯トシテ告訴スルトテ得然レモ特別ナル條例法ニ依テ刑罰ノ異ナリシ場合ニ於テハ第二等正犯ハ殊更ニ加功者及勸勵者トシテ告訴サレサルヘカラサリキ若シ加功者及勸勵者トシテ告訴サレタレハ甲ハ死スヘキ毆打チナシ乙丙丁ハ現場ニ在リテ加功勸勵シタリト告訴スル告訴狀ハ乙カ毆打チナシ甲丙丁ハ現在加功勸勵シタリトノ證據ニ依テ維持セラルヘシ而テ若シ犯罪カ

告訴狀中ニ記載アラサル人ノ所業ニ係ルコトノ顯明トナリシ時ト雖モ加功者及勸勵者ハ之ニ拘ハラス有罪ニ決セラル、トテ得假令ヘ陪審官ハ犯者ノ孰レカ毆打チナセシ乎ヲ満足セシメラレスト言フト雖モ若シ其一人カ之ヲ爲シ他ハ皆現在加功勸勵セシ事ヲ満足セシメラレシ時モ亦同シ一被告人カ第一ノ告示ニハ強姦正犯トシテ次ノ告示ニハ其加功勸勵者トシテ之ヲ告訴スル告訴狀ニ依テ有罪ニ決セラレシ場合ニ於テハ第一ノ告示ニヨリテノ決罪ハ是ト認ラレタリキ「ヴ」井クトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十四章第八條ニヨリ何人ト雖モ何レノ輕罪犯ヲ加功シ、勸勵シ、教議シ又ハ爲サシムル者ハ該犯罪カ習慣法ニ於ル輕罪又ハ既ニ頒布サレタル又ハ後ニ頒布サレヘキ條例ニ抵觸スル輕罪ナルニ關ハラス正犯者トシテ訊問、告訴、處刑セラレヘキ責アル者タルヘシ

事實前ノ從犯、事實前ノ從犯ハ犯罪ノ時其場ニ在ラスト雖モ他人ニ罪ヲ犯スヲ教諭シ命令シ又ハ勸勵スル者ナリ
 若シ人カ犯罪ノ時實ニ又ハ解釋上其場ニ在ラハ前文既ニ觀タル如ク加功者及勸勵者ニシテ事實前ノ從犯ニアラス如何トナレハ人カ犯罪ノ時其場ニ不在ナラサル可ラサルヲハ從犯ノ罪ヲ成スニ緊要ナレハナリ
 犯罪ハ自身又ハ第三ノ人ヲ經由スルノ二種タルヲ得又使役、教諭、命令又ハ陰謀ニ依テ直接タルヲ得又ハ他人ノ重罪ヲ犯サントスル惡計ニ對シ明白ナル嗜好、認可又ハ同意ヲ表スルニ依テ間接タルヲ得然レモ密ニ犯サレヘキ重罪ノ隱蔽ノミハ之ヲ隱蔽スル者ヲシテ事實前ノ從犯トナサ、ルヘシ又密ニ許容ノミトナルヘキ默聽又ハ言語ハ從犯ノ罪ヲ成スニハ不充分ナルヘシ

犯罪ノ造意ハ繼續ナラサル可ラス如何トナレハ若シ重罪ノ造意者カ悔悟シ而テ犯罪已遂前ニ實ニ其命令ヲ取消シ而ルニ正犯者ハ之ニ關ハラス重罪ヲ犯サハ原來ノ造意者ハ從犯タラサルヘケレハナリ故ニ若シ從犯カ一種ノ犯罪ヲ命令シ又ハ教示シ而ルニ正犯ハ故意ヲ以テ他罪ヲ犯サハ例ヘハ家ヲ燒クヲ命セシニ竊盜ヲ爲シ又ハ甲ニ對シテ一罪ヲ犯スヲ命セシニ乙ニ對シテ同罪ヲ犯サハ從犯ハ責ヲ負フヘキ者ニアラサルヘシ然レモ若シ正犯カ過テ甲ニアラスシテ乙ニ對シテ同罪ヲ犯サハ此限ニ在ラサルカ如シ然リト雖モ從犯ハ總テ命令シタル不正ノ所業ヨリ因起スル事件ニ於テ責ヲ負フヘキ者タルハ明白ナリ例ヘハ若シ甲カ丙ヲ毆打スルヲ乙ニ命シ而テ乙ハ之ヲ爲シ爲ニ丙死サハ甲ハ謀殺ノ從犯タリ又若シ甲カ丙ノ家ヲ燒クヲ乙ニ命シ而テ乙ハ之ヲ爲シ爲ニ丁ノ家モ亦燒失セハ甲ハ丁ノ家ヲ燒クノ罪

ノ從犯ナリ故ニ若シ命令サレタル犯罪カ遂テレタレハ假令ハ命令サレタルヨリ異ナル方法ヲ以テト雖モ例ヘハ若シ甲カ丙ヲ毒殺センカ爲ニ乙ヲ使役シ而テ乙ハ之ヲ爲サスシテ丙ヲ銃殺スト雖モ甲ハ之ニ拘ハラス從犯トシテ責ヲ負フヘキモノナリ犯罪カ中間ノ代人ヲ經由シタル場合ニ於テハ從犯カ其所業ヲ爲サシメタル人ヲ指名セサルヘカラサルトハ緊要ニアラサルナリ

數人カ特別ノ重罪ニ對シ事實前ノ從犯トシテ假令ヘ之ニ對スル證據ハ只各異ナル時及場所ニ於テ各別ニ爲シタル所業ノ證ノミナリト雖モ連帶ノ告訴ヲ以テ有罪ニ決セラル、トヲ得

凡ソ從犯タル者ノアリ得ヘキハ只重罪ノミニ限レルヲ知ルハ緊要ナルヘシ反逆ニ於テハ重罪ニ於テ人ヲシテ事實前ノ從犯トナスヘキ教唆等ノ各事ハ悉ク其人ヲシテ反逆ノ正犯トナスヘシ而テ其人ハ正犯

トシテ告訴サレサル可ラス又重罪ニ於テ事實前ノ從犯タルヘキ者ハ總テ重罪ヨリ以下ノ犯罪ニ於テハ正犯ナリ而テ正犯トシテ告訴サレヘキナリ然レモ故殺ニ於テハ事實前ノ從犯アルヘカラス如何トナレハ此犯罪ハ不慮ニシテ像テ企テタルモノニアラサレハナリ故ニ若シ甲カ謀殺ノ爲告訴サレ乙ハ其從犯トシテ告訴サレタル場合ニ於テ陪審官ハ若シ甲ニ故殺ノ罪アリト看出サハ乙ヲ放免セサルヘカラス從前從犯ハ其承諾ナクシテハ正犯ト共ニ訊問サル、ニアラサレハ其正犯ノ罪カ決罪又ハ法外刑ニ依テ法律上確定サレタリシ後マテハ訊問ニ附セラレ能ハサリキ然レモ現今ハ何人ト雖モ何レノ重罪ヲ犯スヲ他人ニ教議シ、爲サシメ又ハ命令スル者ハ其罪カ習慣法ニ於ル重罪ナリトモ或ハ頒布サレタル又ハ頒布サレヘキ條例法ニ依テ重罪ナリトモ之ニ關セス重罪ノ罪アルモノタルヘシ而テ正犯ト共ニ又ハ正犯

ノ決罪后ニ事實前ノ從犯トシテ或ハ正犯カ最前有罪ニ決セラレタルヘク又ハ決セラレサルヘシトモ又ハ裁判ニ附セラレヘキ者タルヘク又ハ者タラサルヘシトモ之ニ關セス實ノ重罪ニ對シテ告訴サレ而テ有罪ニ決セラレ、コト得而テ重罪ノ從犯トシテ有罪ニ決セラレタルト同様ニ刑ニ處セラレ、コト得(ウヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十四章第二條)然レモ何人ト雖モ事實前ノ從犯トシテ又ハ實ノ重罪ニ對シテ一回正當ニ訊問サル、者ハ同一ノ犯罪ノ爲ニ後ニ至テ告訴サレヘキ責アル者ニアラサルヘシ(同第七條)而テ若シ何レノ正犯罪者カ何レノ重罪ニ就テ不論何方有罪ニ決セラレレハ何レノ事實前又ハ後ノ從犯ニ對シテ該正犯カ處刑前死亡シ又ハ赦免サレ又ハ否ラスシテ宥免サル、ニ拘ハラス該正犯カ刑ニ處セラレタリシト同様ニ手續ヲ爲スハ正當ナルヘシ而テ斯ノ如キ從犯ハ決罪ノ上

ハ若シ正犯カ刑ニ處セラレタリセハ各受ケタルヘキト同一ノ刑ヲ受クヘシ(同第五條)此條例法ノ第二條ハ只從犯カ習慣法ニ於テ正犯ト共ニ又ハ正犯決罪ノ后ニ告訴セラレ、コト得タリキ場合ニ限り適用ス而テ是故ニ一被告人カ一婦女ノ謀殺ニ事實前ノ從犯トシテ告訴サレタル場合ニ於テ其婦女ハ該被告人ノ造意ニ因テ自殺ヲナシタルヲ以テ同シ條例法ハ適用セスト認ラレタリキ然レモ同第一條ニ依テ何人ト雖モ何レノ重罪ノ事實前ノ從犯トナル者ハ其重罪カ習慣法ニ於ル或ハ頒布サレタル又ハ頒布サレヘキ何レノ條例法ニ依テ重罪ナリトモ其者カ正犯タリシト都テ同様ニ告訴、訊問、決罪及處刑セラレ、コト得ト制定サレタリ故ニ正犯ノ決罪ハ現今畢竟從犯ノ決罪ニ先タツ條件ニアラサルナリ茲ニ一人ハ正犯トシテ而テ他ノ一人ハ從犯トシテ告訴サレタルヲ以テ正犯及從犯カ共ニ訊問セラレ、場合是ハ現今恐

ラクハ決シテ有ルヘキ事ニアラサルヘシニ於テ若シ正犯カ無罪ノ答
 辨ヨリ他ニ辨論ヲ爲サハ從犯ハ正犯ノ答辨カ先ツ決定セラレ、マテ
 答辨ヲナスヘキ義務アラサルヘシ正犯カ住居家屋内ノ夜盜罪及ヒ竊
 盜罪ノ爲ニ告訴サレ而テ從犯ハ同時ニ該夜盜罪ノ事實前ノ從犯トシ
 テ告訴サレ而テ陪審官ハ正犯ヲ夜盜罪ニ付テハ放免セリト雖モ竊盜
 罪ニ付テ其罪アルヲ看出シタリシ場合ニ於テ判事ハ從犯カ放免サレ
 サル可ラストノ説ヲ作シタリシカ如何トナレハ告訴狀ハ只之ヲ
 夜盜罪ノミノ從犯トシテ告訴シ而テ正犯ハ此罪ニ付テ放免セラレタ
 ルヲ以テ從犯モ亦放免セラレサル可ラサレハナリ茲ニ三人ノ人カ一
 竊盜罪ヲ以テ告訴サレ其中ノ二人ハ一告示中ニハ從犯トシテ而テ他
 ノ告示中ニハ二人共各別ニ實ノ重罪ヲ以テ告訴サレタル場合ニ於テ
 ハ假令ヘ正犯ハ放免セラレタリト雖モ從犯ハ後ノ告示ヲ以テ決罪セ

ラル、トチ得ルト認ラレタリキ現今ヅ井クトリヤ女帝即位第二十四
 年及第二十五年ノ條例法第九十四章第六條ヲ以テ何レノ重罪ノ時チ
 異ニスル從犯ハ幾人ニテモ及ヒ一回ニ竊取サレタル贓物ヲ時チ異ニ
 シテ受ル者ハ幾人ニテモ同一ノ告訴狀ニ於テ實ノ重罪ヲ以テ告訴セ
 ラル、トチ得而テ正犯ハ其同一ノ告訴狀中ニ含有サレサルヘシ又ハ
 拘留内ニアラサルヘシ又ハ裁判ニ附セラレヘキモノニアラサルヘキ
 ニ拘ハラス皆共ニ訊問セラレ、トチ得ト制定サレタリ
 若シ一人カ同一ノ重罪ニ於テ數人ノ從犯トシテ告訴サレ而テ一人ノ
 從犯ト看出サレタレハ是ハ善良ナル斷定(陪審官)ニシテ之ニ對シテ裁判
 カ言渡サル、トチ得

事實後ノ從犯、事實後ノ從犯ハ他人ノ重罪ヲ犯シタルトチ知リナカ
 ラ之ヲ接待シ、寬恕シ、撫慰シ又ハ幫助スル者ナリ凡ソ犯罪者タルヲ知

リテ其逮捕訊問又ハ刑罰ヲ妨ケンカ爲ニ之ニ幫助ヲ與フルコトハ人ヲシテ事實後ノ從犯トナスニ足レリ例ヘハ人カ其家内ニ犯罪人ヲ藏匿シ又ハ其追従人ニ對シテ戸ヲ閉鎖シテ其逃走ノ機會ヲ得サシメ又ハ其逃走ヲ容ヌカ爲メ犯罪人ヨリ金員ヲ取り又ハ之ヲ逃走シ得サシメシカ爲ニ金員馬其他ノ要品ヲ供給シ又ハ正犯ノ獄中ニアルヲ逃走セシメンカ爲ニ獄吏ニ苞苴ヲ贈リ又ハ獄ヲ破リテ逃走シ得サシメンカ爲ニ器具ヲ之ニ送付セシ等ノ如シ

然レモ管正犯ヲ逃走セシムルノミハ人ヲシテ事實後ノ從犯トナサシメサルヘシ如何トナレハ是ハ只大概懈怠トナルノミナレハナリ故ニ若シ人カ獄中ニ在ル犯罪者ニ其扶持ノ爲食物其他ノ要品ヲ給シ又ハ保釋ニ依テ出獄ヲ得タル時之ヲ救助シ又ハ扶持セハ或ハ醫師又ハ下科醫カ罹病又ハ疵傷ノ犯罪者ヲ犯罪者ト知リナカラ治療セハ或ハ人

カ犯罪者ノ赦免又ハ出獄ヲ得シカ爲ニ談話シ又ハ書翰ヲ送り或ハ犯罪者ノ審問ノ時其不利トナル證人ニ出廷セサランコトヲ書翰ヲ以テ通知セシコトヲ其朋友ニ忠告シ而テ其朋友ハ其忠告ニ應シテ事ヲ爲サハ或ハ人カ自ラ金ヲ得シカ爲ニ犯罪者ノ不利トナル證據ヲ呈セサランコトヲ約定シ或ハ重罪ノ事ヲ知テ之ヲ告發セサレハ此等ノ所爲ハ何レモ人ヲ事實後ノ從犯トナスニハ足ラサルヘシ事實後ノ從犯ハ自身犯罪者ヲ幫助スル爲ニ或ル所業ヲ爲シタルコトヲ證セラレサル可ラス然ルニ若シ之ヲ爲ス爲ニ他人ヲ傭使セハ自ラ犯罪者ヲ隱匿シ又ハ救助シタルト同罪ナルヘシ妻タル者ハ其夫ノ重罪ヲ犯シタルヲ知レリト雖モ之ヲ接待スル等ノ事ヲ爲スコトニ於テ從犯トシテ罰セラレヘキ者ニアラス如何トナレハ妻ハ夫ノ抑壓ヲ受ケテ所業ヲ爲スモノト認定セラレハナリ然レモ他ノ親屬ハ犯罪者ノ故意ノ接待又ハ幫助ヲ宥

怒スルヲ得ス即チ父ハ其兒ヲ幫助スルヲ得ス兒ハ其親夫ハ其妻兄弟
 ハ其兄弟雇主ハ其雇人雇人ハ其雇主ヲ幫助スルヲ得ス時トシテハ人
 カ自ラ己レノ所有物ノ竊盜又ハ強盜ノ從犯ト其盜賊ヲ藏匿シ又ハ其
 逃走ヲ幫助スルヲ以テ爲ルヲ得若シ夫ハ知ラスシテ只妻ノミカ犯
 罪者タル他人ヲ接待セハ其妻ハ從犯ニシテ夫ハ從犯ニアラス若シ夫
 妻共ニ知リナカラ犯罪者ヲ接待セハ是ハ只夫ノミノ所業ト裁判セラ
 レ妻ハ放免セラレヘシ

此罪(事實後)ニ從犯カ犯罪者ヲ幫助シ又ハ撫慰スル時其者ハ
 重罪ヲ犯シタリトノ直接ノ又ハ意ヲ含蓄シタル氣附チ有スルヲ緊要
 ナリ亦幫助ヲ與フル時ニ重罪カ遂ラレタルヲモ緊要ナリ如何トナレ
 ハ若シ人カ他人ニ死スヘキ疵傷ヲ被フヲシメ而テ疵傷ヲ被フヲセタ
 ル後ニシテ其死亡スル前ニ第三ノ人カ其犯罪者ヲ幫助シ又ハ接待セ

ハ是レハ第三ノ人ヲ殺害罪ノ從犯ト爲サ、ルナリ如何トナレハ死亡
 カ生スルニ至ル迄ハ重罪ハ犯サレサルカ故ナレハナリ
 大反逆ニ於テハ事實後ノ從犯アラサルナリ他ナシ重罪ニ於テ事實後
 ノ從犯タルヘキ者ハ大反逆ニ在テハ正犯ナルヲ以テナリ然レモ此者
 ハ其決罪ニ及フ迄ノ進歩ニ於テハ從犯トシテ論セラレ而テ特別ニ接
 待等ノ爲ニ告訴サレサル可ラス而テ正犯反逆人トシテ告訴サレヘカ
 ラス亦重罪ヨリ以下ノ犯罪ニ於テモ假令ヘ若シ接待スル者ノ所業ハ
 救助又ハ裁判官ノ職務ヲ執行スルヲ妨クルヲ等ニ止ラハ必ラス其者
 ハ輕罪ニ對シテノ如ク其所業ニ對シテ告訴サレヘキモノタルヘシト
 雖モ事實後ノ從犯ハアラサルナリ總テ事實後ノ從犯ハダケトリヤ
 女帝即位第十一年及第十二年ノ條例法第四十六章頒布ニ至ル迄ハ其
 承諾アルニアラサレハ其正犯ノ決罪前ニ訊問セラレ得サリキ但シ正

四三

犯ト共ニ又ハ正犯カ決罪サレタリシ後各別ニ訊問セラル、トチ得タ
 リキ而テ一回正當ニ訊問サレタレハ同一ノ罪ノ爲ニ再ヒ告訴又ハ訊
 問サレ得サリキ現今ハヅ井ントリヤ女帝即位第二十四年及第二十五
 年ノ條例法第九十四章第三條前ニ掲ケタル同帝即位第十一年及第十
 二年ノ條例法第四十六章第二條ノ再制定ニ依リ何人ト雖モ何レノ重
 罪ノ事實後ノ從犯トナル者ハ其重罪カ習慣法ニ於ル重罪ナリトモ又
 ハ頒布サレタル又ハ頒布サレヘキ條例法ニ依テ重罪ナリトモ正犯ノ
 事實後ノ從犯トシテ正犯ト共ニ又ハ正犯決罪ノ後ニ告訴及ヒ決罪セ
 ラル、トチ得或ハ正犯カ最前決罪サレタルヘク又ハサレサルヘシト
 モ又ハ裁判ニ附セラレヘキ者タルヘク又ハ者タラサルヘシトモ實ノ
 重罪ニ就テ告訴及ヒ決罪セラル、トチ得而テ之ニ由テ同一ノ重罪ノ
 事實後ノ從犯カ若シ從犯トシテ決罪サレタレハ刑ニ處セラル、トチ

五三

得ルト同様ニ刑ニ處セラル、トチ得然レモ事實後ノ從犯トシテ若シ
 シハ實ノ重罪ノ爲ニ一回正當ニ訊問サル、者ハ同一ノ犯罪ノ爲ニ後
 ニ至テ告訴サレヘキ責アラサルヘシ(同章第七條)
 同一ノ告訴狀ニ事實後ノ從犯數人ノ連帶ニ關シテハヅ井クトリヤ女
 帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十四章第六條(載セテ事
 實前ノ從
 犯ノ所ヲ看ルヘシ)
 贓物ノ收受ハ習慣法ニ於テハ收受者チ從犯トナサ、リシト雖モ罰金
 及禁獄ヲ以テ罰スヘキ區別アル輕罪ナリキ而テ假令ヘ種々ノ條例法
 ニ依テ收受者ハ事實後ノ從犯トナサレ而テ第四世シヨ一シ帝即位第
 七年及第八年ノ條例法(廢止サレタル)第二十九章第五十四條第五十五
 條第六十條ニ依テ收受者ハ場合ニヨリ重罪ノ事實後ノ從犯トシテ又
 ハ實ノ重罪ニ對シテ告訴セラル、トチ得或ハ輕罪ノ爲メ告訴セラレ

又ハ略式決罪ヲ以テ刑ニ處セラル、トテ得タリシ(現今ハヴヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十六章第九十一條第九十三條第九十七條ヲ看ルヘシ)ト雖モ然レモ賍物ノ收受ハ今尙區別アル且殊別ノ犯罪ナリ而テ斯ノ如キ罪トシテ後文ニ之ヲ論スヘシ幼者、善惡ヲ辨別スル年齢ヨリ以下ノ幼者ハ如何ナル刑事訴訟ニ依ルトモ刑ニ處スヘキモノニアラサルハ一般ノ規則ナリ然レモ英國ノ法律ニヨレハ辨別ノ年齢ハ犯罪ノ性質ニ從テ異ナルナリ

年齢七歳以内ノ幼者ハ重罪ノ罪アル者タルトテ得ス又ハ何レノ死罪ノ爲ニ刑ニ處セラレ能ハサルモノナリ如何トナレハ其年齢内ノ幼者ハ法律ノ認定ニヨリテ害ヲ爲シ能ハサル者ニシテ如何ノ辨別力ヲモ賦與サレ難ケレハナリ此法律ノ認定ニ反對ノ確説ハ容レラレサルヘシ然レモ幼者ノ害ヲ爲シ及罪ヲ作ス能ハサルトハ其十四歳ノ年齢ニ達

シテ止ム其年齢ニ於テハ法律上害ヲ爲シ能フ者ニシテ善惡ヲ辨別スルヲ得ヘキ者ト認定セラレ而テ其犯罪ニ關シテハ尙成長シタル幼者ト同一ノ解釋規則ニ屬ス[年齢七歳ト十四歳ノ間ノ幼者ハ初見ニテハ害ヲ爲シ能ハサル者ト思量セラルヘシ然レモ惡意ハ年齢ノ不足ヲ補フ(幼者善惡ヲ辨別セハ此法語)者タルヘシ而テ此認定ハ惡意ノ確乎タル且充分ナル證據ヲ以テ抗論セラル、トテ得如何トナレハ害ヲ爲シ及罪ヲ作シ能フトハ犯罪者ノ理會及判斷ノ強弱ヲ以テ測量サル、カ如クニ能ク年日ヲ以テ測量サレハナリ故ニ年齢八歳ノ幼者ハ謀殺ノ爲ニ告訴セラル、トテ得而テ之ニ依テ絞ニ處セラレヘシト云ハレタリ而テ八歳ト九歳ノ間ノ幼者カ惡意ト復讐ノ心トニ動カサレ機巧奸計ヲ以テ放火罪ヲ犯シタルト露顯シ之カ爲ニ刑ニ處セラレシトアリ又十三歳ノ少女カ其女主ヲ殺サンカ爲ニ燒死セシトアリ而テ九

歳ノ幼者カ同年ノ幼者ヲ殺シ而テ之ヲ白狀セシ場合ニ於テ該幼者ハ
 血液及屍體ヲ隱蔽シタルヲカ訊問ノ上露顯セシヲ以テ判事ハ法ニ從
 テ之ヲ絞ニ處スルヲ得ルトノ說ヲ作シタリ然レモ該犯罪者カ赦免
 セラル、ト得ル爲裁判言渡ヲ猶豫セリ然レモ此性質ノ事件ニ於テ
 幼稚ニ起因スル法律ノ初見認定ニ抗論スヘキ惡意ノ證據ハ確乎明亮
 ニシテ疑ヲ容レ反對說ヲ作スヘキニアラサルナリ凡ソ七歳ト十二歳
 ノ間ノ幼者ヲ重罪ノ爲ニ告訴スル場合ニ於テハ陪審官ニ委スヘキニ
 問題アリ即チ第一問題ハ幼者カ罪ヲ犯セシ乎ニシテ第二ハ幼者カ該
 時惡事ヲ爲ストノ有罪ノ知識ヲ有セシ乎是ナリ凡ソ十四歳以下ノ幼
 者ハ強姦ヲ行フヲ得サル者ト法律ハ認定ス故ニ此罪アリト見出ス
 能ハス如何トナレハ假令ヘ他ノ重罪ニ於テハ惡意ハ年齢ノ不足ヲ補
 フト雖モ然レモ此特別ノ所業ニ付テハ法律ハ幼者ヲ無能力并無辨別

ト認定ス此認定ハ出精ノ證據ナクシテ没入ノ證據ヲ以テ始メテ強姦
 ヲ遂ケタリトナシタル第四世シヨ^イ帝即位第九年ノ條例法第三十
 一章第十六條第十七條ニ依テ動サレサルナリ又實ニ被告人カ成年ノ
 充分ナル有様ニ達シ且該罪ヲ犯シ得タリシヲ現ハサンカ爲ノ證據ハ
 何レモ認可スヘキニアラス然レモ幼者ハ若シ該罪ノ犯行ニ加功幫助
 ヲナシ而テ惡意ヲ有シタリトノ事實露顯シタリセハ第二等正犯タル
 トヲ得如何トナレハ斯ノ如キ場合ニ於テハ無能力ノ辨解立タサルヘ
 ケレハナリ

二三ノ輕罪及重罪ニアラサル罪ニ於テハ幼者ハ年齢二十一歳以下ナ
 レハ幼稚ノ理由ニ依テ特免セラル、ナリ例ヘハ若シ告訴狀ヲ以テ告
 訴サレタル罪カ管ニ義務ノ懈怠ナレハ（是ハ幼者カ橋ノ修繕ノ如キ其
 ノンフヒイザンス）地所保持法ノ理由ニヨリテ爲スヘキ義務アル如キ事ニアラサレハ）然

ル時ハ二三ノ場合ニ於テ其幼者カ二十一歳以下ナレハ懈怠ハ幼者ニ
 歸セラレサルヘキカ故ニ特免セラレヘシ然レモ若シ幼者カ暴動、毆打
 ノ如キ治安ノ著明ナル紊亂ノ爲又ハ偽誓、詐欺等ノ爲ニ告訴サレタレ
 ハ成年ノ者ト異ナルヲナシ其責ヲ負フヘキモノナリ如何トナレハ其
 訊問上裁判所ハ職權ヲ以テ該幼者ハ害ヲ爲シ能フ者ナリシ乎其告訴
 セラレタル所業ヲ爲ス爲メニ辨別ヲ有セシ乎ヲ熟考セサル可カラサ
 レハナリ

精神ノ確實ナラサル者、—善惡辨別ノ年齢ニ於ケル各人ハ反對ノ證ア
 ルニアラサル以上ハ正氣ニシテ自己ノ所業ニ付テ其責ニ任スヘキ者
 ト法律上認定セラル、ナリ然レモ若シ無能力ナルカ又ハ理會ノ缺乏
 アラハ意思ノ應諾アルヲ得サルカ如クニ所業モ亦咎ムヘキモノダ
 ルヲ得ス此無意思力ノ種類ハ天然ノモノ、偶然ノモノ、感動サレタル

モノ、ニシテ永久ナルモノアリ又臨時ナルモノアリ之ヲ大別シテ三種
 類トナスヲ得即チ第一天然狂ア、ナチウ非アト、ツセル、デモンシヤ、ナチエラリス 第二偶然狂デモンシヤ、アクシデンタリス、ウエル、アドウエンチヤ

第三感動狂デモンシヤ、アツフエクタタ ナリ

第一、第一即チ天然狂ハ白癡即チ天然ノ蠢愚ナリ白癡者ハ永續ノ虛
 弱ニ因テ聊正氣ノ間隙ナク其誕生ノ時ヨリ不正氣ノ記憶ヲ有スル者
 ナリ而テ二十ノ數ヲ算ヘ又ハ一週ノ日ヲ告ル能ハサル者又ハ其父母
 ナ知ラサル者等ハ之ヲ稱シテ白癡者ト云フ然レモ此等ノ例ハ只正氣
 ナラサルノ證據トシテ記スノミニシテ常ニ之ニ由テ決定スヘキモノ
 ニアラス而テ假令ヘ白癡即チ天然ノ蠢愚ノ有様カ總テ充分ニ現レタ
 ルモノト雖モ其果シテ白癡者ナルヤ否ノ問題ハ陪審官ノ審問スヘキ
 事實ノ一問題ニシテ其刑ヲ免レシメンカ爲ニ明亮ニ之ヲ爲サ、ルヘ
 カラス人其誕生ノ時ヨリ聾啞ニシテ善惡ヲ辨別スルヲ知リ又ハ特別

ノ犯罪ニ適用スヘキ者タル刑法ヲ理會スルノ何タル手術ヲモ有セサル者ハ法律ノ認定上一白癡者ナリ然レモ若シ此者ハ其有様ノ人カ多クハ徵候ニ依テ發明スル知識ノ使用ヲ有スル事ヲ發露セシメ得ハ然ル時ハ此者ハ假令ヘ斯ノ如キ者ノ訴訟手續ニ於テハ大注意ヲ爲サ、ルヘカラスト雖モ訊問セラル、トヲ得而テ裁判及刑ノ執行ヲ受ルトヲ得

第二、偶然ノ狂氣即チ偶然狂ハ數種ノ原因ヨリ起ルモノニシテ種々ノ種類又ハ度アリ或ハ一部ノ狂(一個ノ主意ニ限り狂ニシテ他ハ悉ク正ナルモノ)アリ又全部ノ狂アリ或ハ永續ノ狂(通常マツドチスト云フ)アリ又通常リユーナシート名クル臨時ノ狂(或ル時期及ヒ精神ノ變轉ニ於テ錯亂シ正氣ノ間隙アル者)アルナリ

第三、デメンシヤ、アソフエクヌダ通例感動狂又ハ自得ノ狂ト稱スル一時モノト雖モ完全ナル狂

氣ヲ生スル酩酊ノ不徳ハ何レノ犯罪ヲ宥恕セサルヘシ而テ酩酊ニ乘シテ罪ヲ犯シタル者ハ自ラ求メタル狂氣ヲ以テ宥免ヲ得ル能ハスシテ犯罪ノ時精神正確タリシト同様法律上ノ責ヲ負フヘキモノナリ尤モ謀殺ノ告訴ニ於テ被告人ノ酩酊ハ其所爲カ豫メ謀ラレタルニアラサリシトノ事情ヲ示サンカ爲ニ考按ニ供スルヲ得ト云ハレタリ然リト雖モ若シ此狂氣ノ最初ノ原因ハ自ラ求メタルニアラス又ハ是カ常習固定ノモノトナリタリセハ此類ノ狂氣ハ此疾病ノ他種ト同様犯罪人ヲ宥恕スヘシ是故ニ例ヘハ若シ人カ醫員ノ不熟練又ハ敵手ノ謀計ニ因テ一時ノ狂氣ヲ發スル藥品ヲ飲マハ其人ハ其狂氣中爲シタル所業ニ於テ責ヲ負フヘキモノナラサルヘシ又人ハ常習固定ノ狂氣中犯シタル罪ノ爲ニ假令ヘ數回ノ酩酊ヨリ發シ及原來自己ノ所業ヨリ起リタル狂氣ト雖モ刑ニ處セラレヘキモノニアラサルヘシ

今ヨリハ此等ノ數種類ノ狂氣ノ成果ヲ論スヘシ凡ソ知識及記憶ノ喪失カ完全、固定、永續ナル場合ニ於テハ是ハ總テノ所業ヲ宥恕ス又偶然狂ノ人ハ其狂氣中ハ精神錯亂ノ固定、永續ナル者ト度ヲ同フシテ同一ノ赦免ヲ得ル權利アリ然レモ此等ノ場合ノ難事ハ精神ノ全キ錯亂ト只一部又ハ一時ノ錯亂トヲ區別スルニアリテ該病者カ善惡ヲ辨別シ能フ者タルヲ得ル乎ニ拘ハラサルナリ其辨別アル場合ニ於テハ該病者ハ法律ノ觀ル處ニテハ罪アル者ニシテ刑罰ニ處スヘキモノタルヘシ「ロルドヘール氏云ク一部ノ狂氣ハ多クハ通例非常ノ恐怖及悲哀ニ於テ其欠乏ヲ發見スルト雖モ未タ全ク道理力ノ使用ヲ失ハサル者トニ憂悶者ノ有様ナリ而テ此一部狂ハ何レノ犯罪ヲ宥恕スキモノナラサルカ如シト又云ク自殺等ヲ爲ス者ハ其罪ヲ犯ス時一部ノ狂氣中ニアルモノ最多キハ疑ナキナリ只一部狂ト全部狂ヲ區分スル所ノ見ル

ヘカラサル線ヲ解釋スルハ甚タ難事ナリ然レモ此線ハ一方ハ不具ノ人ニ對シテ不仁ノ事ナク又一方ハ大罪ニ過寬ノ赦免ヲ與ヘサランカ爲ニ判事及ヒ陪審官ノ正當ニ熟考酌量セサルヘカラサル情狀ノ上ニ存在セサル可ラスト同氏ハ其說ノ局ヲ結フニ及ンテ最良ノ方略トシテ忠告シテ云ク憫然ナル狂病ニ罹ルト雖モ未タ十四歳ノ幼者カ通常有スル如キ大知識ヲ有スル如キ人ハ反逆又ハ重罪ノ罪アル者タルヲ得ル如キ人ナリト凡ソ狂氣犯罪者ノ事件ノ裁決アリシモノ數多ナリト雖モ是ニ就テ精密ナル又ハ一定ノ規則ヲ撰拔シ難シ然レモ狂氣ノ理由ヲ以テ刑罰ヲ宥恕センカ爲ニハ人カ犯罪ノ時ニ當テ善惡ヲ區別スルヲ得ス且其所爲ハ天地ノ法律ニ抵觸スル罪ナルヲ知ラサリシトナ明ニ證セサル可ラサルハ明亮ナルカ如シ若シ一部分ノ道理力アリテ之ヲ適當ニ川ユレハ罪ヲ生スル性情ヲ抑制シタルニ足ラハ若シ所

爲ノ性質ヲ分別シ道德上ノ善惡ノ差異ヲ辨別スル才能アル思想及計較アラハ、然ル時ハ所爲ノ責ニ任スヘキモノタルヘシ犯罪者カ其罪ヲ犯セシ時正氣ナリシ乎又ハ狂氣ナリシ乎ハ陪審官ノ審問スヘキ事實ノ一問題ニシテ其者ノ最前及同時ノ所爲ニ據ルモノナリ狂氣ノ問題ニ付テハ醫術ニ熟練ナル證人ニ就テ他ノ證人ノ保證シタル何々ノ容態ハ其判斷ニテハ狂氣ノ徵ナルヤ否ヲ質問スルヲ得然レモ該證人ニ就テ其呈シタル證據ニヨレハ被告人ノ告訴セラレタル所爲ハ其說ニテハ狂氣ノ所爲ナルヤ否ヲ質問スルヲ得ルヤ否ハ甚タ疑シキモノト常ニ思考サレタリ如何トナレハ是ハ陪審官ノ決定スヘキ點ナルカ故ナリ

マクノートン(名八)犯罪事件ニ於テ狂氣ノ事ニ關シ國會ノ上院ニ於テ議論ヲ生シ而テ狂病ニ罹レル人ノ犯シタリト辨セラレタル罪ニ涉ル法

律ニ關シ左ノ問題ヲ判事ニ附セラレタリ即チ

第一、狂病ニ罹レル人ノ一人又ハ以上ノ特別ノ臣民又ハ人ニ係リ犯シタリト辨セラレタル罪例ヘハ該罪ヲ犯シタル時ニ當リ被告人ハ法律ニ背反スル所爲ヲナシ然レモ狂氣中或ル想像ノ艱難又ハ損害ヲ回復又ハ復讐スル又ハ或ル公益ヲ起スノ意見ヲ以テ愁訴ニ係ル所爲ヲ爲シタルヲ知リシ場合ノ如キ罪ニ關スル法律ハ如何

第二、一人又ハ以上ノ特別ノ臣民又ハ人ニ涉リ狂病ニ罹レリト辨セラレタル人カ犯罪(例ヘハ謀殺)ヲ以テ告訴セラレ而テ辨護ノ爲メ狂氣ヲ陳述シタル時陪審官ニ附スヘキ適當ナル問題ハ如何

第三、被告人ノ罪ヲ犯シタリシ時ニ於テ其精神ノ有様ニ係ル問題ハ如何ノ言詞ヲ以テ陪審官ニ附セサル可ラサル乎

第四、若シ現在ノ事實ニ付テ狂氣中ノ人カ狂氣ノ結果ニ於テ罪ヲ犯

サハ狂氣ヲ以テ之ヲ宥恕スル乎

第五、狂病ニ熟練ナル醫員ニシテ被告人ノ訊問以前ハ嘗テ之ヲ見シ
 一ナク然レヒ其全訊問中及ヒ證人ノ吟味中法廷ニ在リシ者ニ就テ被
 告人ノ罪ヲ犯シタル時ノ精神ノ有様ニ關シ其說ヲ問ヒ又ハ被告人カ
 所業ヲ爲ス時ニ當テ法律ニ背反スル所業ヲナスコトヲ覺悟セシ乎又ハ
 被告人カ當時狂氣中ナリシ乎及如何ノ狂氣中ナリシ乎ニ關シ其說ヲ
 問フコトヲ得ル乎

右ノ問題ニ對シ判事ハ(自ラ尙一層適當ナル答ヲ爲セシ判事モ一ルヲ
 除キ)左ノ如キ答ヲ爲シタリ即チ

第一問題ニ對シ、議員閣下ノ尋問ハ只斯ノ如キ一部ノ狂氣ニ罹リ他
 ノ點ニ於テハ狂ナラサル人ニノミ限レルモノト假定シ予輩ノ說ニヨ
 レハ狂氣中或ル艱難又ハ損害ヲ回復又ハ復讐シ又ハ或ル公益ヲ起ス

意見ヲ以テ愁訴ニ係ル所爲ヲナシタルニ拘ハラズ被告人カ若シ斯ノ
 如キ罪ヲ犯ス時ニ當リ法律(此文字ヲ以テ閣下ハ國法ヲ示シタルモノ
 ト予輩ハ了解ス)ニ背反スル所業ヲ爲シタルコトヲ知リタリセハ其犯罪
 ノ性質ニ從ヒ被告人ヲ刑ニ處スヘキモノナリ

第二及第三ノ問題ニ對シ、總テノ事件ニ於テ各人ハ正氣ニシテ其犯
 罪ニ於テ責ヲ負フヘキモノタルニ足レル道理力ヲ有スルト認定セラ
 ル、旨ヲ陪審官ニ告示セサル可ラス而テ狂氣ノ理由ヲ以テ辨護ヲ爲
 シカ爲ニハ犯罪ノ時ニ當リ被告人ハ精神病ニヨリ其爲ス所爲ノ性質
 及良否ヲ知ラサルカ如キ道理力ノ欠乏中ナリシコトヲ明白ニ證セサル
 可ラス或ハ若シ被告人カ之ヲ知リタリセハ其被告人ハ不正ノ所爲ヲ
 爲シタルコトヲ知ラサリシコトヲ明白ニ證セサルヘカラス此等ノ場合ニ
 於テ陪審官ニ問題ノ最終ノ部分ヲ附スルノ方法ハ通例被告人カ所爲

チナス時ニ善惡ノ差別ヲ知リシヤ否ノ事ナリキ此方法ハ假令ハ陪審官ニ於テ誤謬ヲ爲スヲ稀ナリト雖モ一般ニ及簡略ニ此問題ヲ附シタル時ハ被告人ノ告訴セラレタル其所爲ニ係ル善惡ノ識別ニ付テ附シタル時ノ如ク精密ナラサルハ予輩ノ了解スル所ナリ若シ只簡單ニ國法ニ係ル被告人ノ知識ニ付テ問題ヲ附スヘカリセハ陪審官ヲシテ法律ハ各人カ之ヲ知レリトノ證ナクシテ必ス之ヲ知ルモノト爲サレサル可ラストノ主義ヲ以テ執行セラル、モノタルニ國法ノ眞ノ知識ハ決罪ヲ爲ス爲ニハ緊要タリト信セシムルヲ以テ却テ陪審官ヲ困難セシムルニ至ルヲ得ヘシ若シ被告人カ其所爲ハ爲ス應ラサルモノタルヲ覺知シタレハ而テ若シ其所爲カ同時ニ國法ニ背反スルモノダリセハ其被告人ハ刑ニ處スヘキ者ナリ故ニ通常ノ手續ハ被告人カ不正ノ所爲ヲナシタルヲ知ルニ足レル道理力ヲ有シタリシヤ否ノ問題ヲ陪

審官ニ附スルニアリキ予輩思フニ此手續ハ各特別ノ事件ノ事情ニヨリテ要用ナル如キ考説及説明ノ附屬アルヲ以テ端正ナルモノナリ第四問題ニ對シ、此問題ニ對スル答ハ固ヨリ狂氣ノ性質ニ依ラサルヘカラス然レモ該被告人ハ只斯ノ如キ一部ノ狂氣ニシテ他ノ點ニ於テハ狂ナラサル者トノ予輩カ前文ニ爲シタルト同一ノ假定ヲ爲シテ予輩カ思フニ其被告人ハ其責任ニ關シテハ狂氣ノ成立ツ事實カ眞實ナリシ時ト同一ノ地位ヲ以テ之ヲ考量セサル可ラス例ヘハ若シ狂氣中其被告人カ他人ヲ取テ自己ノ生命ヲ奪ハントスルノ所爲ヲナス者ト想像シ而テ自身保護ノ爲メ其想像スル如ク之ヲ殺サハ其被告人ハ刑罰ヲ免ルヘシ若シ其亂心ハ被殺人カ其品格及財産ニ至大ノ損害ヲ被フラシメタリシトノ事ニシテ該想像ノ損害復讐ノ爲ニ之ヲ殺シタリセハ其被告人ハ刑罰ニ處セラレヘキ者タルヘシ

而テ最終ノ問題ニ對シ、予輩思フニ今想像セラレシ情況ニテハ醫員ニ就テ前文陳述セラレシ言語ヲ以テ其說ヲ問フ能ハサルヤ必セリ如何トナレハ該問題ノ各ハ供出ニ係ル事實ノ真偽ノ決定ヲ含有スルモノニシテ陪審官ノ決スヘキ事ナリ且該問題ハ眞ニ學術上ノ問題ニアラス學術上ノ事ナレハ醫員ノ證據ハ認許スヘキモノナレハナリ然レト事實ハ認許セラレ即チ異論ナクシテ問題カ確然學術ノミノ問題トナル場合ニ於テハ該問題ヲ假令ヘ之ヲ正當ノ事トシテ主張スル能ハスト雖モ斯ノ如キ概言ヲ以テ醫員ニ附セシムルハ便利ナルヘキナリ若シ反逆、謀殺又ハ重罪ニ對シ何レノ人ノ訊問上其人ノ犯罪ノ當時狂氣ナル事カ證據ニ呈セラレ而テ陪審官カ之ヲ放免セハ陪審官ハ其犯罪ノ時狂氣ナリシヤ否ヲ殊ニ見出シ而テ此狂氣ノ理由ヲ以テ放免セラレシヤ否ヲ宣示セサルヘカラサルヲ茲ニ掲載スルハ要用ナルヘシ

若シ陪審官ハ被告人カ犯罪ノ時狂氣ナリシヲ見出サハ其訊問アリタル裁判所ハ女帝ノ勅命アルニ至ルマテ其適當ト思量スヘキ方法ヲ以テ嚴ニ該被告人ヲ監禁スヘキヲ命令セサル可ラス而テ女帝ハ隨意ノ期限間此被告人ノ監禁ヲ命令スルヲ得ヅヅトリヤ女帝即位第三年及第四年ノ條例法第五十四章第三條ヲ以テ此規定ハ輕罪ヲ以テ告訴セラレタル者ニマテ及ホスニ至レリ若シ何人ニテモ何レノ罪ノ爲ニ告訴セラレタル者カ狂者ニシテ法廷ニ召喚ノ上狂者審問ノ爲徵集サレタル陪審官(詳言スレハシエリツフ^(郡)長)ヨリ即時回報シタル官吏ノ審問ノ性質ヲ帶ル陪審官ニ於テ此被告人ハ斯ノ如キ告訴狀ヲ以テ訊問サレ能ハサルカ如ク狂者ト見出サレタレハ或ハ若シ斯ク告訴セラレタル何レノ人ノ訊問上其人ハ告訴狀ニ付テ訊問スルヲ委任サレタル陪審官ニ狂者ナリト見ユレハ裁判所ハ其陪審官ノ發見ノ登錄ヲ命

令シ且勅命アルマテ之ヲ監禁スルヲ命令スルヲ得又若シ何レノ罪
 ナ以テ告訴セラレタル何レノ人カ告訴ノ欠乏ノ爲ニ放免セラレシカ
 爲メ引致サレ而テ狂者ナリト見ユレハ裁判所ハ斯ノ如キ人ノ正狂ヲ
 審問スル爲メ陪審官ノ徵集サレシヲ命令スルヲ得而テ若シ此陪
 審官カ果シテ之ヲ狂者ト見出サハ裁判所ハ勅命アルマテ同一ノ方法
 ナ以テ之ヲ嚴ニ監禁スヘキヲ命令スルヲ得禁獄又ハ追放ノ刑期中
 ノ人ニシテ發狂スル者ハ二人ノ醫員ノ證書ヲ以テ國務卿ノ命令ニ依
 リ郡狂病院又ハ他ノ狂病院ニ移サレ而テ斯ノ如キ者カ精神確實トナ
 リタルヲ國務卿ニ宛テ保證セラル、ニ至ルマテ此處ニ留置ス精神確
 實ヲ保證セラルレハ國務卿ノ命令ニ依テ放免サレ又ハ若シ尙引續キ
 監禁サレヘキ責アル者ナレハ監獄ニ移サル、ヲ得
 大陪審官グランドジュリーハ法律上狂氣ノ理由ヲ以テ告訴狀ヲ等閑ニ附スル權ヲ有セ

ス即チ之ヲ發見スルハ其職務ナリ而テ后裁判所ハ召喚又ハ訊問ノ上
 被告人ノ拘留ヲ國帝ノ隨意ノ期限間命令ズルヲ得
 他人ノ權力ニ服從ノ人、凡ソ罪ヲ犯スニ意思ヲ有セサル者ハ其罪
 ナ宥恕スルト同一ノ確平タル主義ハ他人ノ權力ニ服從シテ自ラ釀成
 シタル放縱自由ノ所爲ノ結果ナラサル罪ヲ犯シタル者ノ法律ノ刑罰
 ニ對シテ之ヲ保護ス故ニ若シ甲カ強テ乙ノ兇器ヲ握ル手ヲ捕ヘ之ヲ
 以テ丙ヲ殺害セハ甲ハ謀殺ノ罪アル者ナリト雖モ乙ハ宥恕セラレ、
 ナリ然レモ若シ乙チシテ強テ丙ヲ殺サシメシカ爲ニ啻ニ威嚇、檢束ノ
 強迫、又ハ生命ノ害トナルヘキ攻撃ノ如キ道德上ノ威力ノミカ用ヒラ
 レタルハ是ハ法律上ノ宥恕ニアラサルナリ(第二等正犯ノ部ヲ看ルヘ
 シ)又此保護ハ社會ノ公私ノ關係中ニ成立ス即チ君臣ノ間ノ如キ公ノ
 關係ニ在テハ現行ノ法律ニ服從スルハ市府裁判所ミューニシパルトリヒューナルニ於テ民事上ノ罪

ナ輕減スルニ足レリ而テ夫ニ妻ノ婚姻上ノ服從ヨリ生スル私ノ關係
 ニ於テハ法律ハ抑壓ヲ認定スルヲ以テ其數多ノ場合ニ於テハ妻ノ犯
 罪ノ處刑ヲ宥恕ス然レモ親子間及雇主人間ニ成立スル私ノ關係ハ
 如何ナル名稱ノ犯罪ト雖モ宥恕シ又ハ輕減セサルヘシ如何トナレハ
 命令ハ法律上無効ニシテ命令者モ亦命令書モ保護スルヲ得サレハナ
 リ
 一般ニ若シ婚姻シタル婦女カ其夫ノ目前ニ於テ罪ヲ犯サハ法律ハ其
 婦女カ夫ノ直接ノ抑壓ニ依テ所爲ヲナシタリト認定シ其婦女ノ刑ヲ
 宥恕ス故ニ一商店ヨリ他ノ商店ニ轉シテ惡質ノ貨幣ヲ行使スル婦女
 ニシテ其夫ハ其度毎ニ商店ノ戸内ニ入ラスト雖モ其戶外マテ同伴ス
 ル者ハ其夫ノ抑壓ニ服從スル者ト判事ベレハ認メタリ然レモ若
 シ婦女カ其夫ノ不在中罪ヲ犯サハ其夫ノ命令又ハ造意ニ係リ且其犯

罪ノ後瞬時ニ其夫其場ニ來ルト雖モ其婦女ノ結婚ノ故ヲ以テ其罪ヲ
 宥恕スヘキニアラサルヘシ而テ夫ノ其後ノ所爲ハ假令ハ是ハ夫ヲシ
 テ其妻ノ犯罪ノ從犯タラシムルヲ得ルト雖モ其不在中其妻ノ爲シ
 タル所爲ニ歸セラレ能ハサルナリ然レモ此認定ハ證據ニ依テ廢滅セ
 ラル、トヲ得而テ若シ妻カ犯罪ノ主タル器械ニシテ隨意ニ之ヲ犯シ
 其夫ノ抑制ニ出テサルヲ露顯セハ假令ハ其夫ハ現場ニ在リテ同意シ
 タリト雖モ其妻ハ罪アルモノニシテ刑罰ヲ受クヘキ責アルヘシ故ニ
 婚姻シタル婦女カ遺言ナシ死去シタル人ノ近親ナルヲ僞テ宣誓シ而
 テ斯ノ如キ者トシテ其管理ノ成果ヲ得タル者ハ假令ハ其夫カ妻ノ宣
 誓ヲ爲セシ時共ニ現場ニ在リシト雖モ其罪ノ責ニ任スヘキ者ナリ又
 夫タル者カ妻ノ代人トシテ知ラスシテ威嚇書ヲ他人ニ交付セシ場合
 ニ於テハ其妻ノミ刑ニ處セラレヘキモノト認メラレタリ凡ソ婚姻シ

タル婦女カ其夫ノ不在中贓物ヲ收受シテ之ヲ其夫ニ知ラシメスシテ
 藏匿シタル場合ニ於テハ其婦女ノミ告訴セラレ其罪ノ爲ニ刑ニ處セ
 ラル、コトヲ得然レモ若シ其夫ハ其所爲ヲ知ラサリシコトヲ充分ニ證セ
 サレハ法律ハ大概贓物收受ヲ其夫ニ歸スヘシ夫妻連帶シテ贓物收受
 ニ付テ決罪セラレシ場合ニ於テハ妻ノ決罪ハ假令ヘ其妻ハ夫ヨリ一
 層活發ニ所爲ヲナシタリシト雖モ維持セラレ能ハサリキ如何トナレ
 ハ其妻ハ夫ノ不在中贓物ヲ收受セシヤ否ヲ陳述スルコトハ陪審官ニ委
 任セラレサリシカ故ナリ「夫妻連帶シテ他人ニ身體上ノ重傷ヲナシテ
 癱疾ニセンカ爲ノ意ヲ以テ犯シタル重罪タル創傷ノ罪ノ爲ニ告訴セ
 ラレタリ陪審官ハ其妻ハ夫ノ抑壓ニ依テ所爲ヲナシ而テ自ラ被害人
 ニ害ヲ加ヘサリシコトヲ見出シタリ此陪審官ノ發見ニ因テ妻ハ放免ノ權
 利アルモノト認メラレタリ」然リト雖モ此保護ハ惡質マラ、イン、セノ所爲タル罪及

自然法ノ禁スル罪ニ在テハ之ヲ與ヘス又性質ノ惡ムヘキ罪又ハ結果
 ノ危険ナル罪ニ於テモ與ヘサルナリ故ニ婚姻シタル婦女カ其夫ニ與
 ミシ及其抑壓ニ依テ反逆、謀殺等ノ罪ヲ犯セハ其單身ニテ犯シタルト
 同様刑ニ處スヘキモノナリ又婚姻シタル婦女ハ賣淫房又ハ賭博房ヲ
 設ケタルコトニ於テ其夫ト共ニ連帶シテ告訴セラル、コトヲ得如何ント
 ナレハ此等ノ犯罪ハ妻タル者ノ主トシテ管理スヘキ家政ニ關係ヲ有
 スレハナリ又攻撃ニ付テハ夫妻共ニ連帶シテ決罪セラル、コトヲ得流
 傳スル説ニヨレハ妻ハ總テノ輕罪ニ於テ夫ト共ニ罪アル者ト見出サ
 ル、コトヲ得ルカ如シ、近時ノ一事件ニ於テコンモンサーイエン龍動ト
 補判事補判事ハ判事ボサンケット及コルトマンニ合議ノ后此區別ヲ疑ヒテ偽造
 貨幣ヲ行使スル輕罪ニ於テ夫ト共ニ告訴セラレシ婦女ノ放免ヲ命令
 セリ「夫及妻ノミニテハ陰謀ノ罪アル者ト見出スヲ得ス如何トナレハ

夫妻ハ法律上一人トシテ思量サレ只一個ノ意想ヲ有スト認定セラルレハナリ

若シ婚姻シタル婦女カ其夫ノ重罪ヲ犯スヲ教唆セハ是ハ事實前ノ從犯ナリ然レモ其婦女ハ夫ノ重罪ヲ犯シタルヲ知リテ之ヲ接待シタルカ爲ニ從犯トシテ論セラレ能ハス其夫ト連帶ノ犯罪者ヲ藏匿シ又ハ其夫ノ竊取セシ赃物ヲ夫ヨリ收受シタルカ爲ニモ亦從犯トシテ論セラレ能ハサルナリ且婦女ハ若シ自己ノ身上ニ義務ヲ負フナクシテ而テ只之ヲ受ルノミナレハ假令ヘ其夫ノ惡行ノ分擔者ナリト雖モ其夫ノ義務ノ背犯(害アリト雖モ)ニ付テ其責ニ任スヘキ者タラサルヘシ若シ婚姻シタル婦女カ其夫ト連帶シテ告訴セラレ其告訴狀中ニ其妻ト記載アラハ其婦女ハ婚姻ヲ證スルヲ要セス但シ若シ其婦女カ夫ノ抑壓ニ依テ所爲ヲナシタルヲ露顯セハ保護ヲ得ルノ權利ヲ有スヘシ

然レモ只記載アルノミニテハ妻ニ係ル告訴狀ヲ却下スルノ理由トナラサルヘシ如何トナレハ告訴狀ハ事實ノ現狀ニ從ヒ連帶ナルモノ及各別ナルモノアレハナリ若シ其婦女カ獨身トシテ記載アラハ其婚姻ヲ證セサル可ラス而テ假令ヘ眞ノ婚姻ヲ證セサル可ラサルヲハ完ク緊要ニアラスト雖モ陪審官ヲシテ其婚姻ヲ満足セシムルカ如キ證據ヲ呈セサル可ラサルナリ

不知—法律ヲ知ラサルヲハ總テノ人カ知レルモノト認定セラレタル法律ヲ了解スヘキ能力ヲ有スル犯罪者ノ刑ヲ宥恕セサルヘシ若シ英國ニ於テ罪ヲ犯サハ外國人ハ法律ヲ知ラサル故ヲ以テ之ヲ宥恕スルヲ得ス若シ海上ノ英船中ニ在テ罪ヲ犯サハ英船ハ法律上英國ノ領分ナルヲ以テ亦同シ然レモ一被告人カ海上ニ於テ惡意ヲ以テ甲乙ナル者ニ對シテ發砲シ而テ此犯罪ハ第三世ジョージ帝即位第三十九年ノ

條例法第三十七章頒布ノ後ニシテ其報知ノ該犯罪ノ場所ニ達シ得タリシ前二三週間ニアリシ場合ニ於テ判事ハ其被告人ハ該條例法頒布前ニハ訊問サレ能ハス且此法ヲ承知シ能ハサリシカ故ニ放免セラレサルヘカラスト認メタリキ凡ソ事實ノ不知又ハ誤解ハ場合ニヨリ過失犯罪ノ辨解トナスコトヲ得例ヘハ若シ人カ其自己ノ家ニ入りタル盜賊ヲ殺サントシテ自己ノ家族ノ一人ヲ殺サハ其人ハ無罪ナルヘキカ如シ然レハ此規則ハ原來ノ意カ正當ナリシトノ想像ヨリ起ルモノナリ如何トナレハ若シ豫知スヘカラサル結果カ自ラ不正ナル且原來ノ性質ノ不良有害ナリシ所業ヨリ出來セハ其所業ヲナセシ者ハ如何ノ結果カ出來スルトモ其結果ニ於テ刑事上其責ニ任スヘキモノタレハナリ

第三節 告訴狀ノ書式

告訴狀ハ三部ヲ以テ成立ス即チ起文(說文及結文)是ナリ是ヨリ順次各文ヲ論スヘシ

第一 起文

各告訴狀ノ起文ハ左ノ如シ

即チミツドルセクス郡——我女帝陛下ノ爲ノ陪審員ハ云々(告訴サレヘキ被告人ノ犯罪ヲ說示ス)ノ事ヲ其宣誓ノ上訴フ

我女帝陛下ノ陪審員云々ト文ヲ起ス告訴狀ハ裁判停止又ハ誤審狀ノ爲ニ不正ト認ラレサリキ但我女帝陛下ノナル言語ハ贅物トシテ廢棄セラレ、コトヲ得是レ其陪審員ハ告訴狀ノ冒頭文中ニ記載サレタルモノナルヲ以テナリ現今ハヅキントリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第百章第二十五條ニ依テ此性質ノ故障ハ陪審員カ宣誓スル前ニ爲サレサル可ラスシテ後ニ爲サル可ラス而テ若シ爲サレタレハ

告訴狀ハ裁判所ノ命令ニ從テ速ニ修正セラル、トヲ得
 ヲエニユ一(犯罪ノ場所ニシテ陪審官ノ出ツヘキ地ヲ云フ)紙端ノゾエニユ一ハ告訴狀ノ起
 文中注意ヲ要スル獨一ノ部分ナリ之ニ關スル一般ノ習慣法ノ規則ハ
 紙端ノゾエニユ一ハ罪ノ犯サレシ郡タラサルヘカラサル事ナリ或ハ
 若シ告訴狀ヲ呈出スヘキ裁判所ノ管轄カ只郡ノ一部ニ止マラハ
 又ハ中央刑事裁判所ノ如キ一郡以上ヲ包括セム又ハ一市邑ホロノ境界中
 ニ止マラハ紙端ノゾエニユ一ハ裁判所ノ管轄ト共ニ擴カルモノタル
 ヘシ詳言スレハゾエニユ一ハ裁判所ノ管轄ノ區域ヲ限レル境界ヲ記
 載スルモノタルヘクシテ罪カ斯ク記載サレタル境界中ニ犯サレサル
 可ヲサリキ是ハ習慣法ノ一般ノ規則ナリ然レモ條例法ヲ以テ數多ノ
 例外カ之ニ設ケラレタリ

第一、 虐取罪ノ告訴狀ニハゾエニユ一ハ何レノ郡ニ定メラル、トヲ得

得ルト云フ

第二、 厄難又ハ難破ニ罹ル又ハ巖上ニ打揚ケ又ハ海岸ニ打揚ケラレ
 タル船舶ノ部分又ハ之ニ附屬スル物品ヲ強奪又ハ竊取シタル罪ノ告
 訴狀ニハゾエニユ一ハ其罪ヲ犯シタル郡又ハ最近ノ郡又ハ場所ニ定
 メラル、トヲ得

第三、 收税官吏ニ抵抗シ又ハ之ヲ攻撃シタル罪又ハ税關ノ收税ニ對
 スル犯罪ノ告訴狀ニハゾエニユ一ハ何レノ郡ニ定メラル、トヲ得海
 上ニ於テ犯サレタル税關ニ對スル罪ノ爲ニハゾエニユ一ハ犯罪者ノ
 居ルヘキ又ハ之ヲ引致スヘキ陸上ノ何レノ場所ニ定メラル、トヲ得

第四、 郵便局ニ關スル犯罪ノ告訴狀ニ於テハゾエニユ一ハ犯罪アリ
 シ郡又ハ場所ニ定メラル、トヲ得若シ罪カ郵便ニ於テ又ハ之ニ付テ
 又ハ之ニ關シテ、又ハ郵便書翰又ハ郵便書翰ノ運輸又ハ交付ヲ掌ル

人ニ對シ、又ハ郵便書翰囊又ハ郵便書翰又ハ郵便ヲ以テ送致サレタル物品、金員又ハ貴重ナル保證物ニ關シテ犯サレタレハヴエニユーハ其犯罪人逮捕又ハ拘留ノ郡又ハ犯罪ニ係ル郵便又ハ人(郵便ヲ掌ル)又ハ郵便書翰囊又ハ郵便書翰又ハ郵便ヲ以テ送致サレタル物品、金員又ハ貴重ナル保證物カ運輸又ハ交付ノ正當ナル通路ニ於テ經過シタルヘキ何レノ郡又ハ場所ニ定ラル、トナ得若シ街道ノ縁、中央又ハ其他ノ部分又ハ河川、堀割、又ハ航路ノ縁、中央岸又ハ其他ノ部分カ二郡ノ境界タラハヴエニユーハ其何レノ郡ニ定メラル、トナ得

第五、兵卒又ハ水夫ヲシテ其職務ヲ離レシメントスルカ爲メニ之ヲ誘惑セントスル又ハ之ヲ教唆煽動シテ背反セシメントスル罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ其罪カ海上ニ在テ犯サル、トモ又ハ英國ニ於テ犯サル、トモ之ニ拘ハラス何レノ郡ニ定メラル、トナ得

第六、偽造罪及偽造證書ヲ行使スル罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ犯罪者ノ逮捕又ハ拘留ノ何レノ郡又ハ場所ニ於テ實ニ其郡又ハ場所ニ於テ罪カ犯サレタルト總テ同様ニ定メラレ且犯罪人カ訊問等ヲ爲サル、トナ得(ヴ)サントリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十八章第四十一條而テ重罪ノ事實前後ノ從犯及ヒ輕罪ノ加功者及勸勵者ハ此條例法ニ依テ其逮捕又ハ拘留ノ何レノ郡又ハ場所ニ於テ其罪及其正犯者ノ罪カ實ニ該郡又ハ場所ニ於テ犯サレタリシト總テ同様ニ訊問等ヲ爲サル、トナ得

第七、スタムプデューテース(紙證券印)ニ關スル條例法ニ對スル犯罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ犯罪ノ郡又ハ被告人又ハ其一人カ逮捕セラレタルヘキ郡ニ定メラル、トナ得

第八、帝國ノ貨幣ニ關スル犯罪ノ告訴狀ニ於テハ何レノ人カ何レノ

郡又ハ管轄ニ於テ贖金ヲ行使シ而テ同日又ハ夫ヨリ十日ノ内ニ他ノ何レノ郡又ハ管轄ニ於テ他ノ贖金ヲ行使スル場合ニ於テハ又ハ二人以上ノ人カ一致シテ異ナル郡又ハ管轄ニ於テ所業ヲナシタル場合ニ於テハ其罪ハ此等ノ郡又ハ管轄ノ何レノ一ニ於テ犯サレタリト定メラレ而テ告訴セラル、ト得而テ犯罪人ハ此一個ノ郡又ハ管轄ニ於テ訊問等ヲ爲サル、ト得

第九、重婚ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ犯罪人逮捕又ハ拘留ノ郡又ハ第二ノ婚姻ヲ爲シタル郡ニ定メラル、ト得被告人逮捕又ハ拘留ノ郡ニ於テ告訴ヲナス場合ニ於テハ其事實ヲ陳述セサル可ラス若シ一重罪ノ爲ニ拘留セラレタル被告人カ重婚ノ爲ニ拘引セラレナハ斯ク拘引セラレタル郡ニ於テ重婚ノ爲ニ告訴セラル、ト得

第十、逃走、破獄、及救助(罪人)ノ罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ罪ノ

犯サレタル管轄又ハ犯罪人カ逮捕セラレ及追捕セラレヘキ管轄ニ定メラル、ト得

第十一、トランスポルターシユン、パイナルセルウヰヂエード 徒刑又ハ懲役ノ刑滿期前自由ニアル罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ被告人ノ逮捕サレシ郡又ハ被告人ノ發遣等ヲ命令サレシ郡ニ定メラル、ト得

第十二、公務又ハ警察ニ従事スル人ニ對シ竊盜又ハ押領罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ被告人逮捕又ハ拘留ノ郡又ハ犯罪ノ郡ニ定メラル、ト得

第十三、ウエールス(太子)ニ於テ犯サレタル重罪又ハ他ノ罪ノ告訴狀ニ於テヴエニユーハ従前最近ノ英國郡ニ定メラル、ト得タリキ(第八世ヘンリー帝即位第二十六年ノ條例法第六章第六條)是ハ其後制定セラレタル重罪ニモ及ホシタリ(第八世ヘンリー帝即位第三十四年及第

三十五年ノ條例法第二十六章第八十四條然ルニ現今ハ此等ノ條例法
 ハ第四世ジョージ帝即位第十一年及第四世ウヰリヤム帝即位第一年
 ノ條例法第七十章第十四條ニ依テ廢止セラレタリ而テウヰールスニ
 於テ犯サレタル罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ英國ニ於ルカ如ク
 別ニ條例法ニ正條アルニアラサレハ犯罪ノ郡ニ定メラレサル可ラス
 第十四、カウンティ、オプセテ、カウンティ、オラスタウン罪カ府郡又ハ市郡府又市ニテ郡ノ特權ヲ有スルモノ第三世ジョージ帝即位
 第三十八年ノ條例法ノプリストル、チエスタル、エキスタルノ三府ニ適用
 スヘキモノハ第四世ウヰリヤム帝即位第五年及第六年ノ條例法第四
 章第百九條ニ依テ廢止サレタルヲ以テ倫敦府、ウヰストミンスタル府又
 ハサウスアークノ市邑ボロニ於ケルノ外ニ於テ犯サル、場合ニ於テハ
 告訴人ハ巡回裁判期ニ於テ最近ノ陪審官ニ告訴狀ヲ呈出シ而テ此處
 ニ犯罪人ヲシテ訊問セラレシムルヲ得或ハ若シ告訴狀カ府郡等ノ

陪審官ニ於テ發見サレタリセハ該府郡等ニ開廷ノ巡回裁判所ハ之ヲ
 最近ノ郡ノ陪審官ニ於テ訊問セラレンヲ命令スルヲ得此等ノ場合
 ノ雙方ニ於テ犯罪人ヲ訊問シ及決罪スル裁判所ハ同郡ニ於テ又ハ犯
 罪アリシ府郡ニ於テ裁判執行ヲ命令スルヲ得且告訴及證人ノ費用
 及訊問ノ爲メ被告人ノ移轉ニ依テ郡カ費シタル費用ヲ若シ其犯罪人
 カ該府郡等ニ於テ告訴セラレ及訊問セラレタリセハ費用ヲ仕拂フ
 ヲ命セラレタルヘキ人會計官ヨリ仕拂フヲ命令スルヲ得現今ヴヰ
 シトリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第五十五章第十九條
 ニ依テ何時ニテモ女帝陛下カ此條例法頒布前巡回裁判ノ委任執行ヲ
 次ノ五ヶ年間命令セサリシ府郡又ハ市郡ノ爲ニ職務ヲ行フ判事治安
 判事又ハコロナル官ハ女帝陛下カ巡回裁判ノ委任ヲ該郡内ニ執行
 スルヲ命令スルニ至ルマテ該郡ノ境界内ニ於テ犯シタル罪ヲ以テ告

訴セラレタル人ニシテ該郡ノ四季裁判所ニ於テ未ダ訊問セラレサル者ヲ安全ニ拘留ノ爲メ該郡ノ監獄又ハ矯正院ニ収監スヘシハリスオフコルレクシユン収監狀ニコンミットメントハ其者ハ此條例法ニ從ヒ収監サル、コナトテ特書スヘシ而テ告訴スル爲メ及該判事又ハコロナルノ取りタル證據ヲ呈スル爲メ出廷スヘキ承諾レコクニシテシタルトヨ法廷ノ記録ニ載スルトテハ總テ斯ノ如キ場合ニ於テ最近ノ郡ノ巡回裁判所ニ出廷シ告訴シ及證據ヲ呈スル爲メ約定ナルヘシ而テ斯ノ如キ者カ斯ク収監セラレ、時ハ毎ニ該監獄又ハ矯正院ノ看守人ハ其看守内ニ斯ク収監セラレタル總テノ囚人ノ名簿ヲ若シ該囚人カ該最近郡ノ普通監獄ニ収監セラレタリセハ其郡長カ法律上爲サル可ラサルト同一ノ方法ヲ以テ該最近郡ノ巡回裁判所ノ判事ニ交付スヘシ而テ前文ニ陳述セシ如ク告訴セラレタル者ヲ収監スルヲ得ル判事又ハコロナルハ此者ニ關スル數種ノ吟味書、告發書、證據、承諾及

審問書ヲ斯ク收監スル權ヲ有スル判事又ハコロナルカ該最近郡ノ監獄ニ此者ヲ収監シタリシ場合ニ於テ要セラレヘキ時ニ於テ及要セラレヘキ方法ヲ以テ該裁判所ノ相當ノ官吏ニ交付スヘシ又ハ交付セシムヘシ而テ該最近郡ノ巡回裁判期ニ於テハ此被告人ニ對シテ該郡内ニ於テ犯シタル同性質ノ罪ヲ以テ告訴セラレタル人ノ場合ニ於ケルト同一ノ手續ヲ爲スヘシ及爲ストテ得

同條例法同章第二十一條ヲ以テ總テ右ノ如ク収監セラレタル者ヲ該監獄又ハ矯正院ノ典獄又ハ看守人ハ其者ノ収監狀及拘留狀ヲ添ヘテ訊問ノ爲メ郡ノ普通監獄ニ保身令狀又ハ其目的ノ爲メ他ノ令狀ヲクシテ移スヘシ而テ斯ノ如キ移轉ハ逃走ナリト思量セラレサルヘシ同第二十三條ハ斯ノ如キ犯罪人ニ言渡スヘキ刑ノ言渡ノ執行及費用ノ拂出ニ關スル第三世ジョージ帝即位第三十八年ノ條例法第五十二章

及同帝即位第五十一年ノ條例法第百章ノ款條ヲ含蓄ス而テ同第二十
 四條ハ第四世ウヰリヤム帝即位第五年及第六年ノ條例法第七十六章附
 錄(〇)號第二項ニ掲載シタル郡ハ此條例法(四年及第十五年ノ條例法第十
 ノ目的ノ爲メニ同附録ノ第一項ニ夫々掲載サレタル府郡及市郡ノ最
 近郡ト思考セラル、旨ヲ明示ス詳言スレハノルサムベアランド郡ハ
 パーウィックアポントウイード市郡及ユークスルアポントン市
 郡ノ最近郡ト、グロースターシーヤ郡ハプリストル府郡ノ、チエシーヤ
 郡ハチエスター府郡ノ、デヴオンシーヤ郡ハエクスイーター府郡ノ、ユ
 ルクシーヤ郡ハキングストンアポンハル市郡ノ最近郡ト思考セラル
 ハナリ然レモユークスルアポントン市郡及エクスイーター府郡
 ニ於テハ現今規則正シク巡回裁判所ノ開廳アリ亦プリストル府郡ニ
 於テモ一ヶ年一回即チ夏期ニ開廳アルヲ注意スヘキナリ

ウヰクトリヤ女帝即位第十四年及第十五ノ條例法第百章第二十三
 條ニ依テ府郡又ハ市郡内ニ犯サレタル罪ノ告訴狀ヲ最近郡ノ巡回裁
 判所ニ出ス場合ニ於テハ該府郡又ハ市郡ヲヴエニユート思量セラル
 ヘシ而テ之ヲ告訴狀ノ紙端ニ犯罪人ノ訊問セラレヘキ郡名ヲ附シ又
 ハ附セスニ陳述スルヲ得又ハヴエニユートシテ告訴狀ノ本文中ニ陳
 述スルヲ得

第十五、中央刑事裁判所其管轄ハ倫敦府、ミッドルセクス郡、エセクス、
 ケント、サルレー、三郡ノ或ル特示ノ部分ヲ包括スニ出シタル告訴狀ニ
 於テハ其管轄區域内ノ地方ハヴエニユート及土地ノ記載等ノ總テノ目
 的ノ爲ニ一郡ト思量サレヘキナリ而テ紙端ニ記スルヴエニユートハ左
 ノ如クナルヘシ

即チ中央刑事裁判所

而テ他ノ告訴狀ニ於テハ訊問ヲ爲ス所ノ郡内ニ犯サレタリト記サレ
 ヘキ總テノ犯罪及他ノ告訴狀ニ於テハ訊問ヲ爲ス所ノ郡内ニ出來シ
 タリト證サレヘキ總テノ大切ナル事實ハ此裁判所ニ出シ而テ此裁判
 所ニ於テ訊問スル告訴狀ニ在テハ該裁判所管轄内ニ犯サレ及出來シ
 タリト記スヘシ告訴狀ヲ此裁判所ヨリサイシカレライ審査狀ヲ以テ他ニ移ス場合ノ
 ヲエユ一ニ關シテハ第十一節ヲ參觀スヘシ
 第十九年ノ條例法第十六章ニ從ヒ此裁判所ニ於テ其管轄地外ニ犯サ
 レタル罪ノ訊問ニ關シテハ第十一節ヲ參觀スヘシ
 第十六、帝國外ニ在テ犯サレタル大反逆及反逆ノ懈怠ノ告訴狀ニ於
 テハヴエニユ一ハ若シ其訊問ヲクインズベンテ裁判所ニ於テ爲サハ
 ミツドルセクス郡ニ定メラル、ト得又ハ若シ女帝陛下カ其犯罪人
 訊問ノ爲メ委員ヲ命セハ陛下ノ命令スル所ノ郡ニ定メラル、ト得

愛蘭國及蘇格蘭國聯合以來該二國ニ於テ犯サレタル反逆及ウエールス
 ニ於テ犯サレタル反逆ハ此限ニ在ラスト雖モアイルオフマン(愛國海
 島)ゲルンゼー(英海峽)ジャージー(上全)サーク(上全)及アルダーネー(上全)又ハ
 他ノ我外國ノ植民地(是ハ英國帝ノ領地ノ部分ナリト雖モ帝國ノ部分
 ニアラス)ニ於テ犯サレタル反逆ハ前文ノ如シ又合衆帝國外ニ於テ英
 臣民ノ犯シタル謀殺又ハ故殺又ハ謀故殺ノ從犯ノ告訴狀ニ於テハ其
 犯罪カ女帝ノ領地内外ナルニ拘ハラズヴエニユ一ハ犯罪人カ逮捕サ
 レ又ハ拘留サレヘキ英國又ハ愛國內ノ何レノ郡又ハ場所ニ定メラレ
 且犯罪人ハ其郡又ハ場所ニ於テ訊問セラル、ト得(ヴキクトリヤ女
 帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第百章第九條)此條例法ニ依
 テ英臣民ノ外國ニ在テ外國人ニ對シ謀殺罪ヲ犯シタル者ハ英國ニ於
 テ訊問セラルヘシ然レモ此條例法ハ帝國外ニ在テ外國人ノ犯シタル

罪ニハ假令ヘ英人ニ對シ及英船内ニ犯サレタルニ拘ハラス及ホサハルナリ但シ此法ハ假令ヘ外國ノ領地内ト雖モ總テノ國ヲ包括ス千八百五十八年ノ五月中中央刑事裁判所ニ於テベルナード(名人)ノ事件ニ付テウヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第百章第九條ハ實際其再設タル第四世ジョージ帝即位第九年ノ條例法(廢止サレタル)第三十一章第七條ニ依レハ英國在留ノ外國人ハ佛國ニ在ル一外國人ノ他ノ外國人ニ對シ犯シタル謀殺ノ徒犯(英國ニ在テ爲シタル所爲ノ爲コト)シテ告訴スルヲ得ル乎否ノ議論アリタリ然レモ該被告(ドナルド)ハ放免セラレタリ女帝ノ領地外ノ地ニ於テ又ハ海上ニ於テ外國船内ニ在テ他ノ外國人ヲ殺シタル外國人ハ決シテ英國ノ法律ニ服從スヘク且英國ニ於テ訊問スヘキ者ニアラス帝國外ニアル女帝ノ船舶倉庫等ヲ燒キ又ハ破毀スル罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ

帝國内ノ何レノ郡ニ定メラル、(北亞米利加)トナ得又ニユーファウンドランド(北亞米利加)ニ於テ犯サレタル強盜及他ノ重罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハ英國内ノ何レノ郡ニ定メラル、(英領)トナ得帝國外ニ在テ外國徵兵條例(英臣民ノ外國政府ニ兵士又ハ海軍士トシテ奉仕スルヲ禁スル條例法ナリ)ニ對シテ犯サレタル罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハウエストミンスタルニ定メラル、(ト)トナ得印度ニ於テ犯サレタル輕罪ハ英國ノクイーンズベントナ裁判所ニ於テ訊問サル、(ト)トナ得外國ニ在テ公務ニ從事スル人ノ犯シタル罪ノ告訴狀ニ於テハヴエニユーハミッドルセクス郡ニ定メラル、(ト)トナ得第十七、海上及英國海軍裁判所管轄内ノ他ノ場所ニ於テ犯サレタリト辨セラレタル罪ハ總テ女帝陛下ノ巡回裁判所又ハ他ノ判事之ヲ訊問、審理、決定スルトナ得此判事ハ陛下ノ委員ニシテ陛下ノ巡回裁判命令狀ヲ以テ裁判所ヲ開廳スヘキモノニシテ英國海軍裁判所管内ノ犯

罪ヲ訊問スル爲メ巡回命令狀中ニ記載セラレタル委員ニ何レカノ條例ニ依テ附與セラレタル全權ヲ各別ニ及合同ニ有スヘシ而テ其各自ノ命令狀ノ制限内ノ各郡及フランチヤイズ(特許ヲ有スル地方ヲ云フ)ニ於テ海上等ニ於テ犯シタリト辨セラレタル罪ノ爲ニ収監及拘留セラレタル者ノ處置ヲ爲スヲ得而テ該判事及委員ノ前ニ出タル告訴狀及其爲シタル訊問其他ノ手續ハ効力ヲ有スヘシ而テ其裁判所ハ該犯罪ノ告訴ノ費用ノ拂出ヲ第四世ジョージ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第二十七條ニ記載サレタル方法ニ從ヒ命令スル權ヲ有ス(ヴヰクトリヤ女帝即位第七年及第八年ノ條例法第二章第一條)而テ同條例法同章第二條ニ依テ該判事及委員ニ出シタル總テノ告訴狀ニ於テハ紙端ニ記シタルヴヰエニユーハ罪カ其訊問アル郡内ニ犯サレタリシ時ト同一ナルヘシ而テ他ノ告訴狀ニ於テハ訊問アル郡内ニ出來シタリト證セラ

レヘキ總テ大切ナル事實ハ此告訴狀ニ在テハ海上ニ出來シタリト證セラレヘシ(故ニ現今ハ罪カ海軍裁判所管内ニ犯サレタリト證スルヲ要セサルナリ)同第三條ハ斯ノ如キ犯罪ヲ以テ告訴サレタル者ノ訊問ノ爲ノ収監ニ係ル條ヲ備フ同第四條ハ斯ノ如キ事件ニ於テ中央刑事裁判所ノ管轄ヲ省除スヴヰクトリヤ女帝即位第十八年及第十九年ノ條例法第九十一章第二十一條モ亦制定シテ云ク若シ海上又ハ外國港内ノ英船内ニ在テ罪ヲ犯シタルヲ以テ告訴セラレタル英臣民タル者又ハ海上ニ於テ英船内ニ在テ罪ヲ犯シタルヲ以テ告訴セラレタル英臣民タル者カ若シ該犯罪カ女帝陛下ノ領地内ノ何レノ裁判所ノ通常ノ管内ニアラハ之ヲ受理シタルヘキ裁判所ノ管轄内ニ見出サルレハ(之ヲ詳言スレハ其者ノ訊問ノ時ニ於テ右ノ如キ犯罪者タルヲ見出サルレハ)其裁判所ハ其管内ニ該犯罪アリタルト同様ニ之ヲ訊問審理スル

管轄權ヲ有スヘシト而テ終ニ近時制定ノ刑事條例法確定條例ノ各ニ
 一款條アリ之ニ依レハ既ニ記載サレタル此等ノ條例法(女帝即位第七
 年及第十八年ノ條例法及第十九年)ニアル海軍裁判所ノ管轄内ニ犯サル、
 所ノ總テ告訴スヘキ罪ハ英國又ハ愛國內ノ陸地ニ於テ犯サレタリシ
 ト同性質ノ罪ニシテ同一ノ刑ニ處スヘキモノト思量セラルヘシ而テ
 其犯罪人ノ逮捕又ハ拘留サルヘキ英國又ハ愛國內ノ何レノ郡又ハ場
 所ニ於テ該罪カ其郡又ハ場所ニ於テ犯サレタリシト完ク同様ニ處分、
 審問、訊問、決定セラル、トナ得

海上ニ於テ英船内ニアル者ハ英臣民又ハ外國人タルニ拘ハラズ英國
 ノ法律ニ服従スルモノニシテ該船ハ法律上合衆帝國ノ領地ノ部分ナ
 ルヲ以テ英國ノ陸地上ニアリシト異ナルトナキナリ又外國人タル被
 告人ノ責任ハ其被告人カ最初不正ニ及強迫ニ依テ船中ニ乗組セラレ

ダリトノ事實ニ關係アラサルナリ尤モ其被告人カ只自身ヲシテ斯ノ
 如キ束縛ヨリ脱セシメンカ爲ノ目的ノミヲ以テ罪ヲ犯シタリシ時ハ
 此限ニ在ラス故ニ外國人タル被告人カ英國ニ在テ一罪ヲ犯シ而テハ
 ムボルグ府(獨國)ニ逃走シ而テ此處ニ逮捕セラレ強テ英船ニ乗セラレ
 斯ノ如ク海上ニ於テ英船内ニ監禁中曾テ逮捕シタリシ官吏ヲ其逃走
 ノ爲ナラスシテ豫謀ノ惡意ヲ以テ殺害セシ場合ニ於テハ斯ノ如キ逮
 捕監禁ヲ不正ト想像スル時ト雖モ其被告人ハ謀殺ノ罪アル者ト認ラ
 レタリキ

前文ニ掲載シタル條例法頒布前ハ海軍裁判所管轄内ノ海上ニ於テ犯
 サレタル反逆、重罪、強盜、謀殺及徒黨罪ハ女帝ノ命令ヲ以テ特別ニ其目
 的ノ爲ニ定メラレタルヘキ郡ニ於テ審問等ヲ爲サ、ル可ラサルモノ
 タリキ海上ニ於テ帝國ノ一臣民ニ對シ外國ノ命令ヲ伴リテ爲シタル

他ノ一臣民ノ敵對ノ所爲、強テ商船ニ乗組ム^ト及ヒ貨物ヲ海中ニ投シ又ハ之ヲ毀損スル^ト、海賊ト通商スル^ト又ハ海賊業ノ目的ヲ以テ船ヲ準備スル^ト、船長又ハ水士カ船及貨物等ヲ以テ脱走スル^ト、又ハ水士カ船長ニ對シ暴行ヲ加ヘ又ハ之ヲ監禁スル^ト又ハ船内ニ於テ一揆ヲ起ス^ト等、海上又ハ海軍提督ノ管轄スル第四世ジョージ帝即位第五年ノ條例法第百十三章ニ記載サレタルモノヲ除キ何レノ場所ニ於テ奴隸ヲ賣買スル^ト等ノ罪ハ總テ海上ニ於テ犯サレタレハ上文ト同様ニ審問等ヲ爲サレヘキモノタリキ海陸上ニアル海賊ノ事實前後ノ從犯モ亦同シ爰ニ川(海際ノ點ニ至ルマデ)小河及郡内ノ海灣及潮ノ退キタル時滿干潮標間ノ海濱ハ海軍裁判所管内ニアラス又ハ前文ノ條例法ニアル海上ナル言詞ノ意味中ニアラサルヲ記載スルハ蓋シ要用ナルヘシ支那ソムプ^トノ川ニ碇泊スル船ニ係ル竊盜ノ告訴狀ニ付テ告訴

人ハ船ノ碇泊セシ場合ノ潮ノ模様ニ關シ證據ヲ呈サ、リキ然レモ判事ハ其川ハ大船ノ入ル場所ナルヲ以テ海軍裁判所カ其管轄ヲ有スト認タリキ以上記載シタル犯罪ハ第八世ヘンリー帝即位第二十八年ノ條例法第十五章ニ從ヒ其審問ノ爲ニ命令狀ヲ發セラレタリシ時ハ海軍裁判所ノ判事及巡回裁判命令狀ヲ帶ル^{コンモンローコートツ}普通法裁判所判事二名ノ前ニ審問、訊問、決定セラレタリキ而テ告訴狀ニ於テハヴエニユートシテ何レノ郡ヲモ記入セラレサリキ但シ英國ノ海軍裁判所ナル言詞ヲ附スルノミナリキ前文ニ記載シタル犯罪ノ爲ニ犯罪人ヲニユートゲートノ監獄ニ収監シ又ハ拘留シタル場合ニ於テハ第四世ウヰリアム帝即位第四年及第五年ノ中央刑事裁判所條例第三十六章第二十二條ニ制定シテ云ク海上又ハ英國ノ管内ノ他ノ場所ニ於テ犯サレタル又ハ犯サレタリト辨セラレタル罪ヲ審問審理決定シ及英國海軍裁判所管内

ノ海上ニ於テ犯サレタリト辨セラレタル罪ノ爲ニユイゲイトノ監獄ニ収監拘留サレタル者ノ處分ヲ爲スハ該條例ノ權ニ依テ發セラレヘキ命令狀中ニ記載サレタル及命令狀ヲ以テ任セラレタル判事及巡回裁判判事又ハ其二人又ハ以上ニ於テ正當ナルヘシ及正當ナルヲ得而テ此判事ニ出シタル告訴狀及其判事ノナシタル訊問其他ノ手續ハ完ク確實ニシテ効力ヲ有スヘシト同條ハ判事ヲシテ第四世ジョージ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第二十七條ニ依テ指示サレタル方法ニ從ヒ費用ノ拂出ヲ命令スルヲ得セシム何人ニテモ英國又ハ愛國ノ海軍裁判所ノ管轄内ニ重罪ノ從犯トナル場合ニ於テハ習慣法ニ於ケル又ハ條例法ニ係ル及其管轄内又ハ他ノ場所ニ於テ犯サレ又ハ其管轄内ニ於テ始メ他ノ場所ニ於テ終リ又ハ他ノ場所ニ於テ始メ其管轄内ニ於テ終リタル重罪ナルニ拘ハラヌ其者ノ罪ハ重罪タルヘ

シ而テ告訴狀ノ紙端ノヴエニユイハ其者カ告訴サル、郡又ハ場所ニ於テ罪ヲ犯シタルト同様ナルヘシ而テ其罪ハ海上ニ於テ犯サレタリト證セラレヘシ海上ニ於テ又ハ國帝カ領地外ニ權力又ハ管轄權ヲ有スル場所ニ於テ犯シタル罪ノ爲ニ犯罪人ヲ訊問スル事ニ關シテハヴヰクトリヤ女帝即位第六年及第七年ノ條例法第九十四章及ヴヰクトリヤ女帝即位第十二年及第十三年ノ條例法第九十六章ヲ看ルヘシ第十八、女帝陛下ノ領地内外ノ何レノ場所ニ於ル海岸又ハ海上ニ於テ其船夥ニ屬スル何レノ人ヲ強テ上陸セシメ又ハ之ヲ陸ニ遺留シテ去リタルヲ爲ニ船長ニ對スル告發書又ハ告訴狀ニ於テハ該罪ハ其船長又ハ他ノ者カ居合セタルヘキ陛下ノ内外ノ領地ニ於テ刑事ノ管轄ヲ有スル何レノ裁判所ニ於テ告訴セラル、ヲ得

第十九、海上ニ於テ又ハ英國愛國外ノ何レノ場所ニ於テ故意ヲ以テ

毆打サレ、毒ヲ施サレ又ハ其方法ヲ以テ疵傷セラレタル者カ英國又ハ愛國ニ於テ死亡シ或ハ英國愛國ニ於テ故意ヲ以テ毆打等ヲ爲サレタル者カ其爲ニ海上又ハ英國愛國外ノ何レノ場所ニ於テ死亡スル場合ニ於テ該罪(正犯又ハ從犯ノ場合ニ拘ハラズ)ハ死亡、毆打、施毒、又ハ疵傷アリシ英國愛國內ノ郡又ハ場所ニ於テ處分セラル、「ナチ得」海岸ヲ距ル遠ラサル船内ノ人カ海岸ニアル人ニ發射セラレ而テ即死セシ場合ニ於テハ發射、死亡共ニ海上ニ於テ起リシモノト倣サレ而テ是故ニ此罪ハ前文ニ掲ケタル第八世ヘンリー帝ノ條例法ニ從ヒテ訊問サレヘクシテヴヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法ハ謀殺ニ關シテハ實際其再設タル第二世ジョージ帝即位第二年ノ廢止サレタル條例法第二十一章ニ依テ訊問サレヘキ者ニアラスト認フレタリキ」

第二十、重罪又ハ輕罪カ二郡以上ノ境界ニ於テ犯サレ又ハ境界ノ五

百ヤルド(ハ一我ヤルド)ノ距離内ニ犯サレ又ハ犯罪カ一郡内ニ始マリ他ノ一郡内ニ終リタル場合ニ於テハヴヰエニユ一ハ罪カ全ク一郡内ニ犯サレ帝タリシト同様其何レノ郡ニモ定メラル、「ナチ得」第四世ジョージ即位第七年ノ條例法第六十四章第十二條(此制定ノ第一部ハ只郡ノ境界ノミニ及ホシテ區域アル管轄内ノ告訴ニ及ホサ、ルナリ此條例法ハ告訴人ヲシテ犯罪ヲ一郡ニ定メ而テ他ノ郡ニ於テ之ヲ訊問セシメ得サラシム但シ犯罪ヲ何レノ一郡ニ定メ及訊問セシメ得ルノミ

第二十一、若シ人カ一郡ニ於テ單盜罪(真ノ竊盜)又ハ復盜罪(竊盜ノ殘ノニシテ時アルシテ強盜罪トナ)ヲ犯シ而テ贓物ヲ他ノ郡ニ携帯セハ其者ハ其罪ヲ犯シタル郡ニ於テ單復盜罪ノ爲ニ告訴セラル、「ナチ得」又ハ其贓物ヲ携帯セシ郡又ハ之ヲ携帯シテ通過セシ數郡中ノ何レノ郡ニ於テ單盜罪ニ對スル如ク單復盜罪ノ爲ニ告訴セラル、「ナチ得」如何

トナレハ法律ノ觀ル所ニテハ該犯罪人カ贓物ヲ時ヲ異ニシテ携帶セシ場所ノ各ニ於テ盜罪ヲ成ス如キ物品ノ零取及運搬アレハナリ盜罪ハ固ヨリ過動スルモノナリト雖モ之ヲ重クスル狀況ハ一所ニ靜止スルモノナリ故ニ一地方銀行ノ爲替券カウナルトシーヤ郡ノスウインドン市ヨリ郵便ヲ以テブリストル府ニ遞送中竊取セラレタリ而テ其後此爲替券カソーマーセットシーヤ郡ニ在ル被告人ヨリ書翰ニ封入シテ郵便ニ附シスウインドン市ノ銀行員ニ宛テ送致シ其金員ノ拂渡ヲ請求セリ其書翰ハ封入物ト共ニ當然ノ順序ヲ經テスウインドン市ニ到達セリ此場合ニ於テ被告人ハウナルトシーヤ郡ニ於テ訊問セラレヘキモノトナサレタリ他ナシウナルトシーヤ郡ニ在ル郵便局員又ハ銀行員ノ其券ノ所有カ此目的ノ爲ニ被告人ノ所有ト認メラレタルヲ以テナリ又若シ人カ合衆帝國内ノ一ヶ所ニ於テ物品、金員、又ハ貴重ナル證書

又ハ他ノ如何ナル財産ヲモ竊取シ又ハ強奪シ其後同國內ノ他ノ所ニ於テ之ヲ所有セハ其者ハ斯ク其財産(即チ)ヲ有シタル同國內ノ場所ニ於テ實ニ之ヲ竊取シタリシト同様ニ其場所ニ於テ告訴等ヲ爲サル、トナ得然レモ若シ財産(即チ)ノ性質變シタルハ其原來ノ有様ノ物品竊取ノ告訴狀ハ斯ク性質ノ變シタル時財産ヲ携帶シタル郡ニ於テ呈出サレ能ハサルナリ又數人一致シテ甲ノ郡ニ於テ重罪ヲ犯シ而テ贓物ヲ配分シ其後各自別々ニ其配分品ヲ乙ノ郡ニ携帶シタル場合ニ於テハ此等ノ犯罪人ハ連帶重罪ノ爲ニ乙ノ郡ニ於テ告訴セラレ能ハサルナリ然レモ若シ二人カ一郡ニ於テ一物ヲ竊取セハ假令ハ只其一人カ他ノ郡ニ之ヲ携帶スト雖モ後ニ至テ其二人カ相共ニ後ノ郡ニ於テ之ヲ所有セントセハ二人共ニ後ノ郡ニ於テ告訴セラル、トナ得如何トナレハ後ノ一致ハ前ノ竊取ト連結セラル、トナ得レハナリ然リト雖

モ第二ノ郡ニ物品ヲ携帶スルコトハアニモ、フニランジ（竊取ヲ云フ義）ナラサルヘカラス管ニ所有スルノミコトハ充分ナラサルナリ「警察官カサルレ一郡ニ於テ竊取シタル馬二頭ヲ携ヘル被告人ヲ捕ヘタリ其後被告人ノ請求ニヨリ被告人ト共ニ其馬ニ乘リテケント郡マテ行ケリ此處ニテ被告人ハ逃走セリ其後該被告人ハケント郡ニ於テ告訴セラレタリ然ルニ判事ハケント郡ニ於テハ竊取ノ證據ナシトノ説ニ皆同意シタリキ然レモ若シ原來ノ竊取カ習慣法ノ審斷シ能ハサルモノタラハ例ヘハ物品ヲ海上ニ於テ竊取セハ其犯罪人ハ該贓物ヲ携帶スヘキ郡ニ於テ盜罪ノ爲ニ告訴セラレ能ハサルナリ但シ其盜罪ハ海軍裁判所管内ノ他ノ事件ニ於ケルカ如ク訊問セラレサルヘカラス」シヤ一セ一島ニ於テ物品ヲ竊取シタル者カドルセツト郡ニ於テ之ヲ所有シ其郡ニ於テ告訴決罪セラレタリ然レモ此決罪ハ不當トナサレタリ如

何トナレハ原來ノ竊取ハ習慣法ノ識ル能ハサル如キモノナルノミナラス該島ハ合衆帝國ノ部分ト思量サレサルヲ以テ此事件ハゾサクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十六章第百十四條ハ其再設タル第四世ジョージ帝即位第七年及第八年ノ廢止サレタル條例法第二十九章第七十六條内ニ在ルヘキモノニアラサリシカ故ナリ又甲ナル者カハッキンナムシヤ郡ニ於テ寺院ノ鉛板（家根ヲ）ヲ剝取り其後ミッドドルセクス郡ニ於テ之ヲ所有シタルヲ以テ其郡ニ於テ習慣法ニ於ル單盜罪ノ爲ニ告訴セラレシ場合ニ於テ其犯罪人ハ原來ノ罪カ習慣法ニ於ル盜罪ニアラスシテ只條例法ニ依ル盜罪ナルヲ以テ該郡ニ於テ告訴セラレ能ハサル者トナサレタリゾサクトリヤ女帝即位第七年及第八年ノ條例法第六十一章第一條ニ依テ郡ノ分離セル部分ハ總テ第四世ウヰリヤム帝即位第二年及第三年ノ條例法第六十

四章ニ從ヒ郡ノ國會議員選舉ノ爲ニ郡ノ部分ト思量サレヘキ部分ヲ組成スルトシテ思量サレサルヘカラス

第二十二、旅行ニ用ヰル馬車其他ノ諸車内ニ於テ又ハ航行スヘキ川、又ハ堀割又ハ内海航行ノ旅行ニ用ヰル何レノ船舶内ニ於テ何人ニ對シ又ハ何タル財産ニ關シ犯シタル重罪又ハ輕罪ノ告訴狀ニ於テハゾエニユ一ハ該馬車等又ハ船舶カ重罪又ハ輕罪犯アリシ旅行中經過シタルヘキ郡内ニ於テ實ニ其犯罪アリシト同様ニ其郡ニ定メラル、一ヲ得而テ街道又ハ川等ノ縁岸中央其他ノ部分カ二郡ノ境界ヲ成ス場合ニ於テハゾエニユ一ハ馬車船舶等カ旅行中經過シタルヘキ通路ノ部分ノ境界ヲ經ル又ハ之ニ隣レル又ハ之ニ近キ數郡中ノ何レニ定メラル、一ヲ得第四世ヨ一シ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第十三條此制定ハ普通運搬人ノ諸馬車又ハ公衆運送馬車(乗合馬車)ニ限ラ

スシテ旅行ニ用ヰル何レノ馬車ニモ及ホスモノナリ
第二十三、陰謀ノ告訴狀ニ於テハゾエニユ一ハ陰謀者ノ一人カ其共同ノ謀計進歩ノ爲メ所業ヲ爲シタルヲ證シ能フ何レノ郡ニ定メラル、一ヲ得又女帝ノ死亡ヲ謀リタル罪又ハ第三世ヨ一シ帝即位第三十七年ノ條例法第七章第一條同帝即位第五十九年ノ條例法第六章第一條ヲ以テ永續ノモノトナサレタルニ定メタル反逆罪ノ告訴狀ニ於テハゾエニユ一ハ充分公然タル所爲ヲ證スルヲ得ル何レノ郡ニ定メラル、一ヲ得「威嚇書ヲ送致スル告訴狀ニ於テハゾエニユ一ハ告訴人カ之ヲ領収セシ郡又ハ被告人カ之ヲ送致セシ郡ノ何レニ定メラル、一ヲ得又若シ讒謗書又ハ催促書(乘合)ヲ甲ノ郡ヨリ乙ノ郡ニ送致セハゾエニユ一ハ雙方何レノ郡ニモ定メラル、一ヲ得又若シ一郡ニ於テ爲シタル所爲カ他ノ郡ニ妨害トナラハ其告訴狀ニ於テゾエニユ一ハ

假令へ所爲ヲナシタリシ郡ニ之ヲ定ムルハ尙一層正當ナリト云ハレ
 タリト雖モ雙方何レノ郡ニモ定メラル、一ヲ得「押領罪ノ告訴狀ニ於
 テ一郡ニ於テ金額ヲ收受シ而テ他ノ郡ニ於テハ收受セスト云フ場合
 ニ於テハゾエニユ一ハ其何レノ郡ニ定メテ可ナリト認ラレタリ現今
 ハ此場合及總テ犯罪カ一郡ニ始リ他郡ニ於テ終リタル場合ニ於テヴ
 エニユ一ハ何レノ郡ニ定メラル、一ヲ得

第二十四、完ク英國又ハ愛國內ニ犯サレタル重罪ノ事實前ノ從犯ハ
 正犯ヲ訊問シ又ハ其正犯カ罪ヲ犯シタリシ郡又ハ場所ニ於テ犯サレ
 タル重罪ヲ訊問スル管轄權ヲ有スヘキ何レノ裁判所ニ於テ訊問セラ
 ル、一ヲ得而テ他ノ場合ニ於テ事實前ノ從犯ハ正犯カ海上又ハ陸地
 ニ於テ犯シ又ハ海上ニ於テ始メ陸地ニ於テ終リ又ハ陸地ニ於テ始メ
 海上ニ於テ終リタルニ拘ハラス且女帝陛下ノ領地ノ内外又ハ半ハ領

内半ハ領外ナルニ拘ハラス正犯ヲ訊問シ又ハ從犯カ逮捕又ハ拘留セ
 ラルヘキ郡又ハ場所ニ於テ犯サレタル重罪ヲ訊問スル管轄權ヲ有ス
 ル何レノ裁判所ニ於テ訊問セラレ、一ヲ得ゾトトリヤ女帝即位第
 二十四年及第二十五年ノ條例法第九十四章第七條然レ現今事實前
 ノ從犯ハ同條例法事實前ノ從犯ノ部ヲ參觀スヘシ第二條ニ依テ總テ
 正犯タリシカ如クニ告訴等ヲ爲サル、一ヲ得「大反逆及輕罪ナル最重
 罪及最輕罪ニ於テハ總テノ犯人カ正犯ナリ而テ正犯トシテ告訴サレ
 サル可ラス詳言スレハ輕罪ヲ犯スヲ造意シ教唆シ加功シ幫助スル者
 ハ總テ其罪ヲ犯ス郡ニ於テ正犯トシテ假令へ造意又ハ教唆ハ其郡ニ
 於テ出來シタルトセサルトニ拘ハラス告訴セラル、一ヲ得又ハ輕罪
 カ其造意ニ依テ始メラレタル郡ニ於テ告訴セラル、一ヲ得而テ大反
 逆ニ於テハゾエニユ一ハ充分公然タル所爲カ證セラレ能フ何レノ郡

ニ定メラル、コトヲ得若シ一郡ニ在ル人カ無心ノ代人ヲシテ他ノ郡ニ於テ重罪ヲ犯サシメハ其人ハ此場合ニ於テ(ゾヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十四章第二條ニ關係ナク)正犯ト思量セラレ而テ實ニ其罪ヲ犯シタル爲ニ告訴セラル、コトヲ得此場合ノゾヰニユ一ハ其罪ヲ犯シタル郡又ハ其犯罪カ其造意ニ依テ始メラレタリシ郡ニ定メラル、ナリ

第二十五、前文記載シタルゾヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十四章第七條ノ正條ハ重罪ノ事實後ノ從犯ニモ亦同シク適用ス[海軍裁判所管内ニ罪ヲ犯ス場合ニ付テハ第十七ヲ看ルヘシ

第二十六、贓物ノ收受者ハ事實後ノ從犯トシテ又ハ主タル重罪ヲ以テ又ハ只輕罪ノミヲ以テ告訴サル、ニ拘ハラヌ其贓物ヲ所有シ又ハ

所有シタリシ郡又ハ場所ニ於テ又ハ正犯カ法律ニ從ヒ訊問セラル、コトヲ得ル郡又ハ場所ニ於テ收受者カ實ニ其贓物ヲ收受セシ郡ニ於テ訊問セラル、コトヲ得ルト同様ニ訊問セラル、コトヲ得(ゾヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十六章第九十六條)是故ニ竊取ハ甲ノ郡ニアリテ收受ハ乙ノ郡ニアル場合ニ於テハ雙方共ニ甲ノ郡ニ於テ訊問スヘキモノナリ而テ告訴狀ニハ竊取收受共ニ甲ノ郡ニアリシト辨スルコトヲ得然レモ甲乙及丙ノ三人カドルセットシヤ郡ニ於テ一頭ノ羊ヲ竊取シタル爲ニ告訴セラレ而テ其告訴狀中ノ一告示ニ亦丙カ主タル重罪ニ對スル如ク竊盜犯人ノ名ヲ記載セスシテソーマーセットシヤ郡ニ於テ羊ヲ收受シタルコトヲモ告訴シタル場合ニ於テハ丙ハ該受贓罪ノ爲ニドルセットシヤ郡ニ於テ訊問サレヘキ者ニアラスト認ラレタリキ若シ合衆帝國ノ一部ニ於テ竊取シタル財産ヲ

其他部ニ於テ收受セハ其收受者ハ合衆帝國內ノ之ヲ收受セシ部ニ於テ告訴セラル、コヲ得

告訴狀又ハ告發書ニ依テ裁判所カ其犯罪ノ管轄ヲ有スルカ如ク見ユル場合ニ於テハ第四世ジョーシ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第二十條頒布以降適當ナル又ハ完全ナルゾエニユーノ欠乏ノ爲メニ裁判停止ノ請願又ハ誤審狀ヲ以テ故障カ爲サレ能ハサリキ而テ現今ハゾ井クトリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第百章第二十四條ニ依リ告訴狀ハ適當ナル又ハ完全ナルゾエニユーノ欠乏ノ爲ニ無効ト認ラレサルヘシ

冒頭文、^{カフシユ}冒頭文ハ告訴狀ノ部分ニアラス只告訴狀ノ呈出サレタル裁判所ノ法式ニ過キスシテ^{レコルド}記録カ製セラル、時又ハ告訴狀カ^{サシホレーライ}審査狀ニ對シテ回報サル、時記録上ノ告訴狀ニ緒言ノ一種トシテ前加サル、

モノナリ左ニ記載スルハ四季裁判期、裁判所ニ於ル告訴狀ノ冒頭文ノ書式ナリ

ウエストモリアランド郡、我大貌列頓及愛蘭土合衆帝國ノ女帝ニシテ^{デラエンダーナフセフエース}宗教ノ保護者ナル國君ヅクトリヤ陛下ノ治世第何年何月何日本郡ニ於ル及本郡ノ爲ニアップルベ一市ニ於テ開カレタル治安一般四季裁判期ニ於テ我女帝陛下ノ治安ヲ本郡ニ於テ保持シ且又本郡内ニ犯サレタル種々ノ重罪、損害罪及他ノ輕罪ヲ審問斷定スルヲ委任サレタル我女帝陛下ノ治安判事何某及何某貴下及其他ノ同僚ノ前ニタル本郡ノ善良正當ノ人ナル何々(此所ニ大陪審員ノ姓名ヲ記ス)ノ宣誓ニ依テ甲某ハ云々(告訴ノ事ヲ記ス)ノ事カ訴ヘテレタリ

冒頭文ニ少クモ大陪審員十二名ノ姓名ヲ記入スルハ通例ナリキ且ロ

ルドヘールハ之ヲ緊要ナリト云フ如何トナレハ十二名ヨリ少キ數ヲ以テスルヲ得ルト雖モ其場合ニ於テハ非ナレハナリ然レモエイレツト(名人)ノ事件ニ於テ冒頭文ニ總テ陪審員ノ姓名無カリシテ錯誤トシテ故障サレタリシ場合ニ於テ國會ノ上議院ハ判事ト商議ノ上ハ緊要ニアラストノクインズベンチ裁判所ノ判決ヲ是トナシタリ且マルシ(名人)事件ニ於テ判事長ハ陪審員ノ姓名ノ記入ハ要用ニアラストノ説ニ同意セリ固ヨリ冒頭文ハ姓名ヲ郡ノ陪審員タルヲ表スル爲ニ記サ、ルヘカラス亦之ヲ善良正當ノ人ナルヲ表スル爲ニ記サ、ルヘカラス冒頭文ノ誤謬ヲ修正スル方法ニ關シテハミッドルセクス郡ノ判事々件及マールシ(名人)事件ヲ看ルヘシ

若シ大陪審員ノ一人カクエーカール宗徒又ハ他ノ宣誓ヲ爲ス代リニ確定ヲナス權利アル者タラハ告訴狀ハ左ノ如ク文ヲ起サ、ルヘカラ

ス

我女帝陛下ノ爲ノ陪審員ハ其宣誓及確定ノ上云々

然レモ是ハ訴訟手續ニ於テ事實説明ノ爲メ他ノ手續ヲ記ス場合ニ於テハ緊要ニアラサルナリ

第二 説文

告訴狀ノ此部分ニ於テハ總テ被告人ノ告訴セラル、罪ノ成分、罪ヲ組成スル事實狀況及意ヲ確實及精密ニ矛盾及齟齬ナク陳述セサルヘカラス而テ被告人ハ罪ヲ犯シタルヲ以テ直接ニ及的(ボシヤケレ)告訴サレサルヘカラス

告訴サレタル訴訟關係人ニ關スル確實(一)被告人ハ告訴狀中ニ其宗教名(洗禮ヲ行フ時附)及附加名(宗教名ニ附加スル名)ヲ以テ記サレサル可ラス然レモ一パリス(寺院ノ管轄スル)ノ住民又ハ一郡ノ住民ハ街道又

ハ橋ヲ修繕セサルカ爲ニ其姓名ヲ記スヲナクシテ告訴セラル、
得ルナリ

被告ハノ宗教名ハ洗禮又ハコンフオルメーション(洗禮ノ后ニ行フ法
式ニシテ之ニ依テ)宗徒トナリタルヲニ於テ得タル名タルヘシ人ハ只一宗教名ノミチ有
スルヲ得ルト云フアリト雖モ是ハ管ニ其人カジョン(宗教名)別稱ジエ
ムス(宗教名)ト稱スルヲ得ストノ意ナリト了解セサル可ラス詳言スレハ
第二ノ宗教名ハ別稱ノ次ニ記スヲ得スト了解セサル可ラス然レモ若
シ人カ洗禮ニ於テ二名ヲ得又ハ洗禮ニ於テ一名コンフオルメーション
ニ於テ一名ヲ得タレハ之ヲ雙方ノ名ヲ以テ告訴スルヲ得ルハ完シ
明亮ナリ而テ若シ此等ノ二名カ例ヘハ被告人ノ名ハリチャード、ジエ
ームスナルヘキチ告訴狀中ニジエームス、リチャードト記セシ時ノ如
ク其順序ノ違フアラハ他ノ異ナル名ヲ記シタリシト同様錯名ニシ

テ錯誤ニ對スル答辨ヲ爲サル、
附加名ハ被告人カ通例其名ニテ通り又ハ其認メタル名タルヲ得而
テ若シ二名中ノ何レカ其眞ノ附加名ナル乎ノ疑アラハ告訴狀中ニハ
其一名ヲ別稱ト云フ言語ノ次ニ加フルヲ得即チリチャード(宗教名)ウ
ルソン(附加名)別稱リチャード(宗教名)レーヤー(附加名)ノ如シ
若シ拘留サレタル被告人ノ名カ知レズ且被告人ハ之ヲ明ステ拒マハ
之ヲ陪審員ニハ名ノ知レサル人然レモ監獄ノ看守人カ陪審員ノ前ニ
引致シタル人ト記ストヲ得然レモ被告人ニ對シ陪審員ニハ知ラレサ
ル人トシテ別ニ大陪審員ハ何人ヲ指示セントスル乎ヲ辨明スル事ナ
ク告訴シタル告訴狀ハ無効ノモノタルヘシ
第八世ヘンリー帝即位第一年ノ條例法第五章ハ告訴狀中ニハ被告人
ニ其身分又ハ等級又ハ職業及其住居セシ又ハ住居スル又ハ其熟知セ

シ又ハ熟知スル市又ハ村又ハ場所及郡ノ附記カ亦爲サレサル可テサルヲ要シタリキ而テ此等ノ事項ヲ陳述スルノ効力ニ關シテ數多ノ正說アルハ諸書ニ散見スル所ナリ身分及等級トハ被告人ノ生計ノ等位ヲ云ヒ職業トハ其商業、工藝、又ハ營業ヲ云フモノナリ從前ハ若シ被告人ノ名又ハ等級、職業、場所ノ附記カ漏レ又ハ之ニ錯誤アリタレハ是ハ錯誤ニ對スル答辨ノ事件ナリキ然レモ第四世ジョージ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第十九條ハ裁判所ヲシテ若シ錯名ノ答辨又ハ附記ノ欠乏又ハ不正ナル附記ノ實事ヲ誓言書其他ニ依テ詳知セシメラレタレハ速ニ告訴狀又ハ告發書ヲ修正シ而テ斯ノ如キ遲滯ノ答辨ノ爲サレサリシカ如クニ訴訟關係人ヲシテ辨論セシムルヲ得セシメタリキ現今ハゾットリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第百章第二十四條ニ依リ何レノ罪ノ告訴狀ト雖モ被告人ノ附記ノ欠乏

又ハ不完全ノ爲ニ無効トナサレサルヘシ是故ニ附記ハ完ク廢止セラレ、トヲ得而テ此書中ニ掲ケタル總テノ書式ニ於テモ亦自今完ク之ヲ廢止スヘシ被告人ノ名ノ誤記モ亦現今該條例法第一條ニ依リ修正セラ、トヲ得此條ハ裁判所ヲシテ重罪又ハ輕罪ノ告訴ノ訊問上告訴狀中ノ陳述ト之ヲ證明スル爲ニ呈出サレタル證據ノ間ニ相違アルヘキ時就中告訴狀中ニ記載サレタル何レノ人ノ宗教名又ハ附加名又ハ宗教附加ノ兩名又ハ他ノ何レノ記事ニ相違アルヘキ時ハ每ニ若シ裁判所カスノ如キ相違ヲ訴訟事件ノ實質上大切ナラス且被告人カスノ如キ實質ノ辨護上之カ爲ニ害ヲ被フリ能ハスト思考スヘケレハ該條中ニ記載サレタル方法及條件ヲ以テ告訴狀ヲ證據ニ從ヒテ修正スルヲ命令スルヲ得サシム(第二部第一章ヲ看ルヘシ)

罪カ對シテ犯サレタル人ニ關スル確實一人ノ身體又ハ財産ニ對スル

犯罪ノ告訴狀ニ於テハ若シ被害者カ知ラレタレハ其被害者ノ宗教名
 及附加名カ陳述サレサルヘカラス即チシヨン、スタイルスノ謀殺、シヨ
 ン、スタイルスノ物品ノ竊盜、シヨン、スタイルスノ住居家屋内ノ夜盜、及
 其家屋内ニ於テシヨン、ノースノ物品ノ竊取等ノ如シ斯ノ如ク陳述
 サレタル名ハ被害者ノ眞名又ハ其名ニテ其者カ普通ニ知ラレタル名
 タラサルヘカラス例ヘハ私生兒謀殺ノ告訴狀ニ於テハ其兒ハ其母ノ
 名ヲ以テ記載スルヲ得ス但シ其名カ人ニ唱ヘラル、トニ依テ得ラレ
 タレハ此限ニアラサルカ如シ

私生兒ハクエーサイ、ナルリユス、フヒリユス(何人ノ子ニモアラサルカ如シト云フ義ナリ)ニシ
 テ其生ル、ヤ否名又ハ人ニ唱ヘラル、名ヲ有シ能ハサル者ナリ是故
 ニ陪審員ニ其名ノ知ラレサリシ私生女兒ノ謀殺ノ告訴狀上其女兒ハ
 未タ洗禮ヲ受ケサリシト雖モ被告人タル母カ之ニメーレー、アンノ名

ヲ附スルヲ欲シタリト云テ自ラ之ヲメーレー、アン及小メーレート稱
 シタリシトノ露顯セシ場合ニ於テ該兒ハ人ニ唱ヘラル、トニ依テ名
 ヲ得シニアラスト認ラレタリキ總テ小兒ハ或ル幼齡即チ何々齡ノ男
 兒ニシテ洗禮セサル者トシテ記載サル、トヲ得サル者ニシテ告訴狀
 ニハ其名ヲ記サ、ル可ラス或ハ若シ洗禮又ハ人ニ唱ヘラル、トニ依
 テ得タル名ヲ有セサレハ陪審員ニ知ラレサル者ト之ヲ記サ、ル可ラ
 ス然レモ小兒ヲ何某ノ身體ヨリ生レテ間ナキトシテ又ハ何某ノ身體
 ヨリ生レテ幼齡即チ二日ノ齡ノ未タ名ナキ或ル幼女兒トシテ記載
 スレハ其名ノアラサルヲ充分ニ補フモノト認ラレタリキ被告人カ一
 婦女ヲ殺害シタルヲ以テ告訴セラレ其婦女ノ名ハ陪審員ニ知ラレス
 シテ被告人ハ時ニヨリ其妻タリキト云ヒ時ニヨリ妻タラサリキト云
 ヒ而テ其名ノ知レヘキ證據アラサリシ場合ニ於テ若シ其婦女カ其被

告人ノ妻タテサリセハ且其名カ正當ナル注意ニ依ルモ知ル能ハカリ
 セハ其記載ハ端正ノモノト認ラレタリキ總テ附記ハ緊要ニアラサル
 ナリ而テ其記載アリト雖モ之ヲ證スルヲ要セスト云ハレタリ然レモ
 被告人カ其最初ノ妻生存中寡婦某ト婚姻ヲ爲シタル爲ニ告訴セラレ
 タル場合ニ於テハ附記ハ緊要ト認ラレタリキ此被害者カ同名ノ母ヲ
 有セシテ露顯セシ場合ニ在テハ裁判所ハ告訴狀中ニ若（ハ親子同名ナレ
 姓名ノ下ニ加ヘテ之ヲ區別ス）ナル語ヲ附加シテ之ヲ區別スルハ緊要ニアラスト認
 タリキ尤モ斯ノ如キ事件ニ於テ斯ノ如キ附記アラサリシ場合ニ於テ
 ハ告訴狀中ニ記載ノ者ハ母親ニシテ其子ニアラストノ認定アリトノ
 故障アリタリキ而テ二三ノ事件カ此事ニ付テ引證サレタリキ然レモ
 被害者カ貴族バロネット（男爵ノ次ニ位スル爵名）又ハナイト（爵名）ノ如キ爵名ヲ有スル
 者ナル場合ニ於テハ之ハ記載サレサルヘカラス而テ若シ被害者カ實

ハバロネットナルナイトト記載シ又ハ其反對ニ記載サレタレハ其相違
 ハ修正サレサル以上ハ有害タルヘシ如何トナレハ爵名（例ヘハバロネッ
 ト）ハ爵ニ附記ニアラス實ニ名ノ一部分ナルカ故ナリバロン（男爵）某ハロ
 ルド（貴族ノ敬稱）某ト記載シテ妨ナキモノト認ラレタリキ曾テフランスウヰ
 ク及ルー子ブールグ（獨逸國內ノ公國）ヲ統治スルジューク（公爵）タリシ人ニシテ
 當時私人トシテ英國ニ滯留シ普通フランスウヰ及ルー子ブールグ公
 ト稱セシ者ニ對スル讒謗ノ告訴狀ニ於テハ之ヲフランスウヰ及ルー
 子ブールグ公某ト記載シテ効アル者ト認ラレタリキ又カムブリッジ
 公殿下ハ其宗教名ヲ記スナクシテ有効ト思量サレタリキ
 死者ノ衣服（經帷子ノ類）ヲ竊取シタル罪ノ告訴狀ニハ之ヲ遺書取扱人（死者
 遺言ニ依リ定メタル者）又ハ管理人（遺書取扱人ヲ定ムル遺書檢査裁判所ヨリ命セラ
 ル者）ノ物品及所有品ト記載セサルヘカラス或ハ若シ遺書取扱人又ハ

管理人アラサレハ葬儀ノ費用ヲ辨セシ人又ハ若シ其衣服ハ死者ノ遺金ヲ以テ購求セラレタリセハナルシナレ(宗教上ノ訴訟ヲ管)ノ物品ト之ヲ定ムルコトヲ得ルカ如シ又若シ棺カ竊取セラレタレハ前同様ニ爲スコトヲ得或ハ若シ時日久キテ死者ノ代理人(遺書取扱人及)ヲ確知シ難ケレハ之ヲ知レサル人ノ財産トシテ定ムルコトヲ得然レモ其竊取シ去ラレタルパリシ(寺院)ノ寺院管理人ノ財産トシテ之ヲ記載スルコトヲ得ス若シ死者ノ財産タル物品カ其死後ニシテ其管理委任アル前ニ竊取セラレタレハ其財産ハナルシナレ(全上)ノモノト定メ管理人ノモノト定ムヘカラス如何トナレハ管理人ノ權利ハ只管理書ニ記載ノ時日ヨリ開始スルノミニシテ此點ニ於テハ遺言人ノ死去ヨリ効力ヲ有スル遺書取扱人ノ權利ニ異ナレハナリ「甲ノダイオシース(正)」(ビシヨツプ)管内ノ街道ニ於テ死體ノ衣服ヲ竊取セシ場合ニ於テ其死者ノ埋葬地ハ

乙ノダイオシース内ニアリシニ此地ヲ去リテ甲ノダイオシース内ニアル其父ノ埋葬地ニ移スノ途中ニアリシ「露顯セハ其財産(衣服ヲ)」ハ甲ノビシヨツプ(正)ノモノト定メテ可ナリト認ラレタリキ竊盜罪ノ告訴狀中ニ記載サレタル物品ノ二三ハ死者ノ死去ノ時其所有内ニアリタリト示サレ其他ノ物品ニ付テハ是ハ死者ニ屬セシモノニシテ其葬儀ノ日ニ被告人カ之ヲ甲ノ家ニ携ヘ行ケリト示サレ而テ遺書ヲ死者ノ抽斗(卓等)及箱中ニ搜索スレモ之ヲ得サリシ事及未タ管理ノ委任アラサリシ事カ證明サレシ場合ニ於テハ第一ニハ遺言ナク死去セシ事ノ充分ナル證據アル事及財産ハ正當ニオルジナレノモノト定メラル、事カ認ラレ第二ニハ告訴狀中ニ記載サレタル總テノ物品ノ竊盜ニ對スル決罪ハ適當ナル事カ認ラレタリキ若シ物品保管人ノ所有内ノ物品カ竊取サレタレハ是ハ告訴狀中ニハ假令ヘ其物品ハ實ニ決シテ

眞ノ所有者ノ所有ニアラスシテ只保管人ノミノ所有ナリシト雖モ保管人又ハ寄託人ノ何レノ物品トシテ記載セラル、トテ得例ヘハ旅舎ニ置キタル物品又ハ保護ノ爲メ人ニ寄託シタル物品又ハ運送ノ爲メ運送人ニ寄託シタル物品、衣服ヲ製スル爲メ裁縫匠ニ渡シタル織物、洗濯ノ爲メ洗婦ニ渡シタル汗衫、質入シタル物品等ノ如キハ告訴人ノ選擇ニ依リ斯ク寄託サレタル人又ハ所有者ノ物品及貨物ト定メラル、トテ得又告訴狀中ニ家畜カ一人ノ所有ナリト辨セラレ然ルニ其人ハ只他人ノ家畜ヲ飼フ者ニシテ眞ノ所有者ニアラサル事カ證據ニ依テ露ハレシ場合ニ於テ判事ハ其人ノ所有トシテ効力アリト認メタリキ」堀割ノ水底掃除中竊取サレタル鉄器ハ堀割會社ノ所有物トシテ假令ヘ該會社ハ自ラ物品ノ運送人ニアラスト雖モ定メラル、トテ得ト認ラレタリキ然レモ物品寄託人カ保管人ノ手ニアル自己ノ所有品ヲ竊

取スル場合ニ於テハ其物品ハ告訴狀中ニ保管人ノ物品トシテ記載サレサル可ラス物品保管人カ過テ物品ノ所有權ヲ其物品ヲ得ル權利ナキ者ニ讓ル場合ニ於テハ其物品ニ於ケル保管人ノ特別ノ所有權ハ失ハレサルナリ而テ告訴狀ニハ自己ノ物品トシテ記載スルヲ得然レモ物品ハ其實ノ所有權モ亦解釋上ノ所有權モ有セサル人ノ財産トシテ記載スルヲ許サス故ニ若シ所有者トシテ指名サレタル者カ只眞ノ所有者ノ雇人タルヲ露顯セハ被告人ハ放免セラレサル可ラス如何トナレハ雇人ノ所有權ハ雇主ノ所有權ナルヲ以テ雇人ハ物品ニ於テ別ノ所有權ヲ有セサレハナリ又所有者トシテ指名サレタル者カ婚姻シタル婦女タルヲ露顯スル場合ニ於テハ被告人ハ放免セラレサル可ラス如何トナレハ法律上其物品ハ夫ノ財産タルヲ以テナリ假令ヘ其婦女カ自用ノミノ爲メ委託人ニ委任シタル財産ヨリ生スル歳入ヲ以テ

夫ト別居シテ生計ヲ營ム時ト雖モ亦然リ如何トナレハ物品ハ委託人ノ財産タルヲ得ス且法律上婚姻シタル婦女ハ財産ヲ有セサレハナリ然レモ物品カ獨身ノ婦女ヨリ竊取セラレ而テ其婦女カ告訴狀發見前婚姻セシ場合ニ於テハ其婦女ノ處女名ヲ以テ其物品ノ所有者トシテ記載スレハ効力アリト認ラレタリキ家具備リタル室ト共ニ貸シタル物品ハ若シ其物品ノ竊盜第三ノ人ノ犯ス處ニ係ラハ之ヲ借室人ノ物品トシテ記載セサル可ラス如何トナレハ其所有者ハ所有權ヲ有セス亦之ヲ得ル權利アラサレハナリ然レモ若シ借室人カ竊盜ヲ犯サハ然ル時ハ物品ハ所有者又ハ賃貸スル人ノ財産トシテ記載スルヲ得ルツト、オフ、フアイエーライ、フエーシアス（裁判執行令狀ニシテ民事貸借ノ訴テ負債ヲ償還セシムル）ヲ以テ差押ヘラレタル物品ハ對シテ該令狀ヲ發セラレシ訴訟關係人ノ物品トシテ記載セラル、ヲ得如何トナレ

ハ假令ヘ其物品ハ法律ノ保守中ニアリト雖モ原來ノ所有者ハ其物品ノ賣却サル、ニ至ル迄ハ繼續シテ其所有權ヲ有スレハナリ又若シ甲カ乙ノ物品ヲ竊取シ而テ其后丙カ之ヲ甲ヨリ竊取セハ其物品ハ乙又ハ甲ノ物品トシテ記載セラル、ヲ得如何トナレハ乙ノ所有權ハ盜取ニ依テ失ナハレサレハナリ父ヨリ其幼者ニ供給シタル衣服其他ノ要品ハ特ニ若シ其幼者カ幼齡ノモノナレハ父又ハ幼者ノ財産ト定ムルヲ得ルカ如シト雖モ之ヲ幼者ノ財産ト辨スルハ恐ラクハ一層穩當ナルヘシ

從前ハ竊取サレタル物品カ組合人又ハ共有者ノ財産タリシ場合ニ於テハ告訴狀中ニ總テ其組合人又ハ共有者ノ名ヲ正シク記載セサルヲ得サリキ否ラサレハ被告人ハ放免セラレタルヘシ然レモ現今ハ何レノ重罪又ハ輕罪ノ告訴狀又ハ告發書中ニ商業組合人、共同借地人、父祖

傳來ノ田地ヲ分有スル者又ハ^{チーナツインコンモン}連合借地人(合本會社及委托人ヲ包含ス)タルニ拘ハラス二人以上ノ人ニ屬スル如何ノ動産不動産ヲ問ハス其財産ノ所有者ヲ記載スル事カ緊要タルヘキ時ハ毎ニ只一人ノ姓名カ掲載サレサル可ラス而テ其財産ハ斯ク掲載サレタル一人及場合ニ從テ他ノ一人又ハ他ノ數人ニ屬スルモノトシテ記載セラル、^コチ得此記載ハ斯ノ如キ人ヲ告訴狀又ハ告發書中ニ記ルス事ノ緊要タルヘキ時モ亦毎ニ効力アルモノタルヘシ(第四世シヨイシ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第十四條)此條例法ノ言語ニハ他ノ一人又ハ他ノ數人トアリ故ニ被告人カシヨイシ、イール及他ノ數人ノ財産ナル紙ヲ竊取シタル罪ノ爲ニ告訴セラレ而テ其紙ハシヨイシ、イール及只他ノ一人ノミ即チ其組合人ナルアンドンリユー、ストラハンノ財産タリシ^コ證據上露ハレシ場合ニ於テハ其被告人ハ放免セラレタリ然レ^ニ嚴重ナ

ル合法的ノ組合會社カ成立セサルヘカラサル^コハ緊要ニアラサルナリ茲ニ甲及乙カ組合ニ於テ商業ヲ營^ミ而テ甲ノ死去ノ後其寡婦カ管理^ミ法ヲ受クル^コナク乙ノ組合人トナリタリ其后共有資産ヲ該寡婦ト乙ト分配セリ然ルニ其分配前其資産中ノ一部分ヲ竊取サレタリ此場合ニ於テ竊取サレタル物品ハ乙及寡婦ノ共有物ト記載シテ適當ナリト認ラレタリ尤モ甲ノ子タル者カ組合人トナラサルヘカラス又ハ該物品ハ管理法ヲ受クル^コナキヲ以テ乙及オルシナレノ財産トシテ記載サレサルヘカラストノ故障アリタリ又父子共同シテ畑地ヲ購ヒ其共有財産ナル羊ヲ飼ヒタリ而其子死去ノ后其父ハ自身ト其幼稚ナル孫ノ共有利益ノ爲ニ引續テ此業ニ従事セシ場合ニ於テ其共有財産ヨリ生シタル羊ヲ其子ノ死去ノ稍前後ニ竊取セラレタル告訴狀ニ於テハ該財産ハ父及其孫ノ財産トシテ妨ナキモノトナサレタリ^レメソジス

ト寺院ノ^{バイブル}經典經書等ヲ竊取シタル告訴狀ニ於テ該物品ハジョン(ベン
 チット及他ノ數人ノ財産ト定メラレタリ而テベンチットハ該寺院ノ
 社中及委託人ノ一人タリシヲ露ハレタリ因テ判事パーシハ該財産ノ
 記載ヲ正當ト認メタリキ
 合本銀行會社ノ金員、物品、家具、金券、爲替券、證書其他之ニ屬スル財産ヲ
 竊取又ハ押領シタル事ニ對シ或ハ之ニ對シテ又ハ之ヲ害シ又ハ欺騙
 スル意ヲ以テ犯サレタル何レノ詐偽、偽造其他ノ罪ニ對シ該會社ヨリ
 呈シ又ハ之ニ代リテ呈セラレタル告訴狀又ハ告發書ニ於テハ該金員
 等ハ該社ノ公然タル職員中ノ一人ノ財産ト記載シ該意ハ此一人ヲ欺
 騙スルモノト定メラル、ヲ得而テ其公然タル職員中ノ一人ノ姓名ハ
 總テノ告訴狀又ハ告發書中ニ用ラル、ヲ得否ラサレハ該會社ヲ組
 織スル人ノ姓名ヲ悉ク掲グルヲ緊要ナルヘシ(第四世ジョーシ帝即位第

七年ノ條例法第四十六章第九條)茲ニ斯ノ如キ場合ニ於テ意ハ公然タ
 ル職員ヲ欺騙スルニアリト定メラレサルヘカラサル乎又ハ此條例法
 ハ只此點ニ於テノミ集合ナリシ乎ノ疑惑アリタリ是故ニ告訴人ハ財産
 ヲ記載シ又ハ意ヲ定ムルニ此條例法ニ從フトモ又ハ第四世ジョーシ帝
 即位第七年ノ條例法第六十四章第十四條(前文ニ)ニ從フトモ又ハ會社
 又ハ數名ノ人ヲ欺騙スル意アリシ場合ノ偽造罪ノ告訴狀ニ於テハ只
 一名ノ人ノミヲ記載シ而テ該罪ハ斯ク記載サレタル人及ヒ場合ニヨ
 リ他ノ一人又ハ他ノ數人ヲ欺騙スル意ヲ以テ犯サレタリト辨シテ効
 カアリトセシ第四世ジョーシ帝即位第十一年及第四世ウヰリヤム帝
 即位第一年ノ條例法(廢止サレタル)第六十六章第二十八條ニ從フトモ
 其選擇ニ任スヲ得タリキ然レト合本銀行會社ノ金員又ハ物品ヲ竊
 取シ又ハ押領シタル罪ノ爲ニ第四世ジョーシ帝即位第七年ノ條例法

第四十六章第九條ニ依リ會社ノ社員ナラサル者ニ對スル告訴狀ニ於
 ルモ又ハヅ^シクトリヤ女帝即位第一年及第二年ノ條例法第九十六章
 (シ^シクトリヤ女帝即位第三年及第四年ノ條例法第百章及其后ノ條例
 法ヲ以テ繼續セル)ニ依リ該會社ノ株主ニ對スル告訴狀ニ於ルモ意ハ
 條例法ニ從ヒ正當ニ補任サレ且登簿サレタル會社ノ公然タル職員一
 名ヲ欺騙スルニアルモノト辨セラレ而テ財產ハ該職員ノ財產ト定メ
 ラレサルヘカラスト一度決定サレタリト思考サレタルカ如シト雖モ
 現今ハ第四世ジヨ^シ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第十四條カ
 之ニ適シ而テ此條ニ從ヒ財產ヲ會社々員ノ一人及他ノ數人ニ定メタ
 ル告訴狀ハ適當ナルモノナリト認ラレタリ
 郡區又ハ小區^{ライツンク シツインエン}ノ費用ヲ以テ全ク又ハ幾部分建設又ハ維持サレタル橋、
 公衙、監獄、矯正院、病院、養育院^(啞育院)其他ノ公立ノ建家ニ於テ又ハ對シ

テ又ハ關シテ犯サレタル或ハ橋又ハ其兩端ノ街道又ハ公衙等ヲ作り、
 變造シ又ハ修繕スルニ用ユル爲メ又ハ該公衙其他ノ建家ニ使用スル
 爲メ何レノ郡等ノ費用ヲ以テ供備サレタル如何ノ貨物又ハ物品ニ對
 シテ又ハ關シテ犯サレタル何レノ重罪又ハ輕罪ノ告訴狀又ハ告發書
 ニ於テハ該財產ハ動產不動產ニ拘ハラハ該郡等ノ住民ニ屬スルモノ
 トシテ別ニ住民ノ姓名ヲ掲クルヲナク記載セラレ、^トヲ得第四世ジ
 ヨ^シ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第十五條
 貧民工業所又ハ救育所^{フイアハウス}ニ於テ又ハ對シテ又ハ關シテ或ハ寺院區、市區^{パリスレ ムツンツツ}
 村落又ハ場所ノ貧民ノ使用ニ供セラレタル又ハ寺院區等ニ在ル又ハ
 之ニ屬スル工業所又ハ救育所ニ於テ使用ノ爲メ又ハ該所ノ長又ハ女
 長又ハ該所ノ職工又ハ雇人ノ使用ノ爲メ供給サレタル如何ノ貨物又
 ハ物品ニ對シテ又ハ關シテ犯サレタル何レノ重罪又ハ輕罪ノ告訴狀

又ハ告發書ニ於テハ該財産ハ該寺院區等ノ當時ノ貧民監督ニ屬スル
 トシテ別ニ其姓名ヲ掲クルコトナク記載セラレ、コトヲ得(第四世シヨ
 シ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第十六條)第四世ウヰリヤム帝即
 位第四年及第五年ノ條例法第七十六章ニ從ヒ編制サレタル各ユニオ
 ノ(合一聯)ノ貧民ノ保護官及該條例法ニ從ヒ保護官事務局ノ管轄ニ附セ
 ラレタル各寺院區ノ貧民ノ保護官ハ同帝即位第五年及第六年ノ條例
 法第六十九章第七條ニ依テ何々郡ニ於ル何々ユニオンノ(又ハ何々寺
 院區ノ貧民保護官ノ名稱ヲ以テ一會社ト爲サレタリ而テ該會社トシ
 テ其ユニオン又ハ寺院區ノ利益ノ爲ニ建家、土地、遺産(死去セ)物品又ハ
 什具其他ノ財産ヲ領収シ受取シ保持シ而テ其名ヲ以テ訴訟ヲ起シ告
 訴狀ヲ出ス等ノ權ヲ有ス而テ右ノ如キ財産ニ關スル訴訟又ハ告訴ニ
 於テハ財産ヲ何々ユニオン又ハ何々寺院區ノ保護官ノ財産ト記載シ

テ効力アルモノタルヘシ
 若シ寺院區等ノ内ノ街道ヲ作り、變シ又ハ修繕スル(タルンパイクロ
 ド)道路ヲ通行スル者ヨリ道路稅ヲ取リ之ノ委託人又ハ委員ノ爲スモノニ
 アラサル爲ニ供セラレタル物品、器械、又ハ器具ニ對シ又ハ關シテ何レ
 ノ重罪又ハ輕罪カ犯サレタレハ其財産ハ當時ノ街道監査官ニ屬スル
 モノトシテ別ニ其姓名ヲ掲クルコトナク記載セラレ、コトヲ得(第四世
 ヨーシ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第十六條)又若シ國會ノ條例
 法ニ從ヒテタルンパイクロード(上全)ヲ作ル爲ニ建設シ又ハ供セラレタル
 家屋、建家、門、器械、燈、板、石、柵、圍其他ノ物又ハ此等ニ夫々屬スル便利物又
 ハ附屬品又ハ斯ノ如キ道路ヲ作り、變シ又ハ修繕スル爲ニ供セラレタ
 ル物品、器具又ハ器械ニ對シ又ハ關シテ何レノ重罪又ハ輕罪カ犯サレ
 タレハ其財産ハ該道路ノ委託人又ハ委員ニ屬スルモノトシテ別ニ其

姓名ヲ掲クルコトナク記載セラル、コトヲ得(全條例法第六十四章第十七條) 暗渠又ハ暗渠委員ノ視察、検査又ハ管掌内ノ他ノ物件ニ對シ又ハ關シテ犯サレタル何レノ重罪又ハ輕罪ノ告訴狀又ハ告發書ニ於テハ斯ノ如キ物件ヲ視察、検査又ハ管掌スル暗渠委員ニ屬スルモノト何レノ斯ノ如キ財産ヲ記載シテ効力アルヘシ而テ別ニ委員ノ姓名ヲ掲クルヲ要セサルナリ(同條例法第六十四章第十八條)

公務ニ従事スル者ノ押領シタル金員又ハ貴重ナル證書ハ女帝ノ財産トシテ記載セラル、コトヲ得(第四世ウヰリヤム帝即位第二年ノ條例法第四章第四條)

重罪ニ付テ決罪サレ而テ其刑期内ニアル者ノ家ニ於テ竊取サレタル物品ハ假令ヘ官吏ノ定奪(物品ハ國君ノ所有ニ歸スル乎)アラサリシト雖モ女帝ノ財産トシテ記載セラル、コトヲ得然レモ家屋ハ官吏ノ定奪

アラサレハ斯ノ如ク記載セラル、コトヲ得ス

親睦會社(社員相互ニ救助)ニ屬スル金員、物品、什具、金員證書其他總テ

ノ財産ハ該社ノ當時ノ委託人ノ財産ト記載セサルヘカラス(ウヰリヤム帝即位第十八年及第十九年ノ條例法第六十三章第十八條)故ニ

委託人ハ該社ノ財産ヲ竊取スルモ竊盜ノ罪アル者タルヲ得サルナリ)

恩惠會社(但シテ下等社會ノ會社ナリ)ニ屬スル一個ノ箱(金ヲ投ス)カ酒店

ノ一室中ヨリ竊取サレタリ此箱ノ鍵ハ支配人二人ニテ監守セリ而テ會社ノ規則ニテハ家主カ鍵ヲ有セサルヘカラス然ルニ實際之ヲ有セ

サリキ而テ此場合ニ於テハ其財産ヲ家主ノミニ定メタル告示(告訴狀)ヲ以テ被告人ヲ決罪スルヲ得タリト(前文ノ條例法頒布前ハ認ラレタ

リキ

チユルセー(一寺院區ノ名)ノ病院ニ屬シ又ハ其委員ニ屬スル衣服、汗衫又ハ他

ノ物品ヲ竊取シ質入シ賣買シ交換シ收受シ押領シ隱藏シタル又ハ此等ノ衣服等ノ爲ニ辨解ヲ爲サ、ル罪ノ告訴狀ニ於テハ財産ハミツドルセク大郡チエルセーノ官立兵士病院委員ノモノト定メラル、トテ得而テ第四世ジョージ帝即位第七年ノ條例法第十六章ニ依リ總テ告訴狀ニ於テハ所爲ヲミツドルセク大郡チエルセーノ官立兵士病院委員ヲ欺騙スル爲ノ意ヲ以テ爲サレタリトシテ告訴スルハ効力ヲ有スヘシ(第四世ジョージ帝即位第七年ノ條例法第十六章第三十一條)

郵便書翰等ヲ竊取シタル罪ノ告訴狀ニ於テハ財産ハ驛遞總官ニ定メラル、トテ得(第四世ウヰリヤム帝即位第七年及ヰヰクトリヤ女帝即位第一年ノ條例法第三十六章第四十條)

人ノ集合體ニ授與サレタル財産ハ其體カ一會社ヲ結ヒタルニアラサレハ其體ノ財産トシテ定ムル可カラズ但シ組合人委託人又ハ合本會

社ノ場合ニ於ケルカ如ク其體ヲ組立ル各人又ハ其中ノ二三名ノ財産トシテ記載セサルヘカラス然レモ一會社^{コルポレーシエン}ノ物品カ竊取サル、時ハ其物品ハ該會社名ヲ以テ該會社ノ財産ト定メサル可ラス而テ該會社ヲ組立ル各人ノ名ヲ以テセサルナリ此一點ニ於テハ古昔ノ會社ト新設ノ會社トノ間ニ差違アリ古昔ノ會社ハ原來之ヲ結社セシ名ト實質上異ナル特別ノ名ヲ習慣ニ依テ有スルトテ得而テ其特別名ヲ以テ訴訟ヲナシ又ハ訴ヘラル、トテ得然ルニ近時設立ノ會社ハ其結社シタリシ名ヲ以テ訴ヘ及ヒ訴ヘラレサルヘカラス

若シ被害者ノ姓名カ他國人ノ謀殺又ハ自ラ告訴セサル他國人ノ身體ヨリ物品ヲ竊取シタル等ノ場合ニ於ルカ如ク告訴人ニ知レサレハ其被害者ハ告訴狀中ニ知レサル人トシテ記載セラル、トテ得故ニ人ハ陪審員ニ知ラレサル或ル人ノ謀殺又ハ其人ノ物品竊取ノ爲ニ告訴セ

ラル、ヲテ得

若シ訊問ニ於テ被害者ニ錯名アリ又ハ物品家屋等ノ所有主ハ告訴狀中ニ所有主トシテ記サレタル者ニ異ナル他人ナルヲカ證據上露ハルレハ其相違ハ修正サル、ニアラサレハ有害的ニシテ而テ被告人ハ放免セラレサル可ラス然レモ若シ其姓名カ告訴狀中ニ記サレタル姓名ト其音同一ニシテ只其綴字ニ於テ異ナルノミナルヲ證セラルレハ其相違ハ大切ナルモノニアラサルヘシ故ニ音同フシテ綴字ノ異ナルハ相違ニアラス然レモマツカン及マツカーン、シエークスビーヤ及シエーグビーヤ等ノ如キハ同音ニアラスト決定サレタリ人ノ姓名カ同音ナル乎否ノ問題ハ陪審官ノ決定スヘキ事實ノ問題ナリ若シ被告人カ陪審官ニ知ラレサル或ル人トシテ記載サレ而テ其名カ證據上知ラレタルヲアレハ是レ相違ナリ贓物收受ノ告訴狀ニ於テ若シ正犯人カ知

レサルモノナレハ其正犯ハ陪審官ニ知ラレサル或ル人トシテ記載サル、ヲテ得然レモ證據上正犯カ知ラル、ヲアラハ是ハ相違ナリ但シ受贓者ハ放免ヲ得ル權利アラサルヘシ如何トナレハ同シ大陪審官カ正犯タル罪ヲ何某ニ歸スル告訴狀ヲ發見シタレハナリ若シ被害者カ其實名ニアラストシテ官名又ハ他ノ記名ヲ以テ記サル、ト雖モ是ハ誤審狀又ハ裁判停止ノ請願ヲ以テ故障スルヲテ得ス如何トナレハ重罪又ハ輕罪ノ告訴狀又ハ告發書ニ於ケル裁判ハ決罪又ハ法外刑ノ后ニテモ又ハ白狀、闕席其他ニ依テナリトモ之ニ拘ハラス告訴狀又ハ告發書中ニ記載サレタル人カ其實名ヲ以テスルニアラストシテ官名又ハ他ノ記名ヲ以テ記サレタルヲ爲ニ停止サレ又ハ廢棄サレサルヘケレハナリ(第四世シヨード帝即位第七年ノ條例法第六十

四章第二十條)而テ現今ハ告訴狀中ニ記載サレタル人カ其實名ニアラ

スシテ官名又ハ他ノ記名ヲ以テ記サレタルカ爲ニ犯罪ノ告訴狀ハ無効力トナサレサルヘシ(ゾ)井クトリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第百章第二十四條而テ假令ヘ訊問ノ上告訴狀ト證據ノ間ニ該狀中告示ノ犯罪ノ主眼タルヘキ動産又ハ不動産ノ所有者ト辨セラレタル人又ハ會社ボデーボリチックナルコレクトノ名又ハ記載ノ相違又ハ該犯罪ノ爲ニ損害ヲ被フリ又ハ損害ヲ被フルヲ企テラレタリト該狀中ニ辨セラレタル人又ハ會社ノ名又ハ記載ノ相違又ハ該狀中ニ指名サレ又ハ記載サレタル何人ノ宗教名又ハ附加名又ハ宗教附加ノ兩名又ハ他ノ記載ノ相違アルヘシト雖モ若シ裁判所カ此相違ヲ訴訟ノ實質上大切ナラス且被告人カ實質上ノ辨護ニ於テ之カ爲ニ害ヲ被フリ能ハスト思考セハ裁判所ハ告訴狀ノ修正ヲ命令スルヲ得(同條例法同章第一條)

被害者カ或ル年齢ノモノタルヘカリシカ爲ニ罪ヲ成ストノ緊要ナル

場合(例)ヘハ第四世ジョージ帝即位第九年ノ條例法第三十一章第十七條ニ依リ年齢十歳以上十二歳以下ノ少女ヲ姦淫シタル告訴狀ニ於ケルカ如キニ於テハ告訴狀中ノ各告示毎ニ其被害者ハ何歳ノモノダルト記載セサルヘカラス而テ只最初ノ告示ニノミ年齢ヲ記載シ後ノ告示ニハ只該某トノミ記ルスハ効力アラサルヘシ

時及場所ニ關スル確實——從前ハ告訴狀中ノ各大切ナル事實ニハ時及場所ヲ附加セサルヘカラサリキ詳言スレハ告訴狀中ニ陳述シタル各大切ナル事實ハ特別ノ日及特別ノ場所ニ於テ爲サレタリト辨セサルヘカラサリキ此規則中ノ大切ナル事實ト思考セラレヘキモノニ關シテ茲ニ各犯罪ハ或ル狀況ヲ以テ或ル所業ヲ爲スト又ハ爲スト怠ルトヨリ成立スルモノニシテ此等ノ爲スト怠ルトハ犯罪ニ於ル緊要ノ成分ナルヲ以テ大切ナルモノニシテ告訴狀中ニ記載セサルヘカラサ

ルナリト陳述スルハ無要ニアラサルナリ抑懈怠ノ罪即眞ノ義務ノンブローサンスノ怠
 ハ何レノ時又ハ場所ニ於テ犯サレタリト實ニ克ク精密ニ云フヲ得
 ス故ニ斯ノ如キ犯罪ノ告訴狀中ニハ常ニ時及場所ノ告白ハ概シテ無
 要トナサレタリ尤モ若シ此等ノ懈怠カ特別ノ時ニ於テ又ハ特別ノ場
 所ニ於テ所業ヲ爲スヲ怠レル告訴スヘキ罪タラハ其告訴狀ニハ該
 所業カ其時ニ於テ又ハ其場所ニ於テ爲サレサリシヲ必ラス告示セ
 サルヘカラサリキ然リト雖モ行爲ノ罪ノ告訴狀ニ於テハ罪ノ緊要ナ
 ル成分タル所業ハ前文記載セル如ク悉ク時及場所ヲ定メサルヘカラ
 サリキ故ニ謀殺ノ告訴狀ニ於テ甲カ何時及何場所ニ於テ其右手ニ刀
 ナ執テ乙ヲ撃チタリ云々ト陳述セシ場合ニ於テハ其告訴狀ハ無効ト
 ナサレタリ如何トナレハ其時及場所ハ刀ヲ執ルヲニ關シ是故ニ何ノ
 時及場所ニ於テ打撃ヲ爲シタリシ乎ヲ陳述セサリシカ故ナリ又何時

及何場所ニ於テ甲カ乙ニ攻撃ヲ爲シ而テ刀ヲ以テ之ヲ撃チタリト云
 フハ不正トナサレタリ如何トナレハ其時及場所ニ於テ撃チタリト
 云ハサリシカ故ナリ尤モ毆打ノ告訴狀ニ於テ時及場所ヲ攻撃ニハ定
 メリト雖モ毆打ニハ定メサリシ場合ニ於テ其告訴狀ハ正當トナサレ
 タリ蓋シ此區別ハ左ノ如ク立ラレタルカ如シ即チ生命ニ係ル重罪ニ
 於テハ前文ニ記載シタル最大精密(即チ各大切ナル事實ニ時及場所ヲ
 定ムル事)カ要セラレタリ然レモ輕罪ノ告訴狀ニ於テハ若シ最初ノ所
 業ニ時及場所ヲ附記セハ其時及場所ハ總テ其後ノ所業ニモ亦同シク
 關係スルモノト解釋セラルヘシ是ナリ然レモ若シトリア女帝即位
 第十四年及第十五年ノ條例法第百章頒布迄ハ實際重罪ノ告訴狀并輕
 罪ノ告訴狀共ニ各大切ナル事實ニハ時及場所ヲ附記セリ今既ニ陳述
 セシモノハ犯罪ノ緊要ナル成分タル所業ニ關係スルモノナリ此等ノ

所業ニ附帶スル眞ノ狀況ニハ犯罪ノ特別ナル性質ニ依テ要用トナサル、コアラサル以上ハ決シテ時及場所ヲ定ムルヲ要セサルナリ故ニ重婚ノ告訴狀ニ於テハ第一ノ妻カ第二ノ婚姻ノ時ニ生存シタリシヲテ證スルニ犯罪ノ性質上時ハ必ラス記ルサ、ルヘカラスト雖モ何場所ヲ辨スルハ緊要ニアラサリキ現今ハ既ニ記載シタルゾキトリヤ女帝即位第十四年及第十五ノ條例法第百章第二十四條ニ依テ如何ナル罪ノ告訴狀ト雖モ時カ犯罪ノ實質タルモノニアラサル事件ニ於テハ罪ノ犯サレタリシ時ノ記載ヲ漏ラシ又ハ之ヲ不充分ニ記載シタルカ爲又ハ罪ヲ告訴狀發見ノ翌日又ハ能シ得ヘカサル日又ハ決シテ有ルヘカラサリシ日ニ犯サレタリト記載シタルカ爲ニ無効トハ爲サレサルヘシ此類ノ缺ハ最前ノ一條例法即チ第四世ヨシヨ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第二十一條ニ依リ斷定(陪審官ノ)後ニ於テ補

ハレタリキ

時ハ若シ記サレタレハ所業カ爲サレタリト想像セラレ、月及年ノ日タルヘシ而テ或ル一日ヲ記載セサルヘカラスト而テ此一日ハ祭日即チゼ、オクテ、イヴ、チフ、ゼ、ホーリ、トリ、コテ(祭日)等トシテ記ルスモ効力アルカ如シト雖モ現今ハ常ニ月ノ日ナリ年モ亦記載セサルヘカラスト通例女帝ノ治世ノ年ヲ記入シタリト雖モ我教主ノ年ヲ記ルスモ妨ナキモノニシテ一層簡單ナリ犯罪ノ所業等ヲ過ル何日ニ爲サレタリト辨スルハ効力アルヘシ如何トナレハ其日ハ告訴狀ノ冒頭文ニ依テ確實トナサルヘケレハナリ如何ナル事件ニ於ルモ據テ告訴狀ヲ製スル條例法ノ爲ニ緊要トナサル、コアラサル以上ハ所業ノ爲サレタル時(第何)ヲ記載スルハ緊要ニアラサルナリ尤モ夜盜罪ニ於テハ之ヲ記載スルコト通例ナリト雖モ時(上全)ヲ記ルスコトナクシテ夜間犯サレタリト辨ス

レハ効力アルカ如シ第四世ジョーシ帝即位第九年ノ條例法第六十九章ニ對シ鳥獸ヲ獲ル目的ヲ以テ銃器ヲ携ヘ夜中圍内ニ入り又ハ其内ニ在ル罪ノ告訴狀ニ於テハ夜ノ時アホル上全上全ヲ記ルスハ緊要ニアラサルナリ」
 場所即チ術語上所謂ル特別ゾエニユ一〔犯罪ノ場所ニシテ陪〕ハ訴訟ヲ審問スル陪審官ノ必ラス來ルヘキ場所ダラサルヘカラス習慣法ニ於テハ陪審官ハ必ラス罪ノ犯サレタリシ市、村、寺院區、又ハマノル貴族ノ領地城砦、森林又ハ市外ノ他ノ知ラレタル場所ヨリ來ラサルヘカラサリキ此理由ニ依テ裁判所ノ管轄ノ限レル郡又ハ府、市區其他ノ部分ノ外ハ告訴狀中ニ記載サレタル各大切ナル所業カスノ如キ場所ニ於テ爲サレタリト辨スルハ從前緊要ナリキ而テ府又ハ市中ニ二以上ノ寺院區アリ又ハ一寺院區内ニ二以上ノ市アル場合ニ於テハ罪ノ犯サレタリシ寺院區又ハ市ヲ記サ、ルヘカラサリキ之ト同一ノ理由ニ依テ倫敦

府ニ於テハ區ゾフ并寺院區ノ二區即チチーブ區ニ於テセントメーレールハオ寺院區ニ於テト記ルスハ通例ナリキ然レモ是ハ要用ニアラス亦他ノ場合ニ於テ寺院區ノ其内ニ在ル大區ハンドレツドヲ記ルスモ要用ニアラサリキ此規則ハ只民事々件ニノミ及ホシタルアン女帝即位第四年及第五年ノ條例法廢止サレタル第十六章及第三世ジョーシ帝即位第二十四年ノ條例法廢止サレタル第十八章ニ依テ改正セラレサリキ然レモ現今ハ刑事々件ノ陪審官ハ郡ノ全體中ヨリ出テ而テ從前ノ如シ特別ナルゾエニユ一ヨリ出テサルナリ第四世ジョーシ帝即位第六年ノ條例法第五十章第十三條此條例法頒布以來總テ一土地ニ限レル性質ニアラサル事件ニ於テハ只郡又ハ裁判所ノ管轄ノ限レル郡内ノ府、市區其他ノ部分ヲ記ルスノミニテ効力アルナリ斯ク記サレタル郡等ハ告訴狀ノ紙端ニゾエニユ一トシテ記サレタル郡等ト同一タラサル可ラサ

リキ然レモ現今ハヴヰクトリヤ女帝即位第十四年及第十五ノ條例
 法第百章第二十三條ニ依テゾエニユーヲ告訴狀ノ本文中ニ記ルスハ
 緊要ニアラサルヘシ但シ其告訴狀ノ紙端ニ掲ケラレタル郡府又ハ他
 ノ管轄カ其狀ノ本文中ノ總テ事實ノゾエニユート認メラルヘシ然レ
 モ土地ノ記載カ要セラレ又ハ自後要セラレヘキ事件ニ於テハ斯ノ如
 キ土地ノ記載ヲ告訴狀ノ本文中ニ爲スヘシ又府郡又ハ市郡ニ於テ犯
 サレタル罪ノ告訴狀カ近郡ノ巡回裁判所ニ呈出サルヘキ場合ニ於テ
 ハ該府市郡ハヴヰエニユート思量セラルヘシ而テ犯罪人ノ訊問セラル
 ヘキ郡ノ名ヲ附シ又ハ附サスニ告訴狀ノ紙端ニ記シ又ハヴヰエニユー
 トシテ告訴狀ノ本文中ニ記サル、トテ得海軍裁判所ノ管轄内ニ犯サ
 レタル罪ノ告訴狀ヴヰエニユーノ第十七ヲ參看スヘシハ海上ニ於テ爲
 サレタリト各所業ヲ辨スヘシ現今ハ英國ノ海軍裁判所管轄内ナル語

ヲ加フルハ緊要ニアラス時ニ依レハ罪ノ犯サレシ所ニ近キ場所又ハ
 陸地モ亦記サル、トアリ然レモ是ハ緊要ニアラサルナリ
 假令ヘ時及場所ハ今既ニ記載セシ條例法頒布前ハ斯ク確實ニ記サレ
 サルヘカラサリシト雖モ決シテ實事ニ從ヒテ記サレサルヘカラサル
 ハ緊要ニアラサリキ如何トナレハ記サレタル時カ告訴狀發見以前ニ
 シテ場所ハ裁判所ノ管轄ノ郡又ハ他ノ區域内ナリセハ告訴狀ト證據
 ニ犯罪ノ時又ハ場所ノ相違アルモ證據上ノ場所カ裁判所ノ管轄内ナ
 リセハ其相違ハ大切ナルモノニアラサレハナリ而テ此理由ニ依テ實
 際告訴狀中ノ事實ハ總テ通例時及特別ゾエニユーカ最初ノ事實ニ付
 テ記サレ而テ其後ノ他ノ事實ニ付テハ其時及其所ナル言語ヲ以テ關
 係ヲ有セシムルカ故ニ同一ノ時及場所ニ於テ出來シタリト記サレタ
 リキ(今尙斯ノ記ルスヲ得然レモ茲ニ此規則ノ二三ノ例外アリ即チ

第一、爲替券及他ノ書記セル證書ノ日附ハ止チ得ス之ヲ記ルス時ハ眞正ニ記載セサル可ラス第二、契約書ハ其書ニ記載ノ日附又ハ之ヲ交付セラレシ日ニ從テ辨論セサルヘカラス第三、若シ告訴狀中記載ノ時カ記録ノ事物ヲ以テ證セサルヘカラサリセハ之ヲ眞正ニ記サ、ル可ラス第四、若シ事實ノ精密ナル日附カ犯罪ノ緊要ナル成分タラハ之ヲ眞正ニ記サ、ル可ラス第五、若シ據テ告訴狀ヲ製スル條例法カ罪ノ犯サレシ寺院區ノ貧民ニ過料金ヲ施與スルモノタラハ該寺院區ヲ眞正ニ記サ、ル可ラス第六、記サレタル場所カ書記シタル證書ノ記事ノ部分ナルカ又ハ記録ノ事物ヲ以テ證スヘキモノナラハ之●眞正ニ記サ、ル可ラス第七、若シ事實ノ出來セシ場所カ犯罪ノ緊要ナル成分タラハ之ヲ眞正ニ記サ、ル可ラス此等ノ數點ニ於テ告訴狀ト證據ノ相違ハ有害ノモノタルヘシ而テ此相違ハ訊問ニ於テ修正サル、ニアラサレ

ハ被告人ハ放免セラレサル可ラス(第四世ジヨ一シ帝即位第九年ノ條例法第十五章ヅサクトリヤ女帝即位第十一年及第十二年ノ條例法第四十六章第四條同女帝即位第十二年及第十三年ノ條例法第四十五章第十條同女帝即位第十四年及第十五ノ條例法第百章第一條及第二十四條)告訴狀ヲ呈出スルノ時カ限ラレタル場合ニ於テハ記サレタル時ハ斯ク限ラレタル時内ニアリト顯ハレサルヘカラス又謀殺ノ告訴狀ニ於テハ死亡ハ打撃カ爲サレタリト辨セラル、時ヨリ一ケ年及一日内ノ一日ニ記サレサル可ラス

場所カ土地ノ記載ノ件トシテ記サル、場合ニ於テ告訴狀中ノ場所ノ記載ト證據ノ相違ハ修正サル、ニアラサレハ有害タルヘシ故ニ例ヘハ住居家屋内ノ竊盜、夜盜、放火、鳥獸ヲ獲ル目的ヲ以テ銃器ヲ帶ヒ夜間土地ニ入り又ハ其内ニ在ル罪又ハ闖入等ノ告訴狀ニ於テ若シ告訴狀

四四一

ト證據ニ家屋ノ存在スル寺院區又ハ場所ノ名又ハ其他ノ記事ノ相違
 アラハ修正サル、ニアラサレハ有害ノモノタルヘシ
 罪ヲ成ス事實狀況及意ニ關スル確實、各ノ罪ハ或ル狀況ヲ以テ爲サ
 レタル又ハ爲スヲ怠リタル或ル所業ヨリ成立ス而テ罪ノ告訴狀ニ於
 テハ被告人カ何某ヲ謀殺シタリ又ハ何某ノ物品ヲ竊取セリ又ハ何某
 ノ家ニ於テ夜盜ヲ犯シタリ等ノ如ク概シテ罪ヲ犯シタルヲ以テ被
 告人ヲ訴フルハ効力アルモノニアラス必ラス罪ヲ成ス事實及狀況ヲ
 總テ特別ニ記載セサル可ラス又罪ハ告訴狀面ニ明白ナル主タル罪ト
 顯ハレサル可ラス故ニ普通ノ竊盜普通ノチャムペアドル(自訴ヲ以テヒ
 等ヲ分配スル利ヲ得レハ金)又ハ陰謀者普通ノ犯罪人又ハ普通ノ強盜ナ
 リトシテ人ヲ訴フルヲ得ス然レモ若シ其人カ竊盜強盜等ヲ犯シタ
 レハ其告訴狀ハ犯罪ノ緊要ナル成分タル各ノ事實及狀況ヲ記ルサ、

五四一

ル可ラス故ニ被告人カ馬一頭ニ付若干金及羊各二十頭ニ付若干金ヲ
 虐取シタリト訴フル虐取罪ノ告訴狀ハ正シキモノニアラスト認ラレ
 タリ如何トナレハ是ハ被告人ニ對シテ概シテ虐取ヲ以テ訴ヘ而テ特
 別ナル事故ヲ以テ訴ヘサレハナリ又被告人ハ讒謗者ナリ及治安等ノ
 普通ノ妨害者ナリト訴フルハ同一ノ理由ニ依テ正シキモノニアラス
 ト認ラレタリ警察官ニ對シテ其職務ヲ行フニ不良惰怠ナリトシテ別
 ニ特別ナル惰怠ノ例ヲ掲グルヲナク之ヲ告訴セシ場合モ亦同一ナリ
 只此規則ノ例外ハ左ノ如シ第一、人ハ普通ノパーラトル(訴訟ヲ爲スル
 者ヲ)ナリトシテ其所爲ノ詳細ヲ縷述スルヲナク告訴セラル、ヲ得ル
 事第二、婦女ハ普通ノ弄嘴(スコールト)女ナリトシテ其品行ノ詳細ヲ縷述スルヲナ
 ク告訴セラル、ヲ得ル事第三、人ハ普通ノ賭博房及猥褻室ヲ設ケタル
 爲ニ此類ノ房室ナルヲ示ス爲メ證據ニ呈スルニ緊要タルヘキ狀況ヲ

記ルスヲナク告訴セラル、ヲ得ル事第四罪ヲ犯スヲ請願シ又ハ教唆
 シ又ハ犯罪ノ加功幫助ヲ爲ス罪ノ告訴狀ニ於テハ教唆、請願、加功幫助
 ノ委細ヲ記ルスハ緊要ニアラサル事總テ他ノ場合ニ於テハ罪ノ緊要
 ナル成分タル各ノ事實又ハ狀況カ告訴狀中ニ記ルサレサル可ラス
 而テ若シ罪ノ緊要ナル成分タル事實又ハ狀況カ告訴狀中ニ遺漏セハ
 此遺漏ハ告訴狀ヲ害ス而テ被告人ハ止訴答辨^{テマラ}裁判停止ノ請願又ハ誤
 審狀ヲ以テ此遺漏ニ乘シ自己ヲ利スルヲ得故ニ召喚狀執行中ノ官
 吏ヲ攻撃スル罪ノ告訴ニ其官吏ハ召喚狀ヲ發シタル裁判所ノ官吏ナ
 リシヲ示スヲナク又治安判事ニ對シ凌辱不敬ノ言語ヲ用サタル告訴
 ニ其判事ハ當時職務ヲ行フ際ナリシヲ示スヲナク又職務ヲ盡サ、ル
 爲ニ官吏ヲ告訴スルニ其官吏ハ法律上其特別ノ職務ヲ盡スヘキ義務
 アリシヲ示スヲナク又詐欺取財ノ告訴ニ其金ハ何人ノモノナリシ乎

ヲ示スヲナク又被告人カ惡意ヲ以テ馬ヲ牽キ去リタリ云々ト云テ之
 ナ取ルト云フヲナキ場合等ニ於テハ總テ告訴狀ハ正シキモノニアラ
 ス而テ此缺乏ハ既ニ記載サレタル方法ヲ以テ利用セラル、ヲ得
 告訴狀中ニ記サレタル各ノ事實及狀況ニシテ罪ノ緊要ナル成分タラ
 サルモノハ贅物トシテ拋棄セラル、ヲ得而テ訊問上證明セラル、
 一ヲ要セス亦若シ斯ノ如キ事項ヲ記ス方法ニ缺乏アリト雖モ是ハ告
 訴狀ヲ損傷セサルヘシ^シゴ^シト^リヤ女帝即位第十四年及第十五
 年ノ
 條例法第百章第二十四條ニ依テ告訴狀ハ證明スルヲ要セサル何レノ
 事項ノ證言ノ缺乏ノ爲ニ無効ト思量サレサルヘシトノ事カ明亮ニ制
 定サレタリ
 總テ罪ヲ成ス事實及狀況ハ管ニ記載サレサル可ラサルノミナラス被
 告人カ其判斷ニ從テ告訴狀ニ對シテ止訴答辨ヲ爲シ又ハ辨論スルヲナ

得ル爲メ該事實及狀況ハ告訴スヘキ罪ヲ成ス乎否ヲ自ラ判斷セシメラ
 ル、コヲ得又被告人カ其決定ニ從テ其辯護ヲ準備スルコヲ得ル爲メ
 該事實及狀況カ成ス罪ノ種類ヲ自ラ決定セシメラル、コヲ得又被告
 人カ同一ノ罪ニ對スル他ノ告訴ヲ拒絕ノ爲ニ此告訴狀ニ付テ決罪又
 ハ放免ヲ自ラ辨論セシメラル、コヲ得ルカ如キ及若シ被告人カ決罪
 サレタレハ言渡サレサル可ラサル裁判ニ付テ疑惑アルコヲ得サルカ
 如キ確實及精密ヲ以テ記載サレサル可ラス是故ニ夜盜放火及住居家
 屋内ノ竊盜等ノ如キ土地ノ性質ノ罪ノ告訴狀ニ於テハ家屋等ノ土地
 ノ記載即チ其家屋等ノ存在スル寺院區又ハ場所及郡ノ記載カ爲サレ
 サル可ラス又詐欺ヲ以テ金員ヲ獲タル告訴狀ニ於テハ詐欺カ特書サ
 レサル可ラス又警察官ノ職務ニ從事セサル人ニ對スル告訴狀ニ於テ
 ハ其人カ正當ニ選舉サレタリシコヲ示サンカ爲ニ選舉ノ方法カ記述

サレサル可ラス如何ントナレハ若シ其人カ正當ニ選舉サレサリセハ
 其從事セサル罪ノ罪アル者タルヲ得サレハナリ又虐取ノ告訴狀ハ幾
 何ノ謝金カ正當ナリシ乎又ハ全ク拂フヘキモノアラサルコ并虐取サ
 レタル謝金ヲ示サハル可ラス又官道ヲ壅塞シタル告訴狀ハ何レノ部
 分ナル乎ヲ特書セサル可ラサルナリ又之ト同一ノ理由ニ依テ若シ告
 訴狀ニ被告人ハ謀殺セリ又ハ謀殺セシメタリ、偽造シタリ又ハ偽造セ
 シメタリ、運搬（贓物）セリ又ハ運搬セシメタリ等ノ如ク分離接續詞（意味相
異ナル言語ヲ接續スル詞即チ謀殺セリ又ハ謀）ヲ以テ二罪ノ一種又ハ他
殺セシメタリノ又ハナル語ハ分離接續詞ナリ）ノ一種ヲ以テ被告人ヲ告訴セハ是ハ不確實ノ爲ニ正シキモノニアラ
 ス若シ告訴狀ニ雇人又ハ代人タル甲カ何々ヲ取リシノ如ク分離接續
 詞ヲ以テ二種ノ異ナル性質ヲ以テ被告人ヲ告訴スル時モ亦同シ又被
 告人カ甲ニ對シ其有セシ及把持（スナツク）セシ或ル杖（スナツク）又ハ棒（スナツク）ヲ以テ攻撃ヲ爲シ

タリ云々ト訴フル告訴狀ハ不確實ノ爲ニ不正ナルモノナルカ如シ又
 二種ノ異ナル定罪ノ何レニモ適用スルヲ得テ其何レヲ特示セサル
 告訴狀ハ正シキモノニアラス告訴狀中ノ一告示ノ不確實ハ他ノ告示
 中ノ罪ノ記載ニ關係ヲ有セシムルヲニ依テ補ハレ能ハス然レモ斷定
 (陪審官)ノ後ハ第二ノ告示中ノ缺乏アル證言ハ第一ノ告示中ノ効力アル
 證言ニ關係ヲ有セシムルヲニ依テ補ハル、ヲ得
 然レモ一般ニ或ル意ノ確實ハ最モ緊要ナルモノナリ抑確實ハ三種ナ
 リ即チ禁止^{エストツベル}(自認^ルヲ禁止セラル、^フヲ云フ)ノ答辨等及錯誤ニ對スル答辨
 ニノミ要セラレタル各事ニ或ル意ノ確實、尋常ノ答辨ニ要セラレタル
 普通ノ意ノ確實、告示及告訴ニ要セラレタル一般ニ或ル意ノ確實是ナ
 リ第三種ハ他ノ二種ノ中央ニシテ確實ノ度ハ第一種ノ如シ大ナラス
 第二種ニ比スレハ尙大ナルモノナリ今此三種ヲ尙詳カニ解釋スヘシ

各事ニ或ル意ノ確實カ要セラレタル場合ニ於テハ裁判所ハ答辨人
 カ陽ニ確言セザリシ各事ノ拒否ヲ認定シ而テ其陽ニ否言セザリシ各
 事ノ確定ヲ認定スヘシ即チロルド、コークノ言ニ從ヘハ答辨人ハ己レ
 ニ反スル各ノ決斷ヲ拒絶セサル可ラス「普通ノ意ノ確實」ニカ要セラ
 レタル場合ニ於テハ裁判所ハ答辨中ニ假令ヘ陽言サレスト雖モ正當ナ
 ル意義ヲ以テ陰ニ含蓄サレタル各ノ說ヲ答辨人ノ利益ニ認定スヘシ
 而テ使用サレタル言語ハ自然ノ意義ニモ亦人爲ノ意義又ハ推理若シ
 ハ推定ニ由テ了解サレヘキ意義ニモ通スルモノタル場合ニ於テハ自
 然ノ意義カ勝テ制スヘシ然レモ普通ノ意ハ解釋ノ規則ニ過キスシテ
 附加チナス規則ニアラス故ニ是ハ陰ニ文章中ニ含蓄サレサル言語ヲ
 之ニ附加スルヲ得ス而テ是故ニ損害罪ニ於テ若シ被告人カ其如何
 ノ時ニ爲サレシ乎ヲ示スコトナク宥免ヲ答辨セハ特別ノ損害罪カ殊更

ニ答辨中ニ記載サレタルニアラサル以上ハ裁判所ハ此宥免ハ損害罪
 ノ後ニ爲サレシコトヲ認定シ能ハサルナリ一般ニ或ル意ノ確實ハ既ニ
 上文ニ記載サレタル二種ノ確實ノ中央ナルヲ以テ今既ニ論述サレタ
 ル事ヨリ推定セラル、コトヲ得而テ此故ニ此確實カ要セラレタル場合
 ニ於テハ答辨人カ陳述シタルヘキ各事ニシテ陽ニ辨セラレサルモノ
 又ハ辨セラレタル事ノ中ニ緊要ナル含蓄ヲ以テ陰ニ包含サレサルモ
 ノハ答辨人ノ不利ニ認定サレサル可ラサルハ明白ナルヘシ然レモ裁
 判所ハ答辨ノ言語ヲ其尋常ノ意義ニ從テ解釋シ術語ヲ術語上ノ意義
 ニ從テ解釋スヘシ而テ若シ一言語ノ意義カ其尋常ノ意義ニ於テハ兩
 意アルモノタラハ是ハ全文ヲシテ成立シ且意ノ貫徹スルモノトナラ
 シムル爲ニ前後ノ連續文及本旨ノ之ヲ要スル所ノ意義ニ從テ解釋セ
 ラルヘシ故ニ^{アンナル}迄^{何日}ナル言語ハ前後ノ連續文及本旨ニ從テ其適用サ

レタル日ヲ含有シテ又ハ除去シテ解釋セラル、コトヲ得、ビツグ^{名人}ノ事
 件ニ於テ此被告人ハ銀行紙幣ノ裏書ヲ削去リタル爲ニ告訴セラレタ
 リ而テ其削去リタル言語ハ其紙幣ノ表面ニ存シタルコトカ露ハレタリ
 然レモ陪審官ハ斯ノ如キモノハ普通裏書ト稱セラレタリト斷定セリ
 而テ判事ハ其記載ハ正シキモノナリト認メタル者多數ナリキ凡ソ告
 訴狀ハ若シ眞ノ意味カ充分ニ寫出サルレハ文法ニ適セサル言語アル
 モ之カ爲ニ無効ニ屬セサルヘシ官吏ノ職務上ノ懈怠又ハ惡行ノ告訴
 狀ニ於テハ其官吏ハ罪ヲ犯シタル時官吏タリシコトヲ辨スレハ其任官
 ナ示スコトナシテ充分ナリ如何トナレハ其正シキ任官ハ其職務ヲ行
 フコトニ依テ認定セラルレハナリ若シ我女帝陛下ノ治安判事ハ陛下ノ
 大貌列頓璽アル辭令書ニ依テ委任サレタリトノ事カ記ルサレタレハ
 其璽ハ^{グレートシール}國璽ト認定セラルヘシ如何ントナレハ是ハ何レノ他ノ璽タル

ヲ得ヘカラサレハナリ
 眞ノ發端ノ事項ハ罪ノ主旨ノ陳述ノ如ク甚シキ確實ヲ要セサルナリ
 故ニ第三世シヨ一シ帝即位第五十三年ノ條例法第二百七章ニ從テ
 爲サレタル寺院維持稅拂出ヲ命スル治安判事ノ命令ヲ遵奉セサル事
 ニ對スル告訴狀ニ於テハ發端ノ爲ニ稅額ハ法律ノ要スル如ク正當ニ
 設ケラレ而テ其后正當ニ許容セラレ而テ之ニ依テ被告人ハ正當ニ稅
 ナ課セラレタリトノ證言ハ其辨セラレタル正當ノ課稅等ヲ成ス事實
 ナ記サスシテ効力アルモノト認ラレタリ尤モ罪ノ記載ニ於テハ是ハ
 効力アルモノタラサルヘシ充分ナル確實ヲ以テ罪ヲ記ルス能ハサル
 場合ニ於テハ可成的ノ確實ヲ以テ之ヲ記ルセハ効力アルナリ即チ人
 ノ物品ヲ騙取スル陰謀ノ事件ニ於テハ其物品竊取ノ告訴狀ニ於ルカ
 如クニ之ヲ記載スルヲ要セサルナリ只之ヲ種々ノ物品トシテ記シテ

効力アルモノト認ラレタリ又罪ヲ犯スヲ他人ニ請願シ及教唆シタ
 ル告訴狀ニ於テハ假令ヘ罪（請願教唆ニ係ル）カ其後實ニ犯サレタリシコアル
 ヘキ時ト雖モ其罪ノ告訴狀ニ於ルト同一ノ確實ヲ以テ其企ラレタル
 罪ヲ記ルスヲ要セサルナリ亦僞誓及之ト同性質ノ罪ノ告訴狀ニ於テ
 モ前文ニ記載サレタル規則ニ從ヒ從前要セラレタル確實ハ現今要用
 ニアラサルナリ如何トナレハ第二世シヨ一シ帝即位第二十二年ノ條
 例法第十一章及ヅヰクトリヤ女帝即位第十四年及第十五ノ條例法
 第百章第二十條ニ依テ只罪ノ本質及如何ノ裁判所ニ於テ又ハ何人ノ
 目前ニ於テ宣誓等カ爲サレシ乎ヲ記ルスノミ緊要ニシテ訴狀答辨等
 又ハ法律上若シシハ公平法上ノ何レノ手續ノ何レノ部分ヲ陳述シ且
 其目前ニ於テ罪ノ犯サレタル裁判所又ハ人ノ權力ヲ陳述スルハ要用
 ニアラサレハナリ然レモ若シ告訴人カ此等ノ條例法ノ要スルヨリハ

尙大ナル詳細ヲ以テ罪ヲ陳述セント欲サハ其告訴人ハ其陳述ノ爲ニ束縛セラレヘシ而テ之ヲ陳述サレタル如クニ證明セサル可ラス各ノ他ノ事件ニ於テ告訴狀中ニ罪カ緊要ナルヨリハ尙大ナル詳細ヲ以テ陳述サレタル場合モ亦前文ト同一ニシテ不緊要ナル告白ハ若シ罪ノ成分ヲ記載シ而テ只罪ヲ重大ニスル狀況ノミチ記載セサルモノタラハ大切有用ニシテ贅物トシテ廢棄サレ能ハサルナリ

告訴狀中ニ要セラレタル確實ニ就テハ既ニ前文ノ如ク概シテ論述シタルヲ以テ今ヨリ進ンテ特別ノ事件ニ關シテ之ヲ研究スヘシ

習慣法ニ於テハ書記シタル證書類ハ告訴サレタル罪ノ主旨ノ一部ヲ其成ス場合ニ於テハ毎ニ同言同語ヲ以テ陳述サレサルヘカラサリキ故ニ偽造ノ事件ニ於テ偽造サレタル證書ハ第四世ウヰリヤム帝即位第二年及第三年ノ條例法第百二十三章第三條頒布前ハ其告訴狀中ニ言

語又ハ數字ヲ以テ記サレサルヘカラサリキ讒謗ノ告訴狀ニ於テハ讒謗ノ事項カ同言同語ヲ以テ記ルサレサルヘカラサリキ威嚇書ヲ送リタル告訴狀ニ於テハ其書カ同言同語ヲ以テ記ルサレサルヘカラサリキ令狀ヲ執行セサル告訴狀ニ於テハ其令狀ノ性質及謄書カ示サレサルヘカラサリキ此一般ノ規則ニ數種ノ例外カ出來シ且時々條例法ノ爲ニ生シタリ故ニ偽誓罪ニ於テハ偽誓ヲ示ス處ノ誓詞上ノ陳述書答辨等ヲ同言同語ヲ以テ陳述スルハ緊要ニアラス如何トナレハ第三世シヨ一シ帝即位第二十二年ノ條例法第十一章及ヴヰクトリヤ女帝即位第十四年及第十五ノ條例法第百章第二十條ハ只告訴サレヘキ罪ノ本質ノミチ要スレハナリ條例法(ヴヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十六章第二十七條ヲ參看スヘシ)ニ依テ竊盜ノ主物トナサレタル書記シタル證書類ノ竊盜ニ於テハ告訴狀中ニ同言同

語ヲ以テ之ヲ陳述スルハ決シテ緊要ニアラザリキ只之ヲ一般ノ方法
 ナ以テ記載シテ効力アリ故ニ五ポンド(金額ノ仕拂及五ポンドノ價額)
 ノ銀行紙幣一葉五十ポンドノ仕拂及五十ポンドノ價額ノ爲替券一葉
 等ニテ効力アリ如何トナレハ一種ノ物カ竊盜ノ主物トナサレタル場
 合ニ於テハ其物ハ竊盜ノ主物タル物ノ一種ナルヲ以テ斯ノ如キ一種
 ノ物トシテ只之ヲ記載スルノミ緊要ナレハナリ此規則ハ總テ竊盜ノ
 主物タル證書類ニ適用スト雖モ告訴狀ハ條例法中ニ示サレタル記載
 ニ從ハサル可ラス如何トナレハ銀行紙幣爲替券及金員拂渡証書等ニ
 適用シタル第二世ジョージ帝即位第二年ノ條例法廢止サレタル第二
 十五章第三條ニ依レル告訴狀ニ竊取サレタル證書ヲ普通銀行紙幣ト
 稱スル或ル券トシテ記載シタル場合ニ於テ其告訴狀ハ無効ト認ラレ
 タリセハナリ又竊取サレタル證書ヲ告訴狀ニハンクポーストピル(郵便)

ヲ以テ遠隔ノ地(トシテ)記載セシ場合ニ於テ是ハ不正ト認ラレタリキ
 ニ送致スル金(券)如何トナレハ是ハ其條例法中ノ記載ノ何レニモ屬セザリシガ故ナリ何
 レノ證書又ハ書類ヲ偽造シ又ハ行使シタル告訴狀ニ於テハ其謄書又
 ハ模書ヲ記ルスハ第四世ウヰリヤム帝即位第二年及第三年ノ條例法
 第二百二十三章第三條ニ依テ無要ト爲サレタリ然レモ之ヲ竊取シタル
 告訴狀ヲ維持スヘキカ如キ方法ヲ以テ之ヲ記ルスハ効力アルモノナ
 リ(全條例法同章同條)現今ハ近代ノ條例法ニ依テ書記シタル證書ノ陳述
 上要セラレタル確實ニ關スル規則ノ大切ナル寛舒カ爲サレタリヴヰ
 トリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十八章第四十
 二條ニ依テ何レノ證書ヲ偽造、變造、呈出、行使、處分、融通シタル(又ハ)竊取、
 押領、毀損又ハ隱蔽又ハ騙取シタル(ヴヰ)トリヤ女帝即位第十四年及
 第十五年ノ條例法第百章第五條ニ於テハ其證書ヲ其謄書又ハ

模書ヲ記ルスヲナクシテ其通例知ラレタル名又ハ稱號ヲ以テ又ハ其趣意ヲ以テ記ルシ又ハ否ラサレハ其證書又ハ價額ヲ記ルシテ効力アルモノタルヘシ同章第四十三條ニ依テ何レノ證書又ハ如何ノ物件ノ全部又ハ幾部ヲ彫刻シ又ハ製シ或ハ何レノ證書又ハ如何ノ物件ノ全部又ハ幾部カ彫刻又ハ製セラレタルヘキ版又ハ他ノ物品ヲ使用シ又ハ不正ニ監守シ又ハ所有シ或ハ何レノ證書又ハ如何ノ物件ノ全部又ハ幾部カ製セラレ又ハ印刷セラレタルヘキ紙料ヲ不正ニ監守シ又ハ所有シタル告訴狀ニ於テハ其證書又ハ物件ヲ其通例知ラレタル名又ハ稱號ヲ以テ記ルシ其證書又ハ物件ノ全部又ハ幾部ノ謄書又ハ模書ヲ記ルスヲナクシテ効力アルモノタルヘシ而テザキクトリヤ女帝即位第十四年及第十五ノ條例法第百章第七條ニ依テ何レノ證書ニ關スル告訴狀ニ於テ其證書ハ全部又ハ幾部書寫印刷又ハ數字ヨリ成立

スル手ノ證言ヲ爲スノ緊要タルヘキ總テ他ノ場合ニ於テハ其證書ヲ其通例知ラレタル名又ハ稱號ヲ以テ又ハ其趣意ヲ以テ記ルシ其全部又ハ幾部ノ謄書又ハ模書ヲ記ルスヲナクシテ効力アルモノタルヘシ書記シタル證書又ハ其部分ヲ同言同語ヲ以テ記ルス場合ニ於テハ之ヲ端正ニ記ルスノ注意ヲ爲サ、ル可ラス如何ントナレハ此點ニ於テ告訴狀ト證據ノ相違ハ訊問中修正サル、ニアラサレハ有害タルヘケレハナリ

若シ書記シタル證書ヲ告訴狀ニ何々タルヲ表シテ記ルサハ其證書ハ證據ニ呈シタル時告訴狀ニ何々タルヲ表シテ記シタルモノト其紙面上ニ見ヘサルヘカラス否ラサレハ被告人ハ是カ修正サル、ニアラサレハ放免セラル、ヲ得例ヘハ若シ證書カ銀行紙幣タルヲ表スル或ル券トシテ記サレ而テ證據ニ呈シタル券ハ假令ヘ似タリト雖モ其形

ニ於テ眞ノ銀行紙幣ト實ニ異ナル時又ハ若シシエー、リングノ名及記載ヲ以テジエー、キングナル者ニ向ケラレタルヲ表スル爲替券トシテ記シタル時ノ如シ如何トナレハ若シ其爲替券カ實ニシエー、リングニ向ケラレタリセハ是ハシエー、キングニ向ケラレタルヲ表シ能ハサリセハナリ(詳言スレハ其紙而上ニ見ヘ能ハサリセハナリ)

言語カ罪ノ主旨タル場合ニ於テハ之ヲ告訴狀中ニ詳細ニ記ルサ、ル可ラス例ヘハ官吏ノ職務ヲ行フ際之ニ對シ誹謗又ハ凌辱ノ言語ヲ用ヒタル告訴狀又ハ神聖ヲ瀆ス又ハ煽惑スル言語ノ罪ノ告訴狀ニ於ルカ如シ而テ若シ證セラレタル言語ト記サレタル言語ニ大切ナル相違アラハ亦若シ彼レハ云々ト言ヒタリト記ルシテ汝ハ云々ト言ヒタリト證セラレレハ判事カ相違ヲ修正スルヲ適當ト思量スルニアラサレハ被告人ハ放免セラレヘシ然レモ若シ言語ノ二三カ記ルサレタル如

クニ證セラレ而テ斯ク證セラレタル言語カ告訴スヘキ罪トナラハ是ハ効力アルモノタルヘシ言語カ反逆ノ公然タル所業トシテ記ルサレタル場合ニ於テハ其言語ノ實質ヲ記ルスハ効力アルモノナリ如何トナレハ其言語ハ罪ノ主旨ニアラスト雖モ罪ノ證明又ハ證據タレハナリ

告訴狀中ニ記ルシタル何レノ事ヲ記錄ヲ以テ證セサル可ラサル場合ニ於テハ其記載カ精密ニ記錄ト符合スルノ注意ヲ大ニ爲サ、ル可ラス此旨意并書記シタル證書及印刷シタル證書ト訊問上ノ陳述又ハ記載ノ相違ノ旨意ハ後ニ告訴狀ヲ維持スル爲ニ緊要ナル證據ノ旨意ヲ論スル時ニ及ンテ尙充分ニ觀察セラルヘシ然レモ茲ニヴサクトリヤ女帝即位第六年及第七年ノ條例法第八十五章第二條ニ依テ何レノ訴訟手續ニ於ケルモ訴訟手續ヲ記ルスヘキ場合ニ於テハ毎ニ陪審員ノ

職務ヲ行ヒタル特別ノ人カ宣誓ノ代リニ確定^{アツクアルメーション}ヲ爲シタリト詳記スル
 ハ緊要ニアラサルヘシ但シ人ヲシテ宣誓ナシニ陪審員トシテ職務ヲ
 行フヲ得セシムル爲ノ條例法ノ發行アラサリシト同様ニ該特別ノ
 人カ陪審員トシテ職務ヲ行ヒタリトノ事ハ記ルサル、^ト得ルト掲
 載スル^ト得
 竊盜ニ於ルカ如ク動産物カ罪ノ主物タル場合ニ於テハ通例之ヲ稱ス
 ル名ヲ以テ逐一之ヲ記載セサル可ラス且其物品ノ各種又ハ特別ノ種
 類ノ員數及ヒ價額價額カ罪ノ本質ナル場合ニ於テハ^ト記ルサル可
 ラス故ニ例ヘハ何某ナル者ノ物品及貨物ノ二十シルリング^{ノ金額}ノ價
 額ノ上衣一枚、三十シルリングノ價額ノ長靴二足、十二シルリングノ價
 額ノ靴二足、十三シルリングノ價額ノ臥單二枚或ハ二十シルリングノ價
 額ノ羊一頭云々等ノ如ク若シ例ヘハ二十頭ノ剗羊及牝羊トセハ其告

訴狀ハ不確實ノ爲ニ不正ノモノタルヘシ是ハ何頭ノ何々ト各ヲ記ル
 サ、ル可ラス物品ハ其商業上知ラレタル名ヲ以テ之ヲ記ルス^ト得
 例ヘハ新ヲシキ手巾ノ一反ハ假令ヘ是レカ各別ニ分離サレスト雖モ
 若シ其模様カ各一枚ヲ示シ而テ商業上幾枚ノ手巾トシテ思量サルレ
 ハ幾枚ノ手巾トシテ記載スル^ト得、錫錠又ハ鉄棒ハ錫又ハ鉄幾^{ポンド}斤^ノ
 名トシテ記載スル^ト得然レモ物品カ普通ノ談話ニ於テ特別ノ名ヲ
 得タル場合ニ於テハ之ヲ其物品ノ成レル物質ノ名ヲ以テ記ルスハ不
 正ナルヘシ活動物竊盜ノ告訴狀ニ於テハ其活物ナルヲ記ルスヲ要セ
 ス如何トナレハ反對カ記ルサル、ニアラサレハ法律ハ之ヲ活物ナリ
 ト認定スヘケレハナリ若シ法律カ反對ノ記ルサレタルニ拘ハラス活
 物ト認定セハ其相違ハ有害タルヘシ然レモ若シ一動物カ其生死ニ拘
 ハラス同一ノ名ヲ有シ而テ告訴ハ其生死ニ拘ハリテ異ナル^トナケレ

ハ之ヲ生活ノ時適用スヘキ名ヲ以テ死シタル時モ稱スルヲ得只特別ノ場合又ハ或ル狀況ニ限リテノミ竊盜ノ主物タル物品ヲ竊取シタル告訴狀ニ於テハ其物品ハ必要ナル記載中ニ屬スルヲ示サ、ル可ラス故ニ三個ノ卵ヲ竊取シタル告訴狀ハ不正ノモノトナサレタリ如何トナレハ只家飼ノ動物ノ卵ノミカ竊盜ノ主物タレハナリ然レモ動物ヲ或ル牝トシテ記載シタル獸姦罪ノ告訴狀ハ假令ハ狐及二三ノ他ノ動物及狗ノ牝ヲ斯ク稱スト雖モ充分ニ確實ト認ラレタリ何某ノ物品及貨物ノ十シルリングノ價額ノ蠶腿一個ヲ竊取シタリト被告人ヲ訴フル告訴狀ハ効力アルモノト認ラレタリ

告訴人ハ記シタル物品ノ種類ノ記載ニ依テ束縛セラル、モノナリ例ヘハ靴一足ヲ竊取シタル告訴狀ハ長靴一足ノ竊盜ノ證據ヲ以テ維持スルヲ得サルカ如シ然レモ物品ノ員數又ハ其價額ノ相違ハ若シ證セ

ラレタル價額カ法律上罪ヲ成スニ充分タラハ大切ナルモノニアラサルナリ又若シ枚舉シタル十種ノ異ナル物品アリテ告訴人ハ充分ノ價額アル一種又ハ以上ノ竊取ヲ證サハ假令ヘ其餘ノ物品ヲ證スルヲ得スト雖モ効力アルモノタルヘシ然レモ價額カ罪ヲ成スニ要用ニシテ告訴狀中ニ數多ノ物品ヲ集合シテ價額ヲ附シタル場合ニ於テハ罪ハ總テノ物品ニ付テ定メラレサル可ラス如何トナレハ大陪審官ハ價額ヲ總テノ物品ニ集合シテ歸シタレハナリ假令ヘ物ヲ竊盜ノ主物トナサソカ爲ニハ其物ハ價額ヲ有セサル可ラスト雖モ然レモ是ハ法律上知ラレタル貨幣詳言スレハ少クモ一ファージング(名錢)ノ價額ノ物タルヲ要セサルナリ而テ告訴狀ハ何レノ物件ノ價額又ハ價值又ハ損害、毀傷、又ハ破壊ノ合計カ罪ノ本質ニアラサル場合ノ事件ニ於テハ其物件ノ價額又ハ價值又ハ損害、毀傷又ハ破壊ノ合計ノ缺乏ノ爲ニ無効ト

ナサレサルヘシ(ヴヰクトリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法
 第百章第二十四條)若シ竊取サレタル金員ヲ告訴人ノ物品及貨物ノト
 シテ記ルサハ此等ノ語ハ贅物トシテ廢棄セラルヘシ而テ其告訴狀ハ
 有効タルヘシ又被告人カ詐偽ヲ以テ甲ヨリ乙ノ金員ノ八ポンド十四
 シルリング六ペンニ一ノ合額ノ金券ヲ得タルヲ告訴スル告訴狀ニ於
 テハ是ハ金券カ乙ノ財産タリシコトノ充分ナル告白トシテ認メラレ金
 員ノナル語ハ贅物トシテ廢棄サレタリ

ヴヰクトリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第百章頒布前ハ
 金員ハ告訴狀中ニ帝國ノ何ヤト稱スル流通金又銀ノ若干片又ハ銅貨
 ノ若干片トシテ記載サレタリ而テ貨幣ノ特別ノ種類ヲ詳記セサルヘ
 カラサリキ而テ若シソヴエレイン(貨幣)パーフソヴエレイン(上全)クラ
 オン(上全)等ノ如キ貨幣ノ特別ナル種類ノ竊盜ヲ告訴シタリセハ其告訴

狀ハ指名サレタル特別ノ貨幣ノ一片又ハ以上ノ竊取ノ證據ナクシテ
 ハ告訴狀中ニ記載サレタル貨幣ノ數片又ハ他ノ片ヨリ成立セサルヘカ
 ラサリシ金員ノ額ノ竊取ノ證據ヲ以テ維持セラレサリキ然レモ現今
 ハ該條例法ノ第十八條ニ依テ何レノ金員又ハ英國銀行又ハ他ノ銀行
 ノ紙幣ニ付テ證言ヲ爲スノ緊要タルヘキ各告訴狀ニ於テハ該金員又
 ハ銀行紙幣ヲ單ニ金員トシテ記ルシ何レノ特別ノ貨幣又ハ銀行紙幣
 ヲ詳記スルコトナクシテ効力アルモノタルヘシ而テ斯ノ如キ告白ハ財
 産ノ記載上ニ關シテハ假令ヘ金額ノ成立セシ特別ノ貨幣又ハ銀行紙
 幣ノ特別ノ性質ハ證セラレサルヘシト雖モ其貨幣ノ額又ハ銀行紙幣
 ノ額ノ證據ニ依テ維持セラルヘシ一地方銀行ノ紙幣ニシテ犯罪ノ時
 ニ於テ流通セサリシト雖モ其銀行ノ一支店ニ於テ拂入トナリ他ノ支
 店ニ送達ノ途中ニアリテ其支店(他ノ支店)ニ於テハ原來之ヲ發行シタ

ルモノコシテ再ヒ之ヲ發行シ又ハ他ノ處分ヲナスコトヲ得ンカ爲ニ(原
來一支店ニ於テ發行シタル紙幣ヲ他ノ支店ニ於テ再發スルハ銀行ノ
習慣ニアラサルヲ以テ)送達中ニアリシモノハ此條ニ屬スル銀行紙幣
ト認定セラレタリキ

告訴狀中罪ノ記載ニ於テ要セラレタル確實ニ關シテ今既ニ陳述シタ
リシモノ、外ニ茲ニ尙陳述スヘキ緊要ノ件アリ即チ謀殺ノ告訴狀ニ
於テハ「ムルドラヴィット」(謀殺シタリト云フ義)ナル語、強姦ノ告訴狀ニ於テハ
「ラビユイット」(強姦シタリト云フ義)ナル語、竊盜ノ告訴狀ニ於テハ「フエロニス」
セピット、エト、アスポルタウイット(惡意ヲ以テ取り而テ去リタリト云フ義)ナル語ハ完シ
緊要ナリ此等ノ語ハ罪ノ釋義ノ爲ニ緊要ナル術語ナリ此等ノ語ナシ
シテハ此等ノ罪ヲ各々記録上ニ登記スル能ハサルナリ而テ若シ此等
ノ語カ遺漏セハ被告人ハ止訴答辨ヲ爲シ裁判停止ノ請願ヲナシ又ハ

誤審狀ヲ呈スルコトヲ得ザイ、エトアルミス(力及腕ヲ以テ)ナル語ハ假令
一人ニ對スル罪ノ告訴狀ニ普通插入サレタリシト雖モ緊要ニアラサ
ルナリ(第八世ヘンリー帝即位第三十七年ノ條例法第八章第四世ヨ
ーシ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第二十條現今ハザットリヤ
女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第百章第二十三條ヲ看ルヘシ)
罪ヲ犯セシ時ニ當テ其犯人ノ意ハ屢々其罪ノ緊要ナル成分ナリ而テ
斯ノ如キ事件ニ於テハ告訴狀中ニ意ヲ記ルスハ罪ヲ成ス事實及狀況
ヲ記ルスト一般緊要ナルモノナリ二三ノ事件ニ於テ法律ハ罪ノ犯サ
レタル意ヲ示ス爲ニ或ル術語ヲ適用シタリ而テ斯ノ如キ事件ニ於テ
ハ法律ノ指示スル術語ヲ以テ意ヲ著ハサ、ルヘカラスシテ他ノ語ヲ
以テ陳述スヘカラス故ニ反逆ハ反心ヲ以テ爲サレタリトシ重罪ハ總
テ惡意ヲ以テ爲サレタリトシ夜盜ハ惡意及夜盜心ヲ以テ爲サレタリ

トシ謀殺ハ惡意ヲ以テ及ヒ豫謀シタル害心ヲ以テトシ偽造ハ條例法
 上重罪トナサレタレハ惡意ヲ以テ及欺騙スル意ヲ以テトシテ記ルサ
 サルヘカラス
 條例法カ習慣法ノ重罪ニ若シ特別ナル狀況ヲ以テ犯サレタレハ尙重
 キ刑罰ヲ定ムル場合ニ於テハ被告人ヲ其重キ刑罰中ニ入レンカ爲ニ
 告訴狀ハ明白ニ斯ノ如キ狀況ヲ以テ犯サレタリト告訴セサル可ラス
 且其狀況ヲ確實及精密ヲ以テ記ルサ、ル可ラス
 最終ニ臨ンテ是ヨリ條例法ニ依テ定メラレタル罪ノ告訴狀ニ付テ論
 スヘシ抑々條例法ハ罪ノ釋義ヲ有ス而テ罪ハ或ル狀況ヲ以テ及ヒ二
 三ノ場合ニ於テハ特別ナル意ヲ以テ或ル所業ノ行爲又ハ懈怠ヨリ成
 立ス故ニ條例法ニ對スル罪ノ告訴狀ハ條例法中ニ記載サレタル狀況
 及意ヲ以テ所業ヲ爲シ又ハ怠リタリト確實及精密ヲ以テ被告人ヲ告

訴セサル可ラス而テ若シ此等ノ罪ノ成分中ノ何レカノ一カ遺漏セハ
 被告人ハ止訴答辨ヲ爲シ裁判停止ノ請願ヲ爲シ又ハ誤審狀ヲ呈スル
 一ヲ得^{遺漏等}「缺乏」ハ斷定^{陪審}官ヲ以テ補ハレサルヘシ亦條例法ノ制定
 ニ反シテナル結文^{狀告}モ之ヲ醫セサルヘシ然レモ若シ告訴狀ニ條例
 法ノ言語ヲ以テ罪ヲ記サハ總テ條例法ニ依テ定メラレ且ツ一層重キ
 刑罰ニ屬セシメラレタル罪ニ於テハ其告訴狀ハ斷定ノ後ニ至テ効力
 アルモノタルヘシ^{第四世}シヨ一^{帝即位}第七年ノ條例法第六十四章
 第二十一條^{エリザベス}女帝即位第五年ノ條例法^{廢止}サレタル^{第十一}
 章第二條^{帝國}ノ貨幣ノ何レヲ問ハス不良ノ利益ノ爲ニ其緣ヲ絞去シ
 又ハ鱧ヲ以テ磨ルチ大反逆ト爲スニ係ル告訴狀ニ於テハ其罪ヲ不良
 ノ利益ノ爲メニ紀サレタリト告訴スルハ緊要ナリキ否ヲサレハ其告
 訴狀ハ無効タルヘカリキ又^{ブラック、アンクト}黑色條例^{第一世}法^{第二}章^{第二}十^二章^{帝即位}第九年ノ

トナレハ面部ヲ黒色ニ塗リ又ハ他ノ假粧ヲナシテ森林ニ入り鹿ヲ殺シトナレハ種々ノ惡事ヲ爲セシ者アリシヲ以テ此條例出タレバナリ尤モ現今廢止ナリ)中ノ住居家屋又ハ他ノ場所ニ於テ何レノ人ニ對シテ故意及害心ヲ以テ發銃スルヲ重罪トナシタル部ニ依レル告訴狀ハ不正ト認ラレタリ如何トナレハ其告訴狀ハ該罪ヲ不正ニ及害心ヲ以テ爲サレタリト告訴シ故意ヲ以テナル言語ヲ漏シタリシカ故ナリ然ルニ判事ノ中ニ害心ヲ以テナル語ハ故意ヲ以テナルノ意ヲ含有スルト思考セシ者二三名アリキ然レモ其多數ハ故意ヲ以テナル語及害心ヲ以テナル語ハ兩ツナカラ罪ノ記載トシテ條例法ニ記載サレシカ故ニ告訴狀中ニ兩ツナカラ之ヲ記ルサ、ルヘカラスト認タリキ又第四世シヨ一シ帝即位第七年及第八年ノ條例法(廢止サレタル)第三十章第二條ニ依レル惡意ヲ以テ隨意ニ及害心ヲ以テ小舎ニ火ヲ放チタル告訴狀ハ不正トナサレタリ如何トナレハ該條例法ノ言語ハ不正ニ及害心ヲ以テ

ニアレハナリ又惡意ヲ以テ故意ヲ以テ及害心ヲ以テ切斷スル云々ヲ以テ被告人ヲ告訴スル第四世シヨ一シ帝即位第九年ノ條例法第三十一章第十二條ニ依レル告訴狀ハ有効ノモノニアラス他ナシ該條例法ノ言語ハ不正ニ及害心ヲ以テナレハナリ又牝牛、牡牛、小牝牛等ヲ竊取スルヲ僧徒ノ恩惠(僧徒ノ恩惠トハ僧徒ハ罪ヲ赦免セラレ、特權ヲ有スルヲ得サシムルノ特權アルナ)ナキ重罪トナシタル第二世シヨ一シ帝即位第十五ノ條例法第三十四章同ク第十四年ノ條例法第六章ニ依レル告訴狀カ牝牛ヲ竊取シタルヲ以テ被告人ヲ告訴シ而テ證據上小牝牛ナルヲ證セラレシ場合ニ於テ此相違ハ有害トナサレタリ如何トナレハ該條例法ハ牝牛及小牝牛ノ二ツヲ記載シタルヲ以テ立法官ノ此二語ヲ異語同義トシテ思考セサリシヲ證シタレハナリ又告訴狀中ノ一告示ニハ被告人カ出ル爲ニ破壞シタリトシ而テ他ノ告示ニハ其被告人カ

破壊シ而テ出タリト告訴シタル場合ニ於テ是ハ無効トナサレタリ如
 何トナレハ條例法ノ言語ハ破リ出ルナレハナリ之ト同様ニ二世シ
 ヨーシ帝即位第十五ノ條例法(廢止サレタル)第三十四章ハ小羊并羊
 ナ別書セシカ故ニ被告人ハ小羊ヲ竊取シタル告訴狀ヲ以テ羊ヲ竊取
 シタル罪ニ決罪スルヲ得スト決定サレタリ之ト同様ノ釋義カ第四世
 シヨ一シ帝即位第七年及第八年ノ條例法第二十九章第二十五條ニ付
 テ爲サレタリ然レモマツカルレ一(人)事件ニ於テ最後ニ記載シタル條
 例法ニ依レル死體ヲ竊取スル意ヲ以テ羊ヲ殺シタル告訴狀ハ牡羊又
 ハ牝羊ヲ殺シタル證ニ依テ維持サル、モノトナサレタルハ他ナシ該
 條例法ノ言語ハ牡羊、牝羊、羊又ハ小羊ニシテ判事ノ多數ハ羊ナル語ヲ
 牡牝羊ヲ含有スル總名ト思考シタルヲ以テナリ條例法中ニアラサル
 言語ヲ告訴狀中ニ其條例法ニアル言語ニ代用シ而テ斯ク代用サレタ

ル言語カ條例法ニ用ヒラレタルモノニ等シク又ハ之ヨリ一層廣キ意
 味ノモノナル又ハ之ヲ含有スル場合ニ於テハ其告訴狀ハ有効ノモノ
 タルヘシ例ヘハ若シ「ノーイングレ」(知リツ義)ナル語カ條例法ニアリテ
 「アトゾアイズドレ」(知ラシメラレ)ナル語ヲ告訴狀中之ニ代用シ又ハ「ウ
 イルフルレ」(故意ヲ以テ)ナル語條例法ニアリテ「マリシヤスレ」(害心ヲ以
 テ)ナル語ヲ之ニ代用セハ(アトゾアイズドレ)及「マリシヤスレ」ナル語ハ條
 例法中ニアラサルニ(告訴狀ハ有効ノモノタルヘシ)然リト雖モ精密ニ條例
 法ノ言語ニ從フハ甚ダ可ナリ如何トナレハ是ハ用ヰラレタル言語ノ
 意味ニ涉ル議論ヲ防クノミナラス裁判所ハ生命ノ爲ニ時トシテハ此
 主意ニ付テ細密ニ過クル區別ニ注意シ且之ヲ維持スル傾向アレハナ
 リ故ニ二世シヨ一シ帝即位第二年ノ條例法(廢止サレタル)第二十五
 章(銀行紙幣ノ竊取ヲ重罪トナシタル)ニ依リ普通ニ銀行紙幣ト稱スル

或ル券ヲ竊取シタルヲ以テ被告人ヲ訴フル告訴狀ハ不正トナサレタリ如何トナレハ該條例法中ノ財産ノ記載ニ從ハサリセハナリ又只馬、羆丸ヲ切タル馬又ハ牝馬ナル語ノミヲ載セシ第六世エドワード帝即位第二年及第三年ノ條例法(廢止サレタル)第三十三章ニ依レル二頭ノ馬子竊取ノ告訴狀ニ付テ判事ハ該條例法中ニ馬子ハ其名ヲ以テ記載サレサリシカ故ニ其馬子ハ馬ノ種類中ノモノナリト認ルヲ得ストノ説ニ同意シタリ尤モ牝馬ヲ竊取シタル告訴狀ハ牝馬子ヲ竊取シタル證據ニ依テ證明サル、ト同條例法ニ從テ決定セラレタリ條例法中ノ言語ニ從フハ實ニ其言語カ總名ナルニアラサル以上ハ効力アルモノナリ其總名ナル場合ニ於テハ訴訟ノ實事ニ從テ種類ヲ記ルスヲ緊要ナリ故ニ兵士又ハ水夫ヲ其職務上ヨリ誘惑シ去ラント試ルヲ重罪トナス第三世ジョージ帝即位第三十七年ノ條例法第七十章ニ依レ

ル告訴狀ニ於テハ用ヰラレタル方略ヲ詳記セスシテ何々セントノ試ヲ告訴スルハ効力アルモノナリ然レモ(例ヘハ)一條例法カ害心ヲ以テ家畜ヲ殺スヲ重罪トナス場合ニ於テハ其條例法ニ依レル告訴狀ニ概シテ家畜ヲ殺スヲ以テ被告人ヲ訴フルハ効力アルモノニアラス但シ馬、牝馬、羆丸ヲ切タル馬、牝牛、牡牛、子牝牛等ノ如キ家畜ノ種類ヲ記ルサ、ル可ラス告訴狀ノ趣意カ外部ノ證據ノ補助ナクシテハ條例法ノ意味中ニ入り能ハサル場合ニ於テハ條例法ノ言語ヲ以テ罪ヲ訴フルノ外ニ其趣意ヲ條例法ノ意味中ニ入ル、爲ニ緊要ナルヘキカ如キ事實及狀況ヲ證言スルヲ緊要ナリ即チ例ヘハ公務ノ慣例ニ依テチーヴ#1、ピル(俸給受取ノ爲ニ海軍)ニ只署名ヲナスノミカ領収書トシテ効力アル場合ニ於テ斯ノ如キ領収書ヲ偽造シタル告訴狀ニチーヴ#1、ピル及裏書ヲ記シ且或ル金員ノ領収書即チチーヴ#1、ピルニ係ル該

書ニ記載且包括サレタル二十五ポンドノ金額ノ領収書ヲ偽造シ其偽造シタル領収書ハ左ノ如ク即チウヰリヤム、ソルントン(名人)ウヰリヤム、ハントル(名人)ナリト被告人ヲ告訴スルハ不正トナサレタリ如何トナレハ其告訴狀ハ適當ナル證言ヲ以テ此等ノ裏書カ領収書ヲ表明セシメテ示サ、リシカ故ナリ之ト同様ニ賣渡書(即チ書)ノ下部ニ計算濟ナル語ヲ偽造シタル告訴狀ハ適當ナル證言ヲ以テ是ハ領収書ナリト示サ、ルヘカラサルモノト認ラレタリキ第四世ジョージ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第二十一條ニ依テ若シ告訴狀カ條例法ノ言語ニ從ハ、條例法ニ依テ定メラレ且一層重キ刑罰ニ附セラレタル罪ノ告訴狀ニ對シテハ斷定ノ後故障ヲ爲スチ得ス然レモ今既ニ陳述サレタルニ事件ニ於ルカ如ク依テ告訴狀ヲ製スル特別ナル條例法ノ功用中ニ事件ヲ入ル、爲ニ緊要ナルカ如キ事實及狀況ヲ證言スルハ尙緊要ナリ

該條例法ハ茲ニ再述スルチ要セサルナリ
 若シ罪ヲ制定スル條例ノ同條中ニ何レノ例外ナル者存在セハ告訴狀ニハ必ラス被告人又ハ告訴狀ノ趣旨ハ其例外中ニ入ラサル旨ヲ否言ヲ以テ示サ、ル可ラス然レモ若シ例外又ハ約條カ後ノ條又ハ後日ノ條例法中ニアラハ又ハ假令ヘ同條中ニアリト雖モ若シ是カ制定スル條ト關係ノ言語ヲ以テ合併サレハ其場合ニ於テハ是ハ他ノ訴訟關係人ノ爲ノ辨護ノ事件ニシテ辨論中ニ之ヲ否言スルチ要セサルナリ
 辨論中ニ條例法ノ名稱等ヲ陳述スルノ適當ナル法方ニ關シテハハイヤース(名人)事件及ギブス(名人)ヨリバイク(名人)ニ係ル事件等ヲ看ルヘシ今此論旨ノ部分ノ局ヲ結フニ先ツテ茲ニ告訴狀中ノ何レノ部分ト雖モ數字ヲ用ユヘカラサルヲ陳述スルハ緊要タルヘシ故ニ員數、月日

等ハ畢竟言語ヲ以テ記ルサ、ル可ラス只此例外ハ書記シタル證書ノ
 模書ヲ記ルス場合ニ存スルノミニシテ從前ハ緊要タリキ而テ今尙偽
 造罪ノ告訴狀ニ存スルナリ此場合ニ於テハ告訴狀中ニ原書ニ於ルカ
 如ク言語及數字ヲ以テ模書ヲ記ルサ、ル可ラス
 今局ヲ結フニ臨ンテ一言スヘキハ若シ總テ罪(習慣法ニ於ル罪)ニテモ
 又ハ條例法ニ依テ創定サレタル罪(テモ)ノ成分カ告訴狀中ニ記ルサ
 レサレハ或ハ若シ其成分ノ何レカ充分ナル確實ヲ以テ記ルサレサレ
 ハ被告人ハ止訴答辨ヲナシ又ハ裁判停止ノ請願ヲ爲シ又ハ誤審狀ヲ
 呈スルヲ得ル是ナリ然レモ條例法ニ依テ創定サレタル又ハ條例法
 ニ依テ一層重キ刑罰ニ附セラレタル罪ニ於テハ(假令ハ被告人ハ若シ
 告訴狀カ充分ナル確實ヲ以テ罪ヲ記サ、レハ止訴答辨ヲ爲スヲ得
 ルト雖モ)被告人ハ若シ告訴狀カ條例法ノ言語ヲ以テ罪ヲ記載セハ裁

判停止ノ請願ヲ爲シ又ハ誤審狀ヲ呈スルヲ得ス如何トナレハ其場
 合ニ於テハ告訴狀ハ斷定(陪審)ノ後ハ刑罰ヲ保證スルニ足ルモノナル
 へケレハナリ(第四世ジョージ帝即位第七年ノ條例法第六十四章第二
 十一條)現今ハ告訴狀中ニ辨セラレタル事件又ハ記載サレタル人カ依
 テ告訴狀ノ製セラレタル條例法中ノ記載ト其數(單)又ハ性(男)ノ符合セ
 サルカ爲ニ其告訴狀ニ對シテ何レノ故障ヲ爲スヲ得ス如何トナレ
 ハ告訴狀ヲ以テ又ハ零式決罪ニ依テ罰スヘキモノタルニ拘ハラサル
 何レノ罪ニ關スル何レノ條例法カ其罪又ハ其罪カ對シテ犯サレヘキ
 本旨ヲ記載シ又ハ指定スルニ只單數又ハ男性ノミヲ表スル言語ヲ用
 ヒタル又ハ用ユヘキ時ト雖モ每ニ其條例法ハ反對ノ正條カ特ニ設ケ
 フル、カ又ハ其趣意又ハ連續文中ニ其解釋ト矛盾スルモノアルカニ
 アラサレハ數種ノ事件數多ノ人、女及男、結合體及一個人ヲ含有スルモ

ノト解釋セラルヘケレハナリ(第四世ジョーシ帝即位第七年及第八年ノ條例法第二十八章第十四條)

何レノ罪ノ何レノ告訴狀ト雖モ「記録上顯著ナル如キ」ナル言語又ハ「力及腕ヲ以テ」ナル言語又ハ「治安ニ反シテ」ナル言語ノ遺漏又ハ「數條例法ノ制定ニ反シテ」トスヘキヲ「一條例法ノ制定ニ反シテ」ト挿入シ又ハ其反對ヲ挿入シ又ハ告訴狀中ニ記載サレタル何レノ人カ其實名ニアラスシテ官名又ハ他ノ記名ヲ以テ記サレタルカ爲ニ無効ト爲サレサルヘシ(ウヰクトリヤ女帝即位第十四年及第十五年ノ條例法第百章第二十四條)

告訴ハ重複タル可ラス、一被告人ハ告訴狀ノ一告示中ニ二種又ハ以上ノ罪ヲ犯シタルヲ以テ告訴サレ可ラス例ヘハ一告示ハ謀殺及強盜又ハ其他ヲ犯シタルヲ以テ被告人ヲ告訴スルヲ得サルナリ又二

人ノ被告人カ其中一人ハ或ル日ニ於テ死者ニ對シテ爲シタル創傷ノ爲メ及他ノ一人ハ他ノ異ナル日ニ於テ之ニ對シテ爲シタル創傷ノ爲メニ謀殺又ハ故殺ヲ以テ連帶シテ告訴セラル、ヲ得サルナリ此規則ノ例外ハ夜盜罪ノ告訴狀ニアルヘキナリ此場合ニ於テハ重罪ヲ犯ス意ヲ以テ家屋ヲ破毀シ而テ之ニ入りタルヲ及企タル重罪ヲ犯シタルヲ以テ被告人ヲ告訴スルハ通例ナリ而テ主管及雇人或ハ公務又ハ警察ニ従事スル者ノ犯シタル押領罪ノ告訴狀ニ於テハ告訴人ハ六ケ月間ニ雇主等ニ對シテ犯サレタルヘキ各押領所業ノ三個ニ超過セサル數ヲ以テ告訴スルヲ得(ウヰクトリヤ女帝即位第二十四年及第二十五年ノ條例法第九十六章第七十一條)然レモ此條例法ニ依リ適當ナル手續ハ數多ノ告示中ニ數多ノ所業ヲ告訴スルニアルカ如シ(同條例法同章第五條第六條ヲ看ルヘシ)大反逆ノ告訴狀ノ一告示中ニ數多

ノ顯著ナル所業ヲ記ルスハ重複ニアラサルナリ如何トナレハ告訴ハ
 謀計等ヨリ成立スルモノニシテ顯著ナル所業ハ只其證據ニ過サレハ
 ナリ而テ陰謀ノ告訴狀ニ於ルモ亦同シ被告人カ讒謗書ヲ發行シ及發
 行セシメタリシハ重複ニアラス如何トナレハ是ハ同罪ナレハナリ又
 二種ノ罪ノ犯行ヲ得ンカ爲メ一個ノ試計ヲ以テ人ヲ告訴スル告訴狀
 中ノ一告示ハ重複ノ爲ニ不正ナルモノニアラス如何トナレハ試計カ
 告訴セラレタル罪ナレハナリ又若シ人カ第四世ジョージ帝即位第十
 一年及第四世ウヰリヤム帝即位第一年ノ條例法第六十六章第二十條
 ニ依テ入記録^{レジスナル}ヲ破壊シ塗抹シ及損害スルヲ以テ告訴セラレハ是
 ハ總テ一個ノ所業ナルヲ以テ其告訴ハ正當ナルモノナリ人カ一告示
 中ニ二人又ハ以上ノ人ノ毆打ノ爲ニ又ハ其發行カ單一ナル場合ニ於
 テハ二人又ハ以上ノ人ニ對スル讒謗書ノ爲ニ其告示ヲ重複ノ爲ニ不

正トナストナク告訴セラレ、トナ得ルハ現今一般ニ了解サル、所ナ
 リ重罪ニ於テモ亦告訴狀ハ一告示中ニ數人ニ對スル重罪ノ所業ヲ以
 テ若シ是カ總テ一犯行タリセハ被告人ヲ告訴スルヲ得即チ強盜罪
 ニ於テ甲及乙ヲ攻撃シ甲ヨリ一ニルリシテ奪ヒ乙ヨリ二ニルリン
 グヲ奪タルヲ以テ告訴スルヲ得ルカ如キナリ
 民事ノ訴訟ニ於テハ重複ノ爲ニ辨論ニ對シ故障ヲ爲スノ方法ハ少
 シトリヤ女帝即位第十五及第十六年ノ條例法第七十六章ニ依テ其
 廢止サレシ以前ハ只特別止訴答辨^{スベシルテマラ}ノ一方法アリシノミ其廢止後ハ普
 通止訴答辨^{ラレマラ}ヲ以テ又ハ被告人ノブリードオーザ^{（對手人ノ辨論ヲ}
 爲シ欠乏アルモ例外トシテ）ヲ以テ重複ノ欠ヲ補ヒタリキ刑事ノ事件
 是ニ類著セサルヲ云フ）ニ於テハ被告人ハ特別止訴答辨ヲ以テモ亦恐ラクハ普通止訴答辨ヲ
 以テモ重複ニ對シ故障スルヲ得或ハ概シテ裁判所ハ請願ニ依テ告

訴狀ヲ廢棄スヘシ然レモ重複ヲ裁判停止ノ請願又ハ誤審狀ノ主旨ト爲スチ得ルヤ否ハ非常ニ疑シキナリ而テ重複ハ罪ノ一種ニ付テハ有罪ノ斷定他ノ一種ニ付テハ無罪ノ斷定ニ依テ補ハル、モノナリ

告訴ハ的切ナラサル可ラス、一告訴狀中ニ陳述シタル各ノ事實及狀況ハ的切ニ記ルサレサル可ラス詳言スレハ告訴狀ハ被告人カ何々ヲ爲セリト又ハ何々ノ事實ハ何々及何々ノ狀況ヲ以テ出來セリト直接ニ確言セサル可ラス是ハザット、ホエールアズ(何々ナルカ故ニト云フ辭ニテ過去ノ事ヲ説明スル)ニ用ユル等ノ如キ説明(過去ノ事件ノ)様ヲ以テ陳述セラレ能ハサルナリ例ヘハ判事ノ命令ヲ遵奉セサル罪ノ告罪狀カ或ル命令カ何々ナルカ故ニサットホ云々ナル説明様ヲ以テ其命令ヲ記セシ場合ニ於テハ假令ヘ命令ヲ遵奉セサルチ的切ニ告訴セリト雖モ其告訴狀ハ不正トナサレタリシカ如シ又推理若クハ推定様ヲ以テ事情ヲ陳述スルハ告訴狀チ不正ノモ

ノト爲スヘシ例ヘハ或ル約定證書ニ依テ何某カ讓渡セシトノテステ
 一チユム(證書中ノ保證スル部分ヲ云フ)カ成立セシ事等ノ如シ是レ恐ラシハ假令ヘ
 場合ニ依テハ必ラス可トセラレタリト雖モ告訴ノ發端ノ事情ヲ陳述
 スルニモ亦不可ナルヘシ此等ノ點ニ於ル缺乏ハ斷定(陪審官ノ)ヲ以テ補ハ
 レサルナリ是故ニ被告人ハ止訴答辯、裁判停止ノ請願又ハ誤審狀ヲ以
 テ此缺乏ニ乘シテ自己ヲ利スルコトヲ得

告訴ハ矛盾ス可ラス、一告訴狀ノ一個ノ大切ナル部分カ他ノ大切ナル
 部分ト矛盾スル場合ニ於テハ全狀無効ナリ例ヘハ何某ニ義務アリシ
 負債證書ヲ偽造スルコト以テ該何某ヲ告訴シ是ハ若シ證書カ偽造サレ
 タレハ成リ難キ事ナリ又ハ甲ノ所有地ヲ強奪スルコトヲ以テ被告人ヲ
 告訴シ而ルニ告訴狀ノ紙面ニハ甲カ數年間地所ヲ所有セシコト顯著ナ
 ル又ハ何某ノ名カ前ニ記載サレサリシ場合ニ於テ該何某ノ物品ヲ竊

取スルヲ以テ告訴シ又ハ前ニ寺院區ヲ記載セサリシ場合ニ於テ前ニ記載シタル寺院區ト記シ又ハ爲換券ヲ偽造スル告訴狀ニ其署名カ偽造セラルト辨セラレタリシ人ノ署名シタル爲替券ト之ヲ記ルス等ノ如シ若シ矛盾スル事カ大切ナラサル部分中ニアラハ是ハ一般ニ贄物トシテ拋棄セラルト得斷定ノ後ハ特ニ然リ故ニ第四世ジヨージ帝即位第一年ニ當テ第四世ジヨージ帝ノ治世ノ第四年ニ於テ我當時ノ皇帝陛下ノ治安ニ反シテ牝馬ヲ竊取シタル云々ノ告訴狀ニ付テハ「第四年」ナル言語ハ贄物トシテ拋棄サル、ト得然レト辨論ニ於ケル告白カ其存スル場所ニ於テ意味貫徹シ成立シ而テ前文ノ事情ニ矛盾セサルモノハ假令ヘ即チノ如キ説明文中ニ記シ且後文ノ告白ト矛盾スルコトアルヘシト雖モ贄物トシテ之ヲ拋棄スルヲ得サルハ今尙一般ノ規則ナリ告訴狀ノ一告示ニ乙ヨリ拂渡金手形ヲ竊取スルコトヲ以

テ甲ヲ告訴シ第二ノ告示ニハ乙ヨリ銀行紙幣ヲ竊取スルコトヲ以テシ而テ第三ノ告示ニハ前文ニ記シタル惡意ヲ以テ竊取セシ如キ物品ヲ収受スルコトヲ以テ甲ヲ告訴セリ此告訴狀ハ重複ノ理由ヲ以テ故障スヘキモノニアラスト斷定ノ後ニ認ラレタリキ如何トナレハ先ツ第一ニ第三ノ告示中ノ關係ノ言語ハ必スシモ甲カ物品ヲ竊取スルコトヲ表サ、リキ而テ第二ニハ若シ此言語カ果シテ之ヲ表シタリセハ此告示ハ頗ル證明シ能フヘキモノナリセハナリ

證言ハ如何ニ爲ス乎、ト告訴狀中ニ證言ヲ爲スノ通例ノ方法ハ左ノ如

而テ上文所陳ノ陪審員ハ其上文所陳ノ宣誓ノ上尙云々ノ事ヲ訴フレ或ハ若シ證言カ直ニ上文ト連續サルレハ簡單ニ左ノ如ク文ヲ起スルヲ得